

令和5年度

工事名 森町森林事務所庁舎新築工事

設 計 図 書

関東森林管理局

図面リスト

図面合計 54枚（表紙含む）

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
建築意匠図		建築構造図		電気設備図		機械設備図	
A-00	図面リスト	S-01	木造（軸組工法）特記仕様書（1）	E-01	電気設備工事 特記仕様書	M-01	特記仕様書
A-01	工事区分表	S-02	木造（軸組工法）特記仕様書（2）	E-02	盤結線図・照明器具姿図・インパ機器姿図	M-02	配置図・案内図
A-02	建築工事特記仕様書1	S-03	木造（軸組工法）特記仕様書（3）	E-03	幹線・コンセント・弱電設備平面図	M-03	給排水設備平面図
A-03	建築工事特記仕様書2	S-04	木造（軸組工法）特記仕様書（4）	E-04	電灯設備平面図	M-04	空調・換気設備平面図
A-04	建築工事特記仕様書3	S-05	木造（軸組工法）特記仕様書（5）			M-05	24時間換気設備平面図
A-05	建築工事特記仕様書4	S-06	木造（軸組工法）特記仕様書（6）			M-06	融雪設備配置図
A-06	建築工事特記仕様書5	S-07	木造（軸組工法）特記仕様書（7）			M-07	融雪設備図
A-07	配置図・案内図	S-08	木造（軸組工法）特記仕様書（8）			M-08	浄化槽参考図
A-08	建物求積図	S-09	エコジオ工法 補強体配置図				
A-09	仕上表	S-10	基礎伏図				
A-10	平面図	S-11	基礎詳細図				
A-11	立面図	S-12	小屋伏図				
A-12	断面図	S-13	軸組図（1）				
A-13	矩計図（1）	S-14	軸組図（2）				
A-14	矩計図（2）	S-15	壁量算定用面積表				
A-15	天井伏図	S-16	壁量計算				
A-16	展開図（1）						
A-17	展開図（2）						
A-18	展開図（3）						
A-19	建具キープラン						
A-20	建具表						
A-21	家具詳細図						
A-22	外構配置図						
A-23	外構詳細図						
A-24	既存建物 配置図・平面図						
A-25	既存建物 平面図（1）						
A-26	既存建物 平面図（2）						
A-27	既存建物 立面図						

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A－O O	図面リスト	A2：－	第1回変更	
		A4：－	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所				

項目	内 容	建築	電気	衛生	空調	附随又は備し 交付	備 考	項目	内 容	建築	電気	衛生	空調	附随又は備し 交付	備 考	項目	内 容	建築	電気	衛生	空調	附随又は備し 交付	備 考	項目	内 容	建築	電気	衛生	空調	附随又は備し 交付	備 考	項目	内 容	建築	電気	衛生	空調	附随又は備し 交付	備 考
1	梁、壁、床のスリーブ入れ	○	○	○	○			66	吹出ダクト 吸込ダクト					○		131	水槽用液面制御スイッチ					○		196	高亮機					○		261	油圧外郭工事					○	
2	構造体（鉄骨）の貫通及び補強					○		67	全上 吸込ダクト					○		132	全上 配管、配線					○		197	池					○		262	化粧パネルの供給取付					○	
3	構造体（RC）の貫通スリーブ	○	○	○				68	全上 躯体補強					○		133	空調自動制御機器					○		198	プール					○		263	全上 仕上					○	
4	全上 貫通箇所補強	○						69	外気取入ダクト 排気ダクト					○		134	全上 配管、配線					○		199	散水栓					○		264	10の温泉 浴槽及び浴槽バス					○	
5	F R P水槽（受水槽）					○		70	全上 穴明、補修					○		135	全上 電源供給					○		200	排水側溝					○		265	ロードヒーティング（一式）	○					
6	全上 基礎、仕上					○		71	全上 躯体補修					○		136	各種水槽の液面計（水位検出器 受信器）					○		201	全上 コンクリート、グレーダ					○		266	ロードヒーティング一次側電源工事		○				
7	コンクリート水槽					○		72	コンクリート					○		137	コンクリートのスリット用配管、配線					○		202	大走り					○		267	ロードヒーティング 二次側給水・排水工事			○			
8	全上 断熱パネル					○		73	断熱パネル断熱及び反射板					○		138	敷地外接続工事 給水					○		203	郵便受筒		○												
9	全上 パネル、タイル					○		74	全上 正面化粧板					○		139	全上 ダクト					○		204	タイル					○									
10	全上 水槽内部仕上、防水処理					○		75	換気扇 取付枠	○						140	全上 排水				○			205	排水ポンプ					○									
11	全上 通風管及び通気管					○		76	換気扇及び取付工事				○			141	全上 電気		○					206	指示板		○												
12	蓄熱水槽 断熱工事					○		77	冷凍庫、冷蔵庫の断熱					○		142	全上 電話					○		207	壁面パネル					○									
13	全上 給排水配管					○		78	空調機器の配管				○			143	各種負担金 給水					○		208	自転車置場														
14	駐車場排水溝及び泥溜り					○		79	全上 排水金物、給水器具				○			144	全上 ダクト					○		209	排水ポンプ					○									
15	全上 グレーダ					○		80	各種タイル				○			145	全上 排水					○		210	換気ダクト					○									
16	立体駐車場（鉄骨造）					○		81	各種防水パン				○			146	全上 電気					○		211	物干金物					○									
17	全上（RC造躯体工事）					○		82	厨房機器					○		147	UB					○		212	便所					○									
18	駐車場 消火設備					○		83	全上 フード					○		148	全上 給水、給湯、排水				○			213	全上 基礎					○									
19	タンク・タンク設備					○		84	洗濯機				○			149	パンプスポンプ					○		214	全上 電源供給					○									
20	全上 用器加工及び補強					○		85	乾燥機					○		150	パンプスポンプ					○		215	避難計					○									
21	地盤二重壁内排水					○		86	造作流し					○		151	全上 給水、ダクト					○		216	電話用配線					○									
22	全上 壁内仕上、防水処理					○		87	全上 排水金物					○		152	換気扇電源				○			217	電話及び通線					○									
23	機械回り排水					○		88	直流流し					○		153	ダクト内配管					○		218	バルコニー					○									
24	排水ポンプ					○		89	全上 排水金物					○		154	排水ポンプ					○		219	放送														
25	汚水ポンプ					○		90	湯沸器					○		155	高圧水槽、散水装置					○		220	電気時計					○									
26	排水ポンプ					○		91	給湯				○		コック	156	玄関近所トイレ及び給湯					○		221	ダクト					○									
27	排水ポンプ					○		92	化粧棚				○			157	家具類（造り付け）				○			222	エアコン					○									
28	雨水、排水配管	○						93	消火栓消火栓BOX					○		158	トイレ					○		223	医療機器					○									
29	雨水、排水管までの横引管	○						94	消火栓内押入及び起動表示灯					○		159	トイレ（ダクト）					○		224	医療機器配線設備					○									
30	屋外排水管（雨水）			○				95	消火栓位置表示灯					○		160	トイレ					○		225	トイレ					○									
31	全上（汚水）			○				96	全上 配管、配線					○		161	トイレBOX					○		226	トイレ					○									
32	全上（給排水）			○				97	消火器					○		162	煙草					○		227	トイレ					○									
33	10の浄化槽 躯体及び防水			○				98	全上 用器込みBOX					○		163	煙草BOX					○		228	時計埋込ダクト					○									
34	全上 内部設備及び防水仕上			○				99	さく井工事ポンプ					○		164	トイレ					○		229	室内配管工事					○									
35	全上 通気管					○		100	全上 通気及び制御設備取付					○		165	トイレ					○		230	柱型トイレ					○									
36	屋内設置機器の床基礎					○		101	自家発電設備 防振					○		166	トイレ					○		231	トイレ					○									
37	全上 床仕上					○		102	全上 給水					○		167	屋内丸天井取付					○		232	トイレ					○									
38	全上 床基礎及び補強					○		103	全上 排気管（伸縮装置共）					○		168	階段表示板及び文字工事					○		233	可動間仕切り					○									
39	屋上及び屋外設置機器のコンクリート基礎				○			104	全上 貯油槽及び給油配管					○		169	室名札					○		234	金庫					○									
40	貯油槽					○		105	全上 特殊消火栓					○		170	土間コンクリート					○		235	金庫					○									
41	乾燥機					○		106	自家発電機室の冷却装置					○		171	最上階トイレ 木毛板打込み					○		236	トイレ					○									
42	電気室、電気室					○		107	特高電気室の冷却装置					○		172	トイレ					○		237	乾洗器具					○									
43	全上 監視室					○		108	照明器具の穴明補修				○			173	全上 接続工事					○		238	機内補修					○									
44	全上 ELV機械室					○		109	全上 取付枠				○			174	換気金物				○			239	トイレ					○									
45	全上 空調、衛生機械室					○		110	光天井 内部の仕上					○		175	換気 天井				○			240	救命設備					○									
46	全上 厨房					○		111	電話交換機					○		176	トイレ					○		241	トイレ					○									
47	全上 トイレ					○		112	トイレ					○		177	トイレ					○		242	トイレ					○									
48	全上 トイレ					○		113	全上 三方栓					○		178	トイレ					○		243	下足箱					○									
49	コンクリート内部仕上					○		114	トイレ					○		179	既存建物撤去工事				○			244	洋風入					○									
50	全上 消毒断熱内貼					○		115	トイレ					○		180	既存建物撤去工事				○			245	厨房設備 配管（給水、排水）					○									
51	給湯（配管用トイレ）					○		116	トイレ及び自動昇降機				○			181	既存建物撤去工事					○		246	全上 ダクト					○									
52	全上 防水処理					○		117	全上 配管、配線					○		182	給湯					○		247	厨房設備用換気設備					○									
53	全上 トイレ					○		118	全上 電源供給の配管、配線					○		183	定礎板					○		248	全上 電源供給					○									
54	全上 排水、換気、通気					○		119	動力制御盤					○		184	各種ポンプ					○		249	トイレ					○									
55	改め口 床	○						120	全上 負荷側配管、配線					○		185	ポンプ設備					○		250	放射線防護工事					○									
56	全上 天井	○						121	冷凍機器制御盤 冷凍水発生器					○		186	庭園、植樹					○		251	電波障害防止工事					○									
57	全上 トイレ					○		122	全上 負荷側配管、配線					○		187	広告塔					○		252	TV電波障害補償費用					○									
58	油圧機 排油機					○		123	冷凍機用ポンプ					○		188																							

[illegible]

Ⅱ 建築工事仕様		
１．共通仕様		
(１) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁事務総局監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「様式」という。）による。		
２．特記仕様		
(１) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (２) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (３) 特記事項に記載の()内表示番号は、様式の当該項目、当該図面又は当該表を示す。 (４) 特記事項に記載の(別 ())は(５.７)により別添(各部関係)の当該項目を示す。 (５) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載を要する。また()内は商品名を示す。 (６) □印は「国等における環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。		
章	項 目	特 記 事 項
Ⅰ 一般共用事項	① 適用基準等	☒ 建築工事標準詳細編（国土交通省大臣官庁事務総局監修 最新版） ☒ 工事実務の取り扱い方（改訂第二版）建築業（国土交通省大臣官庁事務総局監修） ☒ 水道建築工事標準仕様書（国土交通省大臣官庁事務総局監修）
	② 工事実績帳簿の登録	※適用する (1.1.4)
	③ 品質計画	・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次に依る。(1.2.2) ※風速（V = 3.0m/s） ※地表面粗糙度分（・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ） ・積雪区分 建告示第1445号 別表（24）
	④ 電気保安技術者	適用する (1.3.3)
	５ 条件明示項目	(1.3.5)
	⑤ 発生火の処理等	※工事仕様書による ・構造物出窓閉鎖機 (1.3.6)
	⑥ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及び性能の適合性を、次の(1)～(7)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが揃っていること (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること (3) 安定的な供給が可能であること (4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること (7) アスベスト関連事項（アスベスト含有建材一切使用不可） なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公益建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けなければならない。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合にはこの限りでない。また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。
	⑦ 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 食塩、水素酸フッ化リン、過酸化ハイドル、臭化水、亜硝酸鹽材、窒、パーチクルボード、その他の木質基材、ユリア樹脂板、仕上げ産材及び装飾は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (2) 金属材、繊維材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤はフルオールーグループ及びフルアルコールーエテルヘキシルを含有しない難燃性の可燃剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。 (5) 1. () 3. 及び(4)の建築材料等を使用した家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの数値」は、次のとおりとする。
		規制計測外 ① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣指定品 ③ 下記表示のあるJIS規格品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
	⑧ 特別な材料の工法	様式に記載されている特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

	(3) 技能士	適用工事種別 新設工事業 コンクリート工事 鉄骨造工事 ア・サハレGc・杭工事 防水工事 石工事業 タイル工事 大工事 屋根及び土い壁工事 金属工事業 左官工事業 建築工事業	技能検定の職種 ☒ 既設組立て(鉄筋組立て作業) ☒ 新設組立 とび ブロック建業、丸ひねり施工 ・スチール製防水工事作業、合成ゴムシート防水工事作業 ・遮断機防水工事作業、シーリング防水工事作業 石材施工(石張り施工) タイル張付 ☒ 増築施工 ☒ 改修箇所(内外装被覆金作業) ☒ 足音 ☒ サッシ施工、ガラス施工、自動ドア施工
		カーテンウォール工事 塗装工事 内観工事 屋根工事 基礎工事	☒ カーテンウォール施工・ ☒ サッシ施工・ ☒ ガラス施工 ☒ 塗装(建築物改修作業) ☒ プラステック床仕上げ工事作業 ☒ ロード仕上り工事作業 ☒ 改修(壁体作業)
11	化学物質の濃度測定	施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンジン、パラジクロロベンゼンの6項目の濃度を測定し、報告すること。 測定は吸引方式により行う。 器具等の測定：行方 測定片数：計部々 測定箇所数：1箇所 報告の様式等については、監督職員の指示による。	
	(4) 完成図等	※作成する ○完成図 ●設計図書 ○竣工図 ◎監査に関する資料 提出部数：3部(A)第2層及以上電子媒体(DD-0) 提出部数：3部 提出部数：3部 提出部数：1部	
	(5) 完成写真	下記のものも監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。 分類、規格 撮影箇所数 提出部数 原稿の大きさ(mm) カラー ※キヤノン標準型 ※撮った像 外部(6)内部(1S) O 3 ※100×125以上 ・カラースーパーハイカル 324×400(mm) 外部()内部() 外部(6)内部(1S) O 3 ※200dpi/inch以上 外部()内部() 100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあるかじめた様を提出し確認を受ける。 電子データの場合は、印刷(フルカラー)、A4版形式で最高画素とし、Dサイズにて提供とする。 撮影業者 ※監督職員の承認する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)	
	(6) 設備工事との取合い	設備機器の位置、取り入れ等の検討できる施工員を出して、監督職員の承認を受けずる。	
	(7) 設計GL	①表示 ②意匠上に再掲せるものとする	
	(8) 工事写真	①「環境工事電子納品要領」(最新版)による	
2	(1) 監督職員事務所	燃焼及び仕上げ程度の工事仕様書による ○定例会議場の貸借せざるを得ない場合を除く	
	(2) 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償・無償)	
	(3) 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ○利用できる(※有償・無償)	
3	(1) 埋戻し及び盛土	種類 A種 B種 C種 D種	
	(2) 建設発生物の処理	※工事仕様書による ・構内指定の場所へ搬入しない ○ 構造外運出処分場 ・構内指定の場所に敷き均す	
4	(1) 既定コンクリート杭地盤	種類 ※高強度プレストレスコンクリート杭・PHC杭 ・アットコラム	
		杭径(mm) 杭長(m)及び種類 継手数 セット数 備考 杭頭の処理 ※切断しない 先施部分形状 ※開放形 杭の継手 提案基準法に基づいて決定した継手を使用してもよい 施工法 ・特定埋込み杭工法 ・ブレイクアップ掘削工法 H13規定より支持力算定式α=25%程度を採用できる工法 使用する場合 杭頭固定工法(底部摩擦抵抗) セメントの種類 G重コンクリート工事のセメントの種類による ・アットコラム工法	

森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
A-02	建築工事特記仕様書1	A2: ー	第1回変更
		A4: ー	第2回変更
株式会社 楯建築設計事務所 前橋建築事務所			第3回変更
			第4回変更

1 鉄骨の製作工場
2 施工管理技術者
3 鋼材
4 スクラップ
5 エンドタブ
6 高力ボルト
7 溶接部の試験
8 耐火壁
9 アンカーボルトの保持及び埋込み工事
10 柱底拘りモルタル工法
11 溶融亜鉛めっき工法

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
9 防水工事
10 石工事
11 タイル工事

12 木工事
13 屋根及びびとい工事

1 鉄骨の製作工場
2 施工管理技術者
3 鋼材
4 スクラップ
5 エンドタブ
6 高力ボルト
7 溶接部の試験
8 耐火壁
9 アンカーボルトの保持及び埋込み工事
10 柱底拘りモルタル工法
11 溶融亜鉛めっき工法

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事
9 防水工事
10 石工事
11 タイル工事

12 木工事
13 屋根及びびとい工事

森町森林事務所新築工事
A-O3 建築工事特記仕様書
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所

設計 2023年10月17日
第1回変更
第2回変更
第3回変更
第4回変更

植栽工事

1

樹木の植栽基準整備

芝及び地被類

(23.2.2-2) (表23.2.1~2)

適用

有効土層の厚さ (cm)

工 法

整備範囲

※ 行う ・ 行わない

※ 20

※ B 種

※ 植栽範囲 ・ 関係

樹木

(23.2.2-3) (表23.2.1~2)

樹木の高さ (m)

有効土層の厚さ (cm)

工 法

整備範囲

・ 1.2 以上

※ 100

※ A 種

・ 葉張りの範囲

・ 7 超 ~ 1.2 未満

※ 80

・ B 種

ただし、低木は植栽範囲

・ 3 超 ~ 7 以下

※ 60

・ C 種

・ 関係

・ 3 以下

※ 50

・ D 種

工法 D 種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

2

植込み用土

※ 現場発生土の良質土

・ 客土 (※ 細土・黒土)

(23.2.3-2)

3

土壌改良材^①

※ 適用する

※ 適用する

(23.2.3-4)

施工箇所

※ 植栽範囲

・ 70% 以上

パークたい肥

有機物の含有量 (乾物)

・ 25% 以上

有機質率比 (C/N 比)

・ 15 以下

陽イオン交換容量 (乾物)

・ 70meq/100g 以上

pH

・ 5.5 ~ 7.5

水分

・ 55 ~ 65%

幼植樹移植の結果

・ 生育障害その他の症状を認めない

窒素含量 (乾物)

・ 0.5% 以上

りん酸含量 (乾物)

・ 0.2% 以上

加里含量 (乾物)

・ 0.1% 以上

発酵下水汚泥コンポスト

「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用し、かつ、植栽試験の結果、害が認められないものとする

ヒ素

・ 0.005% 以下

カドミウム

・ 0.0005% 以下

水銀

・ 0.0002% 以下

ニッケル

・ 0.05% 以下

クロム

・ 0.05% 以下

鉛

・ 0.01% 以下

有機物の含有量 (乾物)

・ 35% 以上

炭素窒素比 (C/N 比)

・ 20% 以下

pH

・ 5.5 以下

水分

・ 50% 以下

窒素含量 (乾物)

・ 0.8% 以上

りん酸含量 (乾物)

・ 0.1% 以上

アルカリ分 (乾物)

・ 15% 以下

4

支柱材

※ 杉の焼丸 (間伐材)^②

G

・ 真竹

(23.2.3-2)

5

幹巻き用テープ

※ 幹巻き用テープ

・ わら及びこも

(23.2.3-2)

6

芝張り

種類

・ こうらい芝

・ 野芝

(23.2.4-2)

7

建築物緑化

※ 屋上緑化システム^③

管理方法による区分

・ 省管理型

質量の上限値

()

kg/m²

かん水装置

・ 設ける (工事区分は関係)

透水路、保水路及び排水路等

保水路及び排水路の設置方向の排水性能

・ 240 l/m²・h 以上

耐荷重性能

④

省管理型

・ 3×10³ N/m² 以上の載荷重で変異のないこと。

耐根阻の材料

合成樹脂耐根シート (厚さ 3mm 以上) 又は抗根性剤とする (耐根性能の実績を有すること)

植込み用土

製造所の仕様による

植栽の種類

製造所の指定するものとする

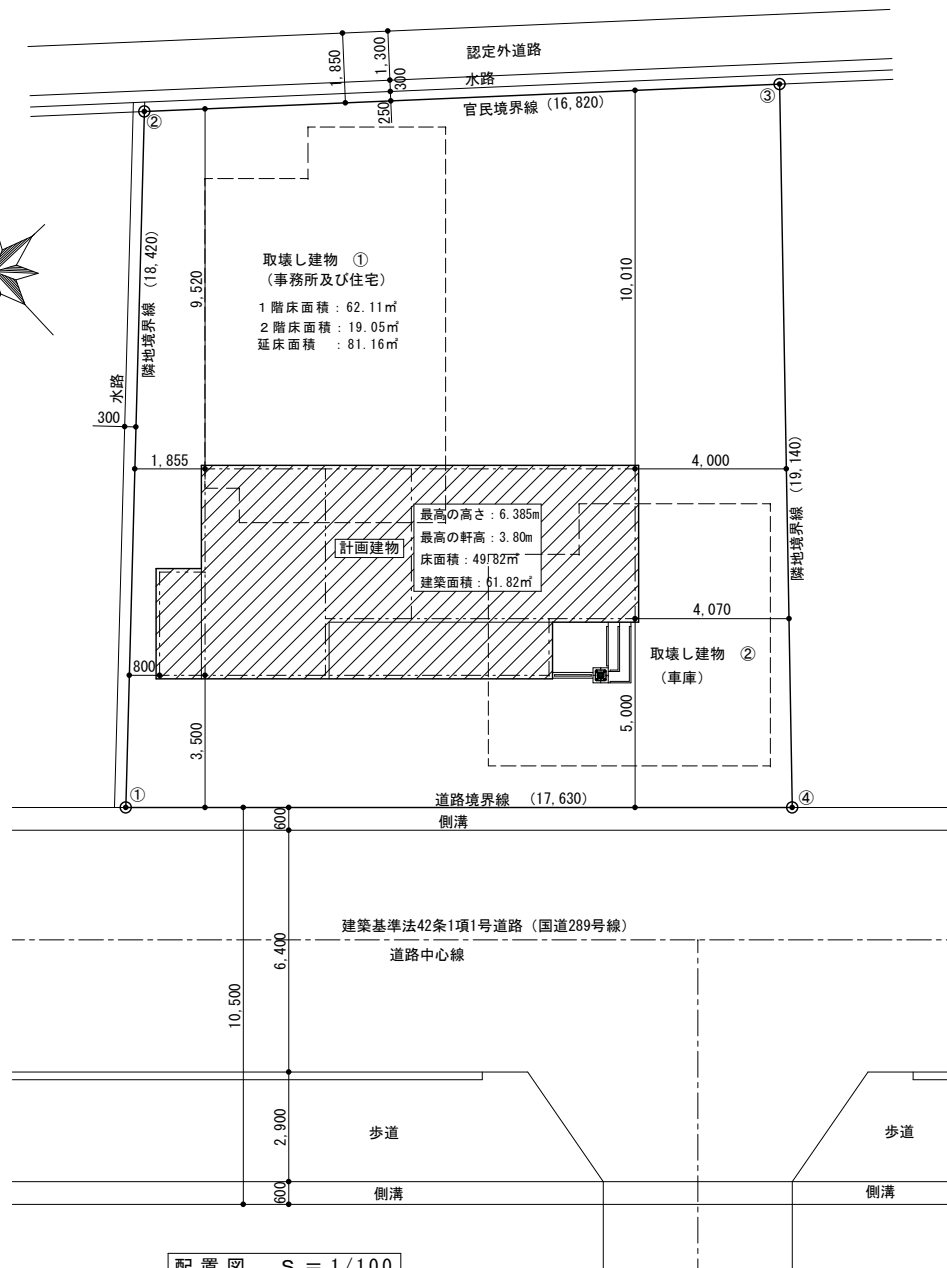
管理方法による区分

・ 省管理型

- ◎ 室内化学物質対策

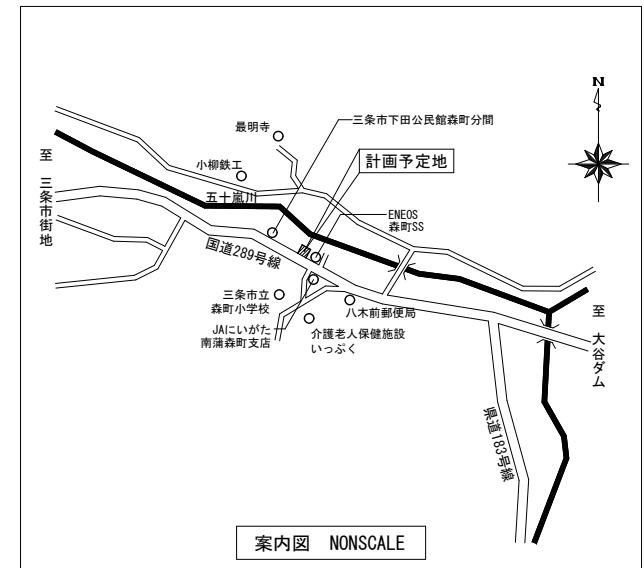
- | | |
|--|--|
| | |
|--|--|

群馬県前橋市荒牧町4-1-21 (群馬)登録3820号 TEL027(234)9820 一級建築士 登録第224895号 荒木 策美



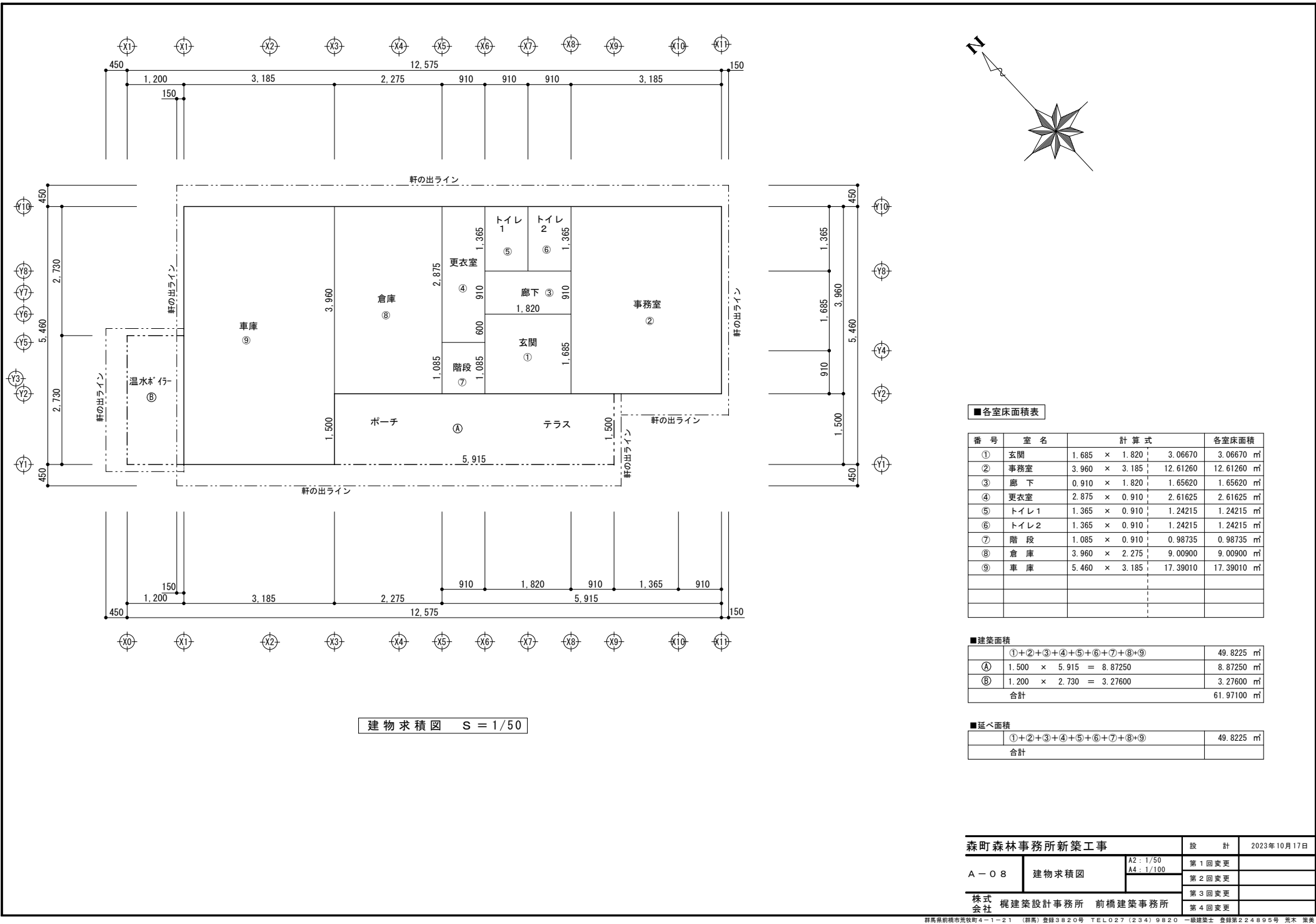
配置図 S = 1/100

敷地面積 : 323.06㎡



敷地求積表					
測点	X	Y	Y _{n+1} - Y _{n-1}	X(Y _{n+1} - Y _{n-1})	
				+	-
①	20.00	10.00	0.46	9.2000	
②	32.81	23.24	25.93	850.7633	
③	21.77	35.93	-0.46		10.0142
④	7.86	22.78	-25.93		203.8098
			計	859.9633	213.8240
			2 A		646.1393
			A		323.06965㎡

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A－07	配置図・案内図	A2: 1/100	第1回変更	
		A4: 1/200	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所				



■各室床面積表

番 号	室 名	計 算 式	各室床面積
①	玄関	1.685 × 1.820	3.06670 m ²
②	事務室	3.960 × 3.185	12.61260 m ²
③	廊 下	0.910 × 1.820	1.65620 m ²
④	更衣室	2.875 × 0.910	2.61625 m ²
⑤	トイレ 1	1.365 × 0.910	1.24215 m ²
⑥	トイレ 2	1.365 × 0.910	1.24215 m ²
⑦	階 段	1.085 × 0.910	0.98735 m ²
⑧	倉 庫	3.960 × 2.275	9.00900 m ²
⑨	車 庫	5.460 × 3.185	17.39010 m ²

■建築面積

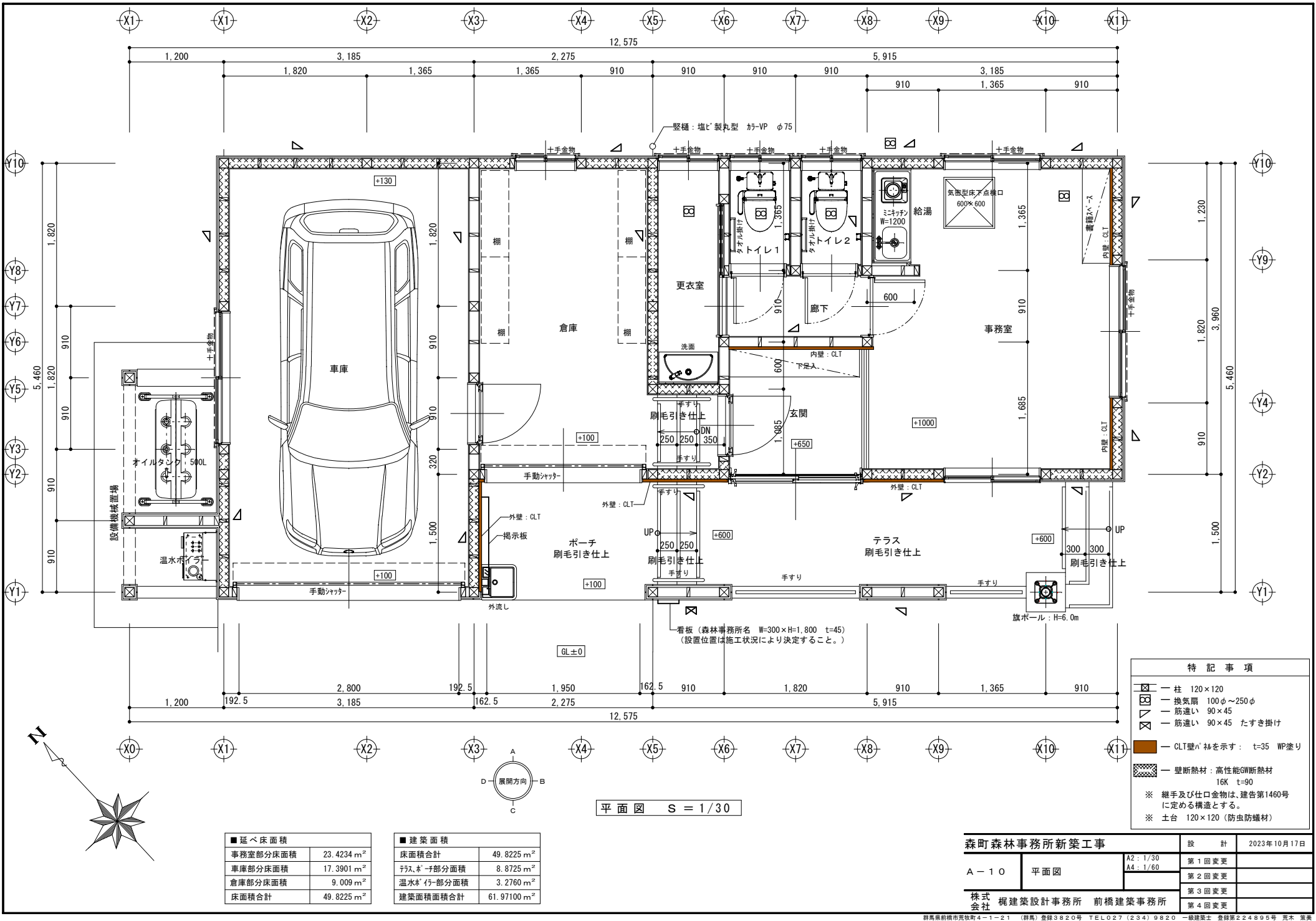
①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨	49.8225 m ²
⑩ 1.500 × 5.915 =	8.87250 m ²
⑪ 1.200 × 2.730 =	3.27600 m ²
合計	61.97100 m ²

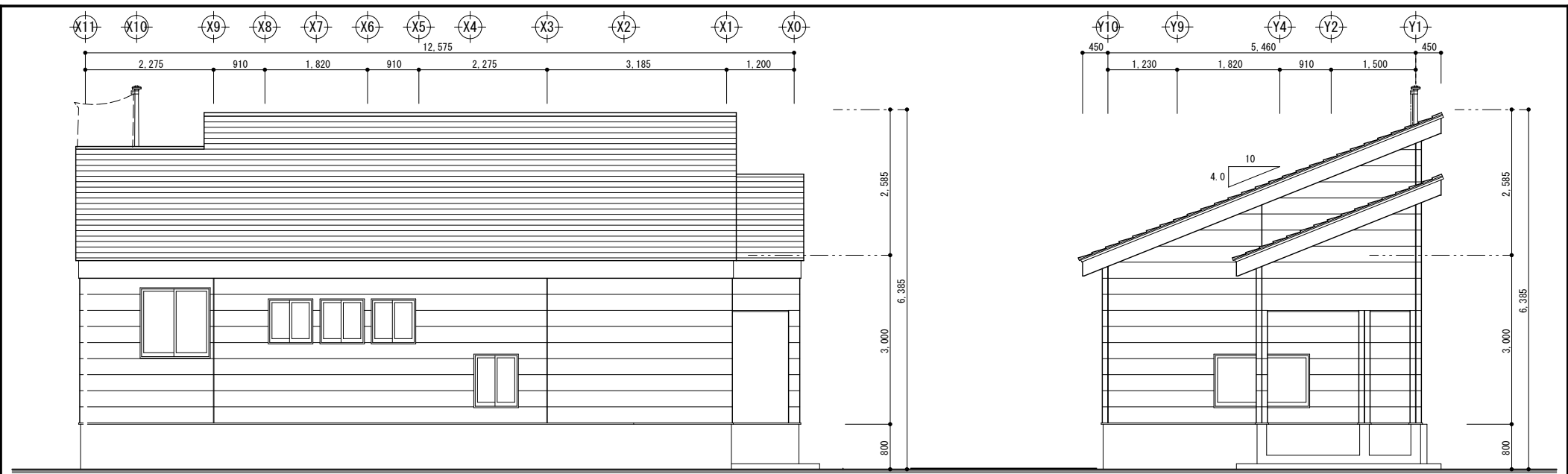
■延べ面積

①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨	49.8225 m ²
合計	

建物求積図 S = 1/50

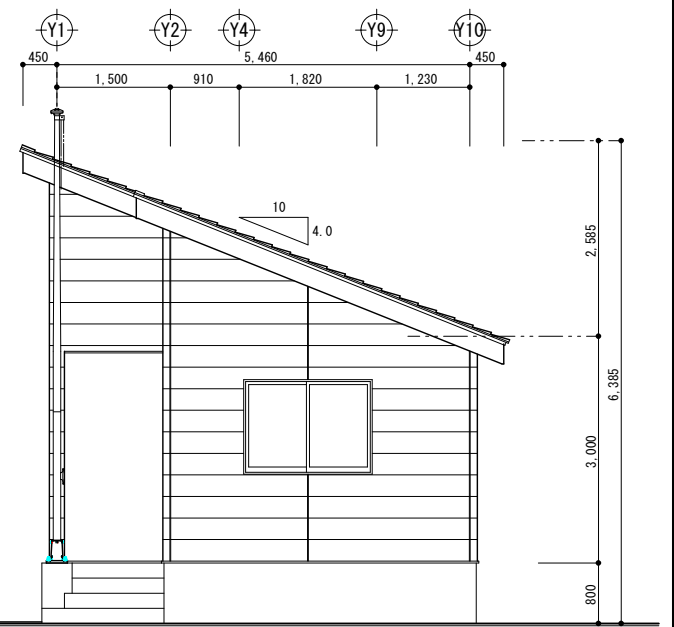
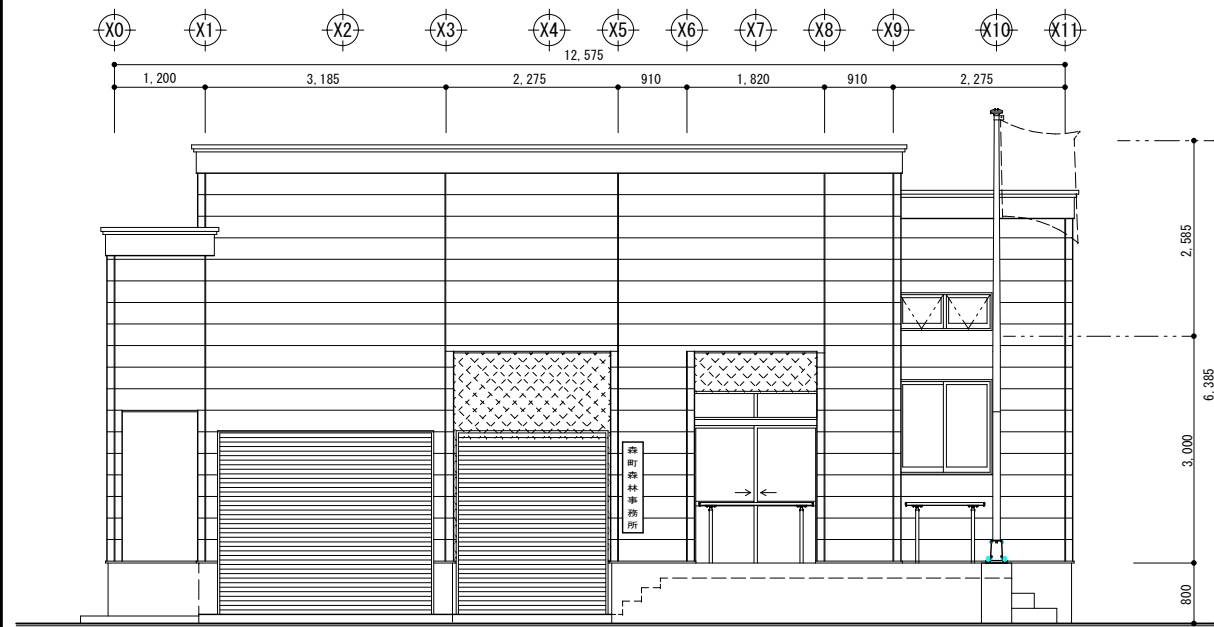
森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A－08	建物求積図	A2：1/50	第1回変更	
		A4：1/100	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所			





北側立面図 S = 1/50

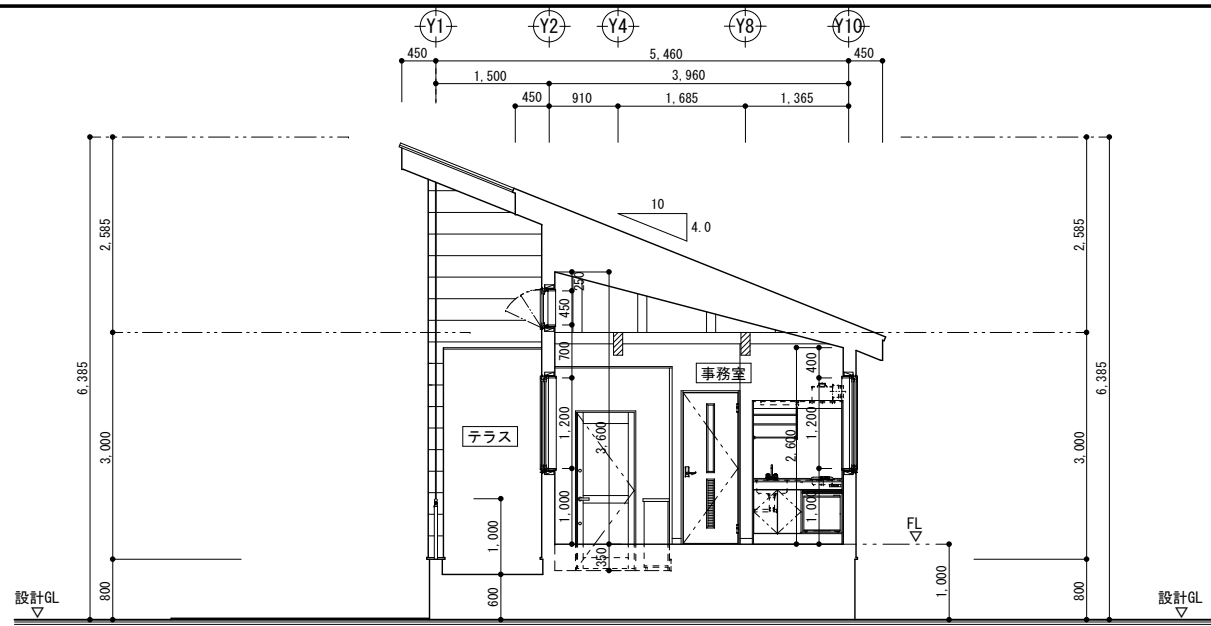
西側立面図 S = 1/50



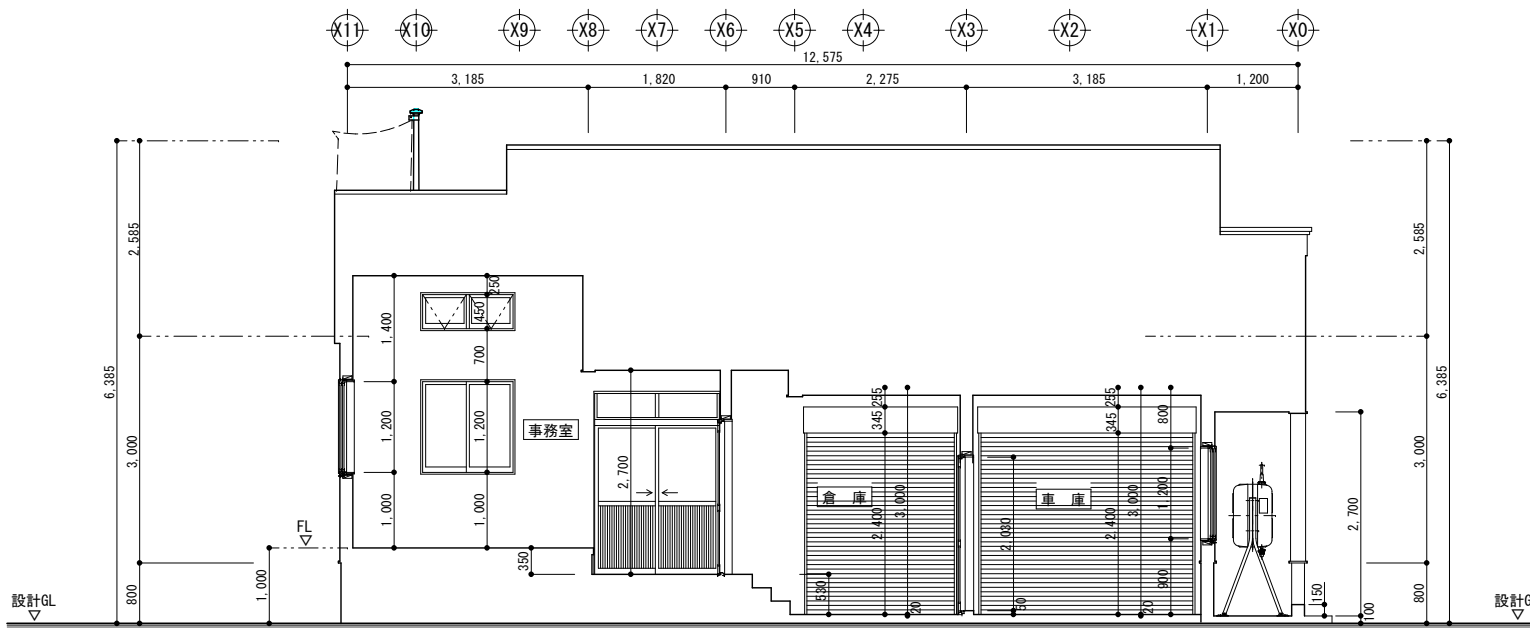
南側立面図 S = 1/50

東側立面図 S = 1/50

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A - 1 1	立面図	A2 : 1/50	第 1 回変更	
		A4 : 1/60	第 2 回変更	
			第 3 回変更	
			第 4 回変更	
株 式 会 社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所			

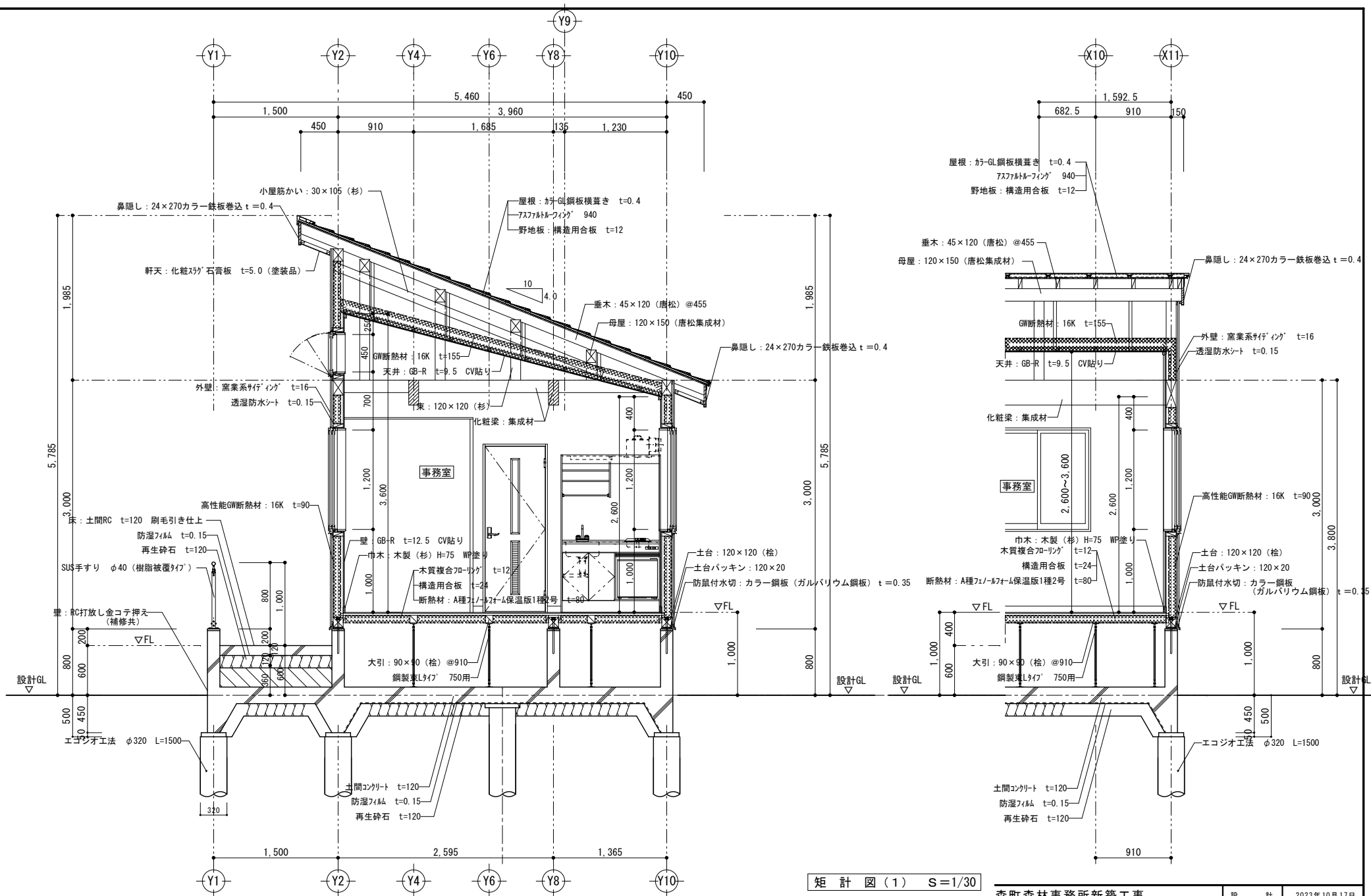


南北断面図 S = 1/50



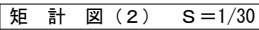
東西断面図 S = 1/50

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A - 1 2	断面図	A2 : 1/50	第 1 回変更	
		A4 : 1/100	第 2 回変更	
			第 3 回変更	
			第 4 回変更	
株式会社 堀建築設計事務所 前橋建築事務所				



矩 計 図 (1) S=1/30

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A - 1 3	矩 計 図 (1)	A2: 1/30	第 1 回 変 更	
		A4: 1/60	第 2 回 変 更	
			第 3 回 変 更	
			第 4 回 変 更	
株 会 社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所			



森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
A-14	矩系図(2)	A2: 1/30	第1回変更
		A4: 1/60	第2回変更
			第3回変更
			第4回変更
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所			

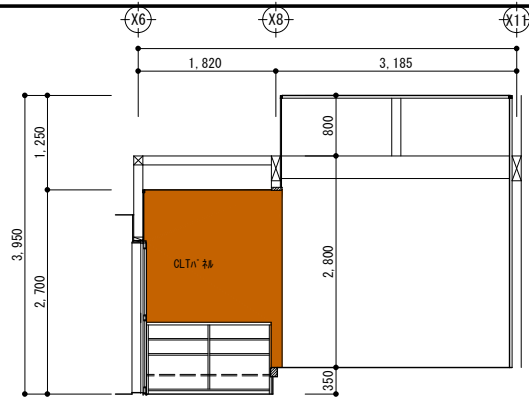


天井伏図 S = 1/50

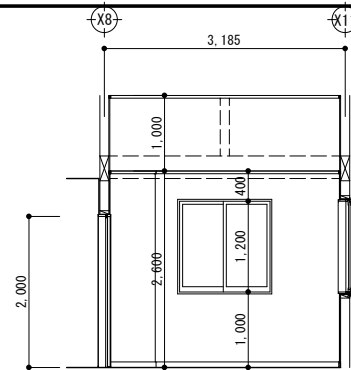
記号	天井仕上材
(A)	GB-R t=9.5下地の上 CV貼り
(B)	化粧梁、化粧束：唐松集成材 WP塗り
(C)	珪酸カルシウム板 t=6 EP塗り
(D)	化粧スガク石膏板 t=5.0 (塗装品)
(E)	化粧スガク石膏板 t=5.0 (全面有孔板 塗装品)
(F)	見切材：ガラ鋼板 t=0.4
	気密型天井点検口 450×450 (顔縁色：ホワイト)

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A - 1 5	天井伏図	A2: 1/50	第 1 回変更	
		A4: 1/100	第 2 回変更	
			第 3 回変更	
			第 4 回変更	
株 式 会 社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所			

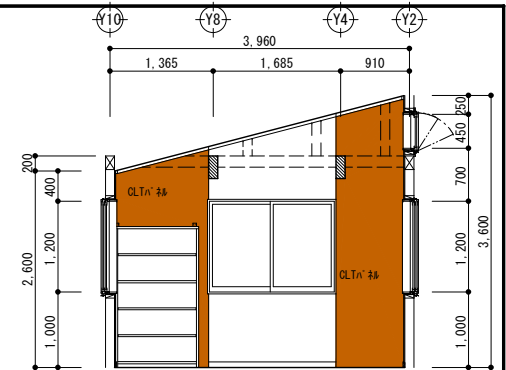
室名	玄関・事務室	CH=2,700【玄関】 CH=2,600~3,600【事務室】
床	MR直金コ子押え【玄関】 構造用合板 t=24の上木質複合70-リング t=12【事務室】	
巾木	木製（杉）H=75 WP塗り CLT構造ハ 裨部は無し	
壁	GB-R t=12.5下地の上CV貼り CLTハ 裨視し WP塗り	
廻縁	木製 WP塗り	
天井	GB-R t=9.5下地の上CV貼り 天井化粧梁 120×450（唐松集成材）WP塗り	
備考	上り板 90×120 気密型天井点検口 450×450 下足入れ W=1,200×D7	



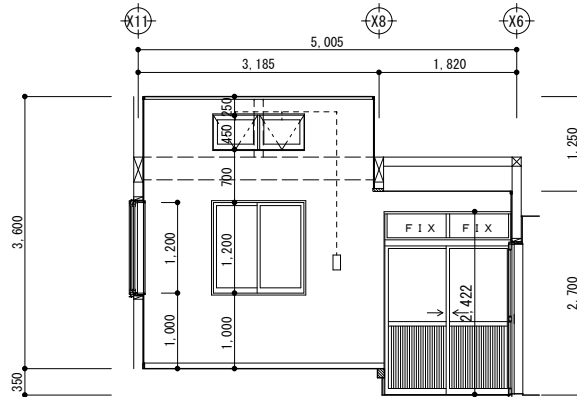
A



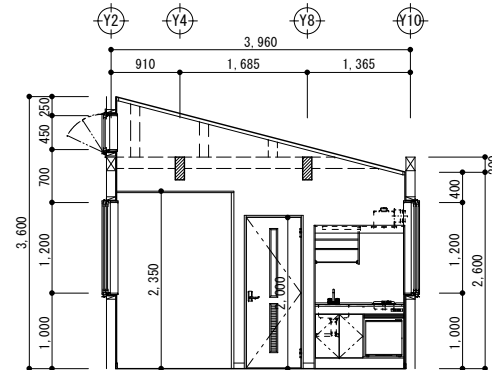
B



B

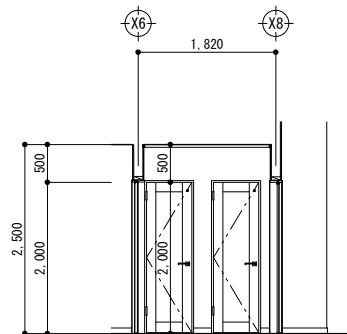


C

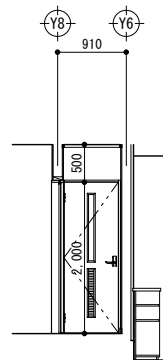


D

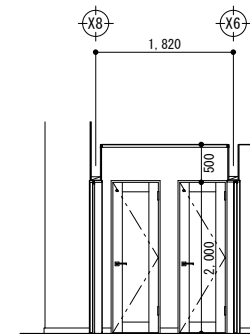
室名	廊下	CH=2,500
床	構造用合板 t=24の上木質複合70-リング t=12	
巾木	木製（杉）H=100 WP塗り	
壁	GB-R t=12.5下地の上CV貼り	
廻縁	木製 WP塗り	
天井	GB-R t=9.5下地の上CV貼り	
備考		



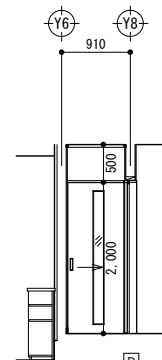
A



B



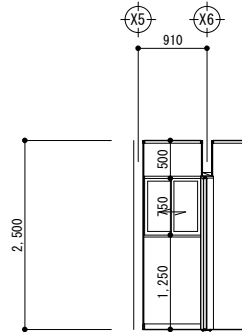
C



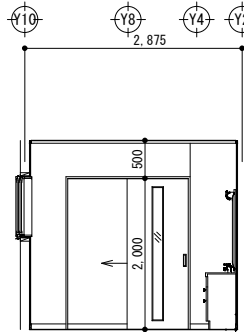
D

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A - 1 6	展開図 (1)	A2: 1/50	第 1 回変更	
		A4: 1/100	第 2 回変更	
			第 3 回変更	
			第 4 回変更	
株 式 会 社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所			

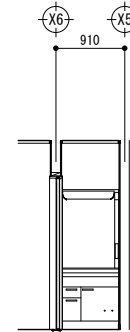
室 名	更衣室	CH=2,500
床	構造用合板 t=24の上木質複合70-リグ' t=12	
巾 木	木製（杉）H=75 WP塗り	
壁	GB-R t=12.5下地の上CV貼り 手洗い廻り：化粧ケイカル t 6（見切り共）	
廻 縁	木製 WP塗り	
天 井	GB-R t=9.5下地の上CV貼り	
備 考	手洗カウンター	



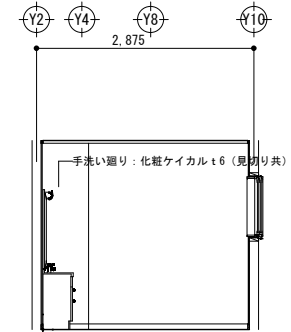
A



B

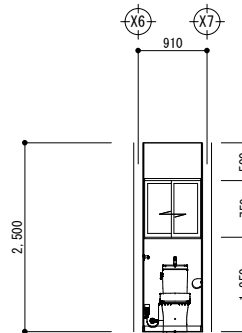


C

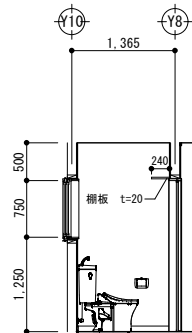


D

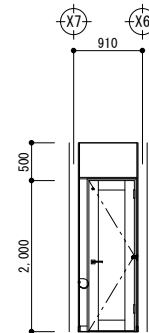
室 名	トイレ 1	CH=2,500
床	構造用合板 t=24の上木質複合70-リグ' t=12	
巾 木	木製（杉）H=100 WP塗り	
壁	GB-S t=12.5下地の上CV貼り	
廻 縁	塩ビ廻縁	
天 井	GB-R t=9.5下地の上CV貼り	
備 考	棚板 t=20	



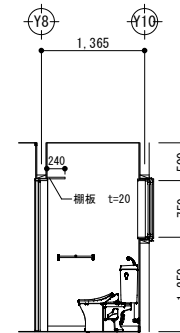
A



B

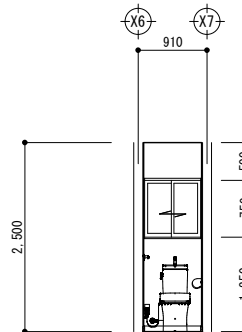


C

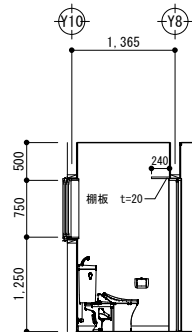


D

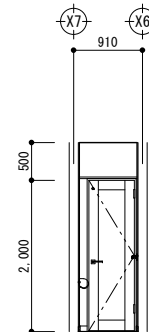
室 名	トイレ 2	CH=2,500
床	構造用合板 t=24の上木質複合70-リグ' t=12	
巾 木	木製（杉）H=100 WP塗り	
壁	GB-S t=12.5下地の上CV貼り	
廻 縁	塩ビ廻縁	
天 井	GB-R t=9.5下地の上CV貼り	
備 考	棚板 t=20	



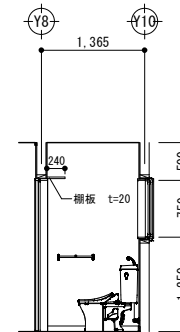
A



B



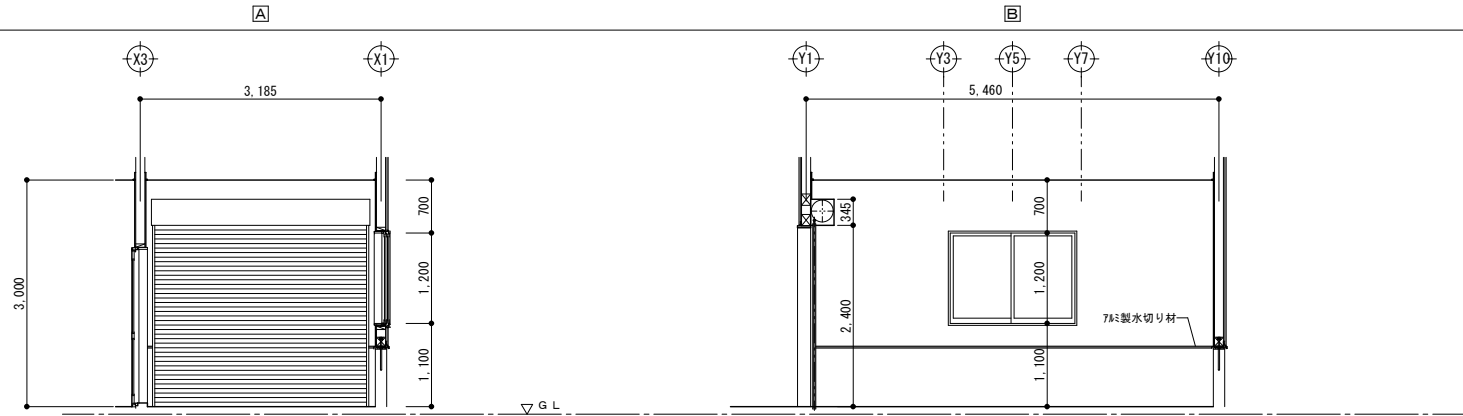
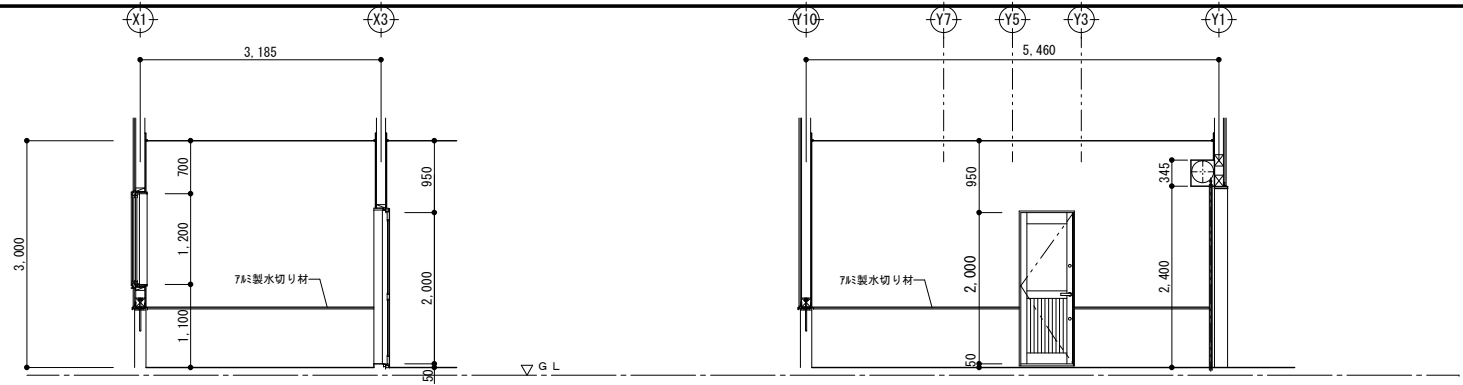
C



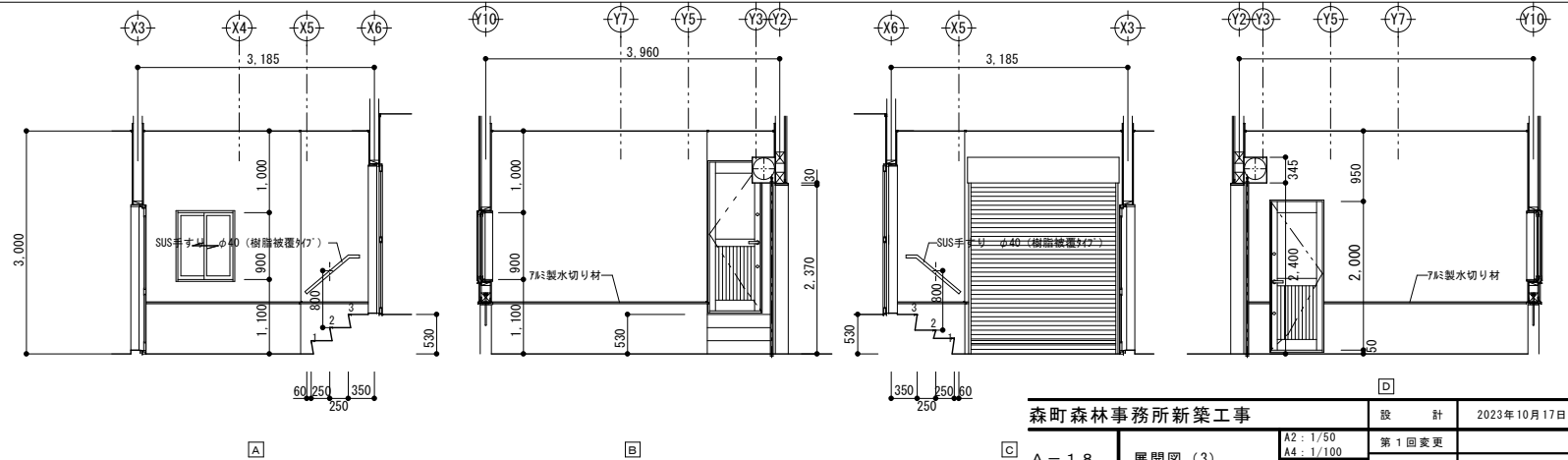
D

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A－17	展開図（2）	A2：1/50	第1回変更	
		A4：1/100	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所			

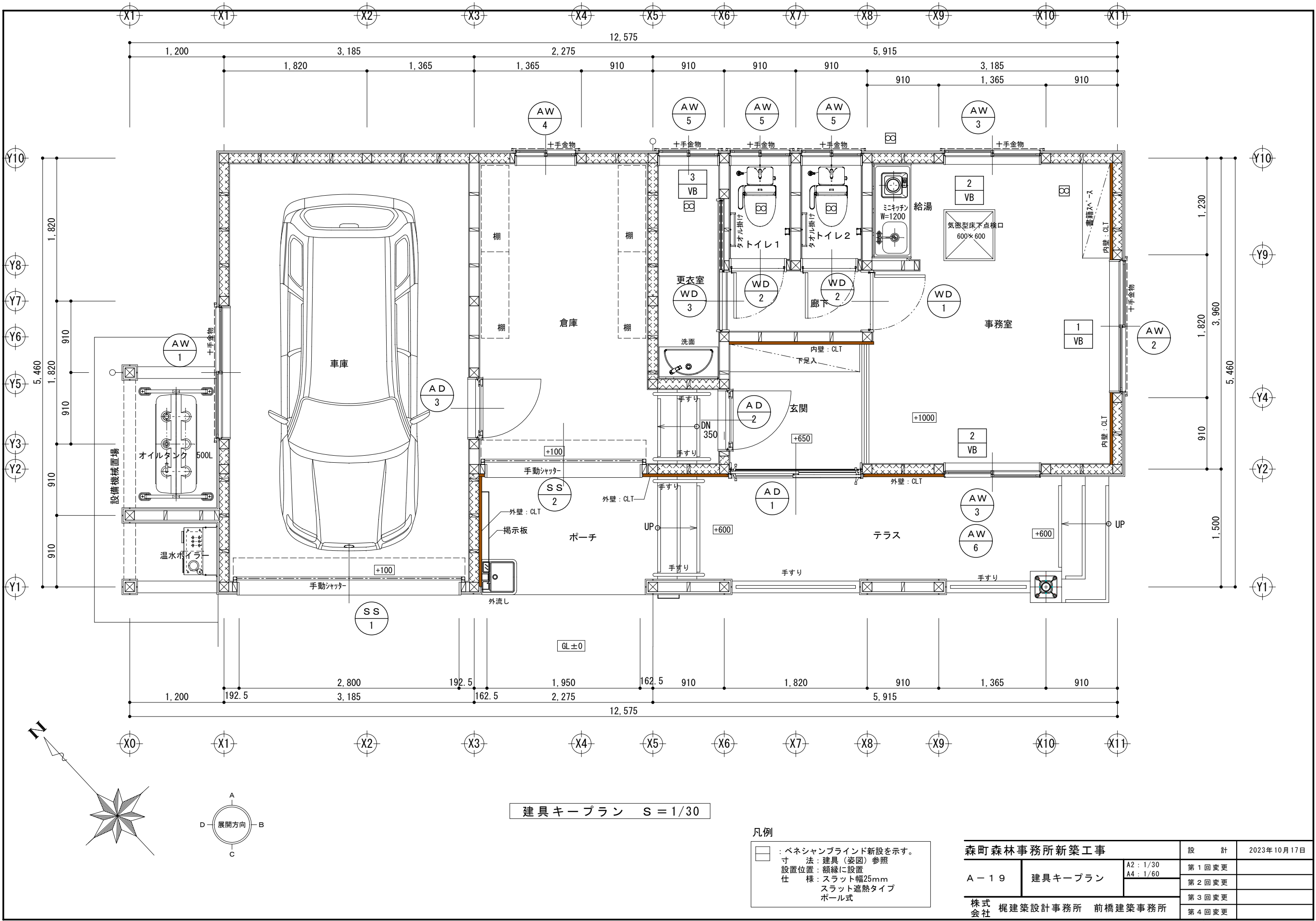
室 名	車 庫	CH=3,000
床	土間RC t=150 MR直金コテ押え	
巾 木	RC打放し金コテ押え	
壁	珪酸カルシウム板 t=12 EP塗り	
廻 縁	塩ビ廻縁	
天 井	珪酸カルシウム板 t=6 EP塗り	
備 考		



室 名	倉 庫	CH=3,000
床	土間RC t=150 MR直金コテ押え、階段部：刷毛引き仕上	
巾 木	RC打放し金コテ押え	
壁	珪酸カルシウム板 t=12 EP塗り	
廻 縁	塩ビ廻縁	
天 井	珪酸カルシウム板 t=6 EP塗り	
備 考		



森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
A-18	展開図 (3)	A2 : 1/50	第1回変更
		A4 : 1/100	第2回変更
			第3回変更
			第4回変更
株式会社 堀建築設計事務所 前橋建築事務所			

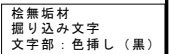
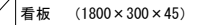
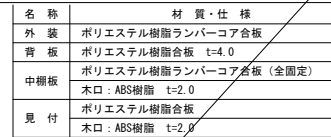
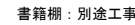
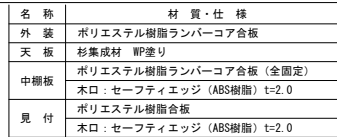


建具キープラン S = 1/30

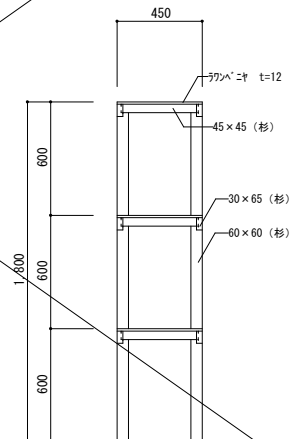
- 凡例
- : ベネシャンブラインド新設を示す。
 - 寸法 : 建具(姿図)参照
 - 設置位置 : 額縁に設置
 - 仕様 : スラット幅25mm
スラット遮熱タイプ
ボール式

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A－19	建具キープラン	A2：1/30	第1回変更	
		A4：1/60	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所				

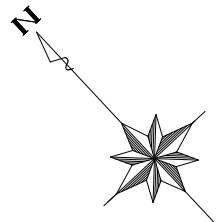
1 台 $S=1/20$



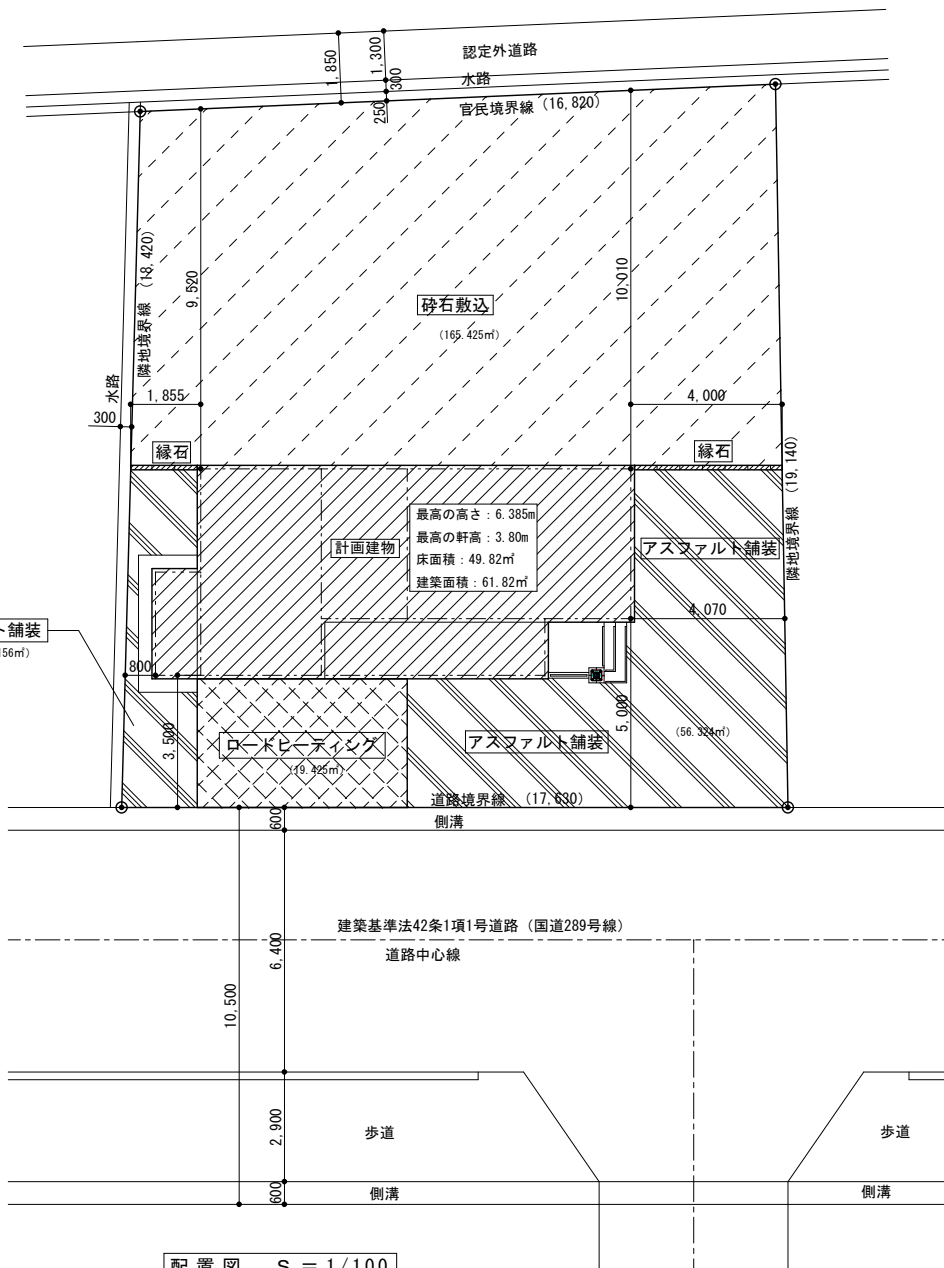
4 台 $S=1/20$



森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
A-21	家具詳細図	A2: 1/20	第1回変更
		A4: 1/40	第2回変更
株式会社 堀建設計事務所 前橋建築事務所			第3回変更
			第4回変更



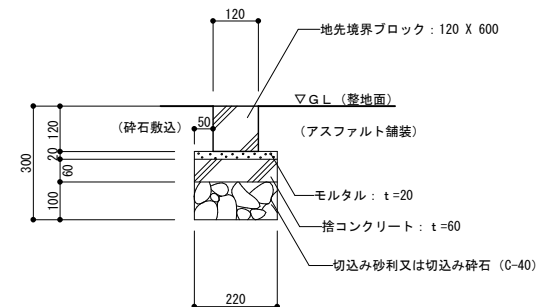
アスファルト舗装
(11.156㎡)



配置図 S = 1/100

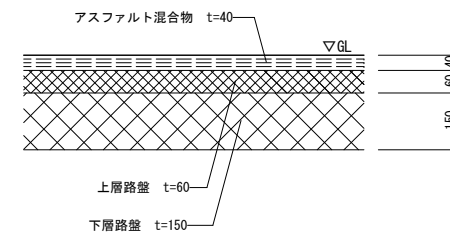
敷地面積 : 323.06㎡

緑石詳細図 S=1/10

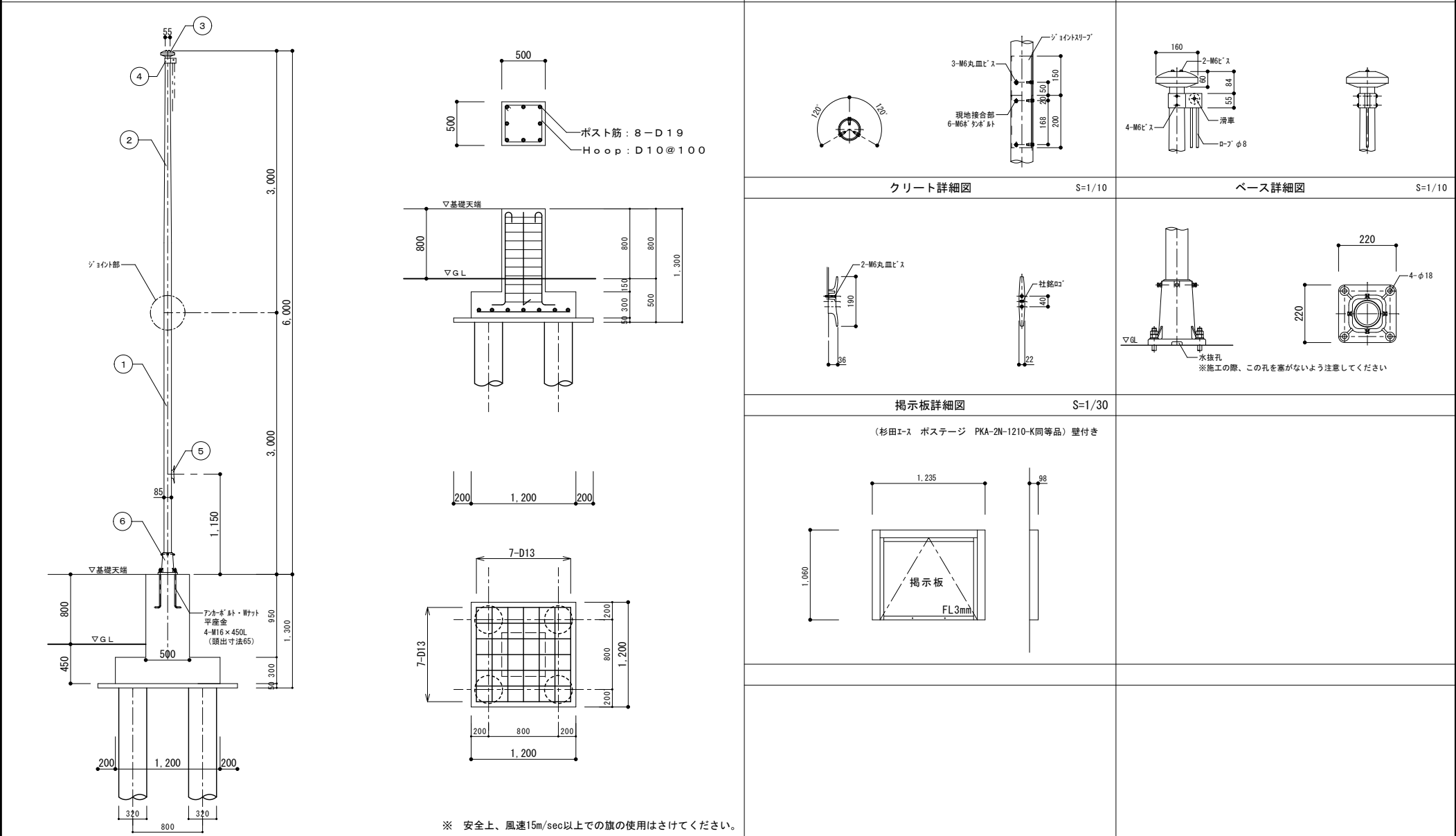


アスファルト舗装面

アスファルト舗装詳細図 S=1/10



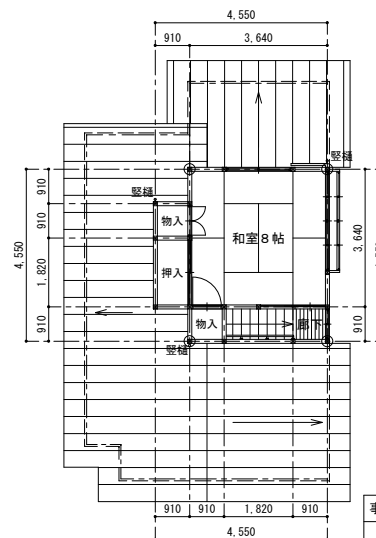
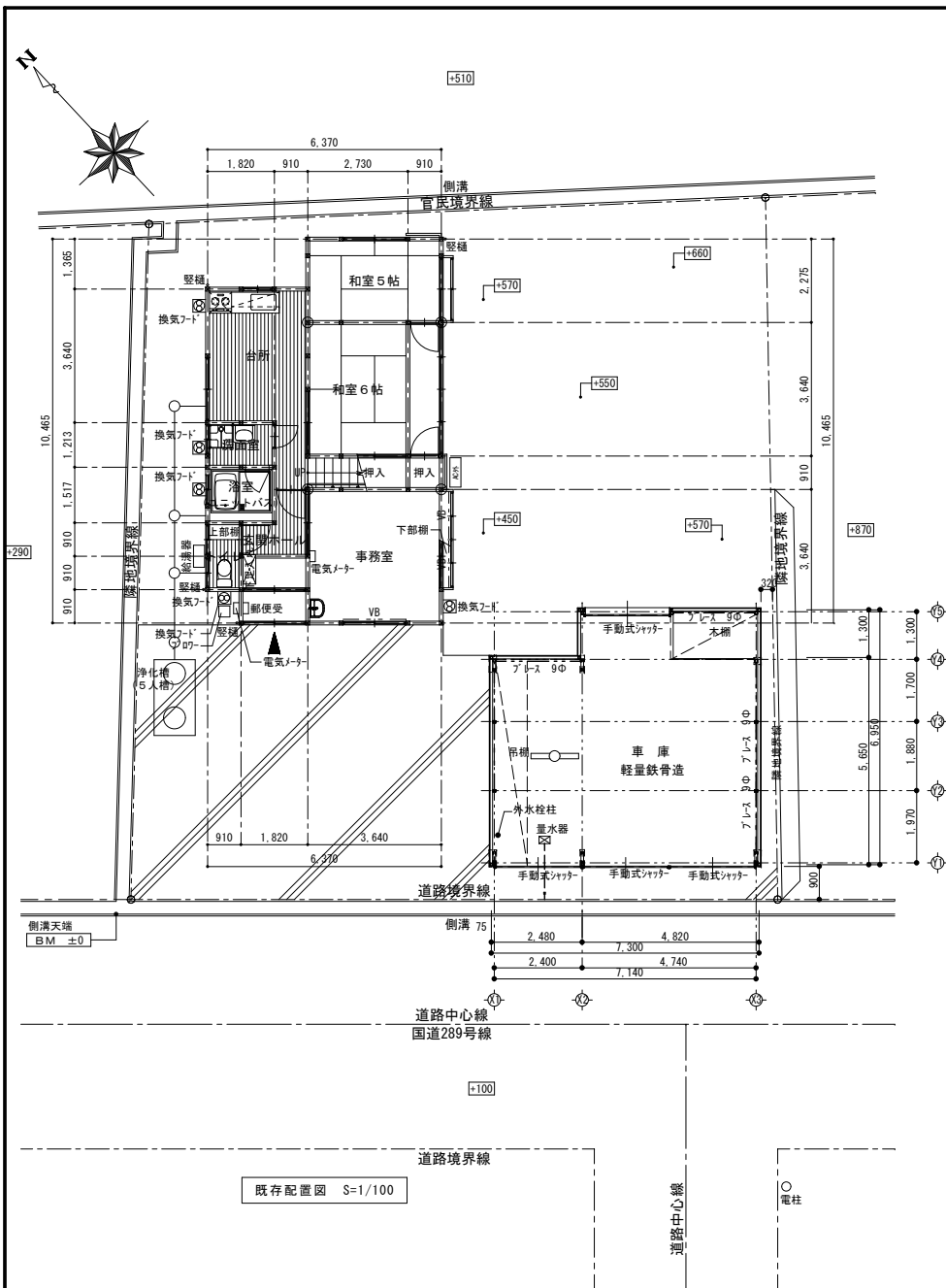
森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A - 2 2	外構配置図	A2 : 1/100	第 1 回変更	
		A4 : 1/200	第 2 回変更	
			第 3 回変更	
株 式 会 社	梶建築設計事務所	前橋建築事務所	第 4 回変更	



※ 安全上、風速15m/sec以上の旗の使用はさけてください。

番号	品名	材質	備考
1	ポール（下段）	アルミ合金継目無管 YBZTD-T8	φ85×t=2.7 HL後アルマイト処理クリアー電着塗装
2	ポール（上段）	アルミ合金継目無管 YBZTD-T8	φ85×t=2.0 HL後アルマイト処理クリアー電着塗装
3	キャップ	アルミ合金/ポリプロピレン A1050P/PP	アルマイト処理
4	滑車ホルダー	アルミ合金 A6063S-T5	焼付塗装
5	クリート	アルミ合金ダイカスト ADC6	バフ研磨後クリアー焼付塗装
6	ベース	アルミ合金鋳物 AC7A	塗装仕上げ

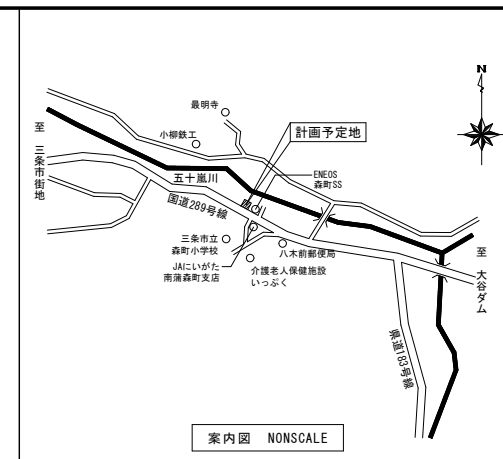
森町森林事務所新築工事		設計	2023年10月17日
A-23	外構詳細図	A2: 1/30他	第1回変更
		A4: 1/60他	第2回変更
			第3回変更
			第4回変更
株式会社 堀建築設計事務所 前橋建築事務所			



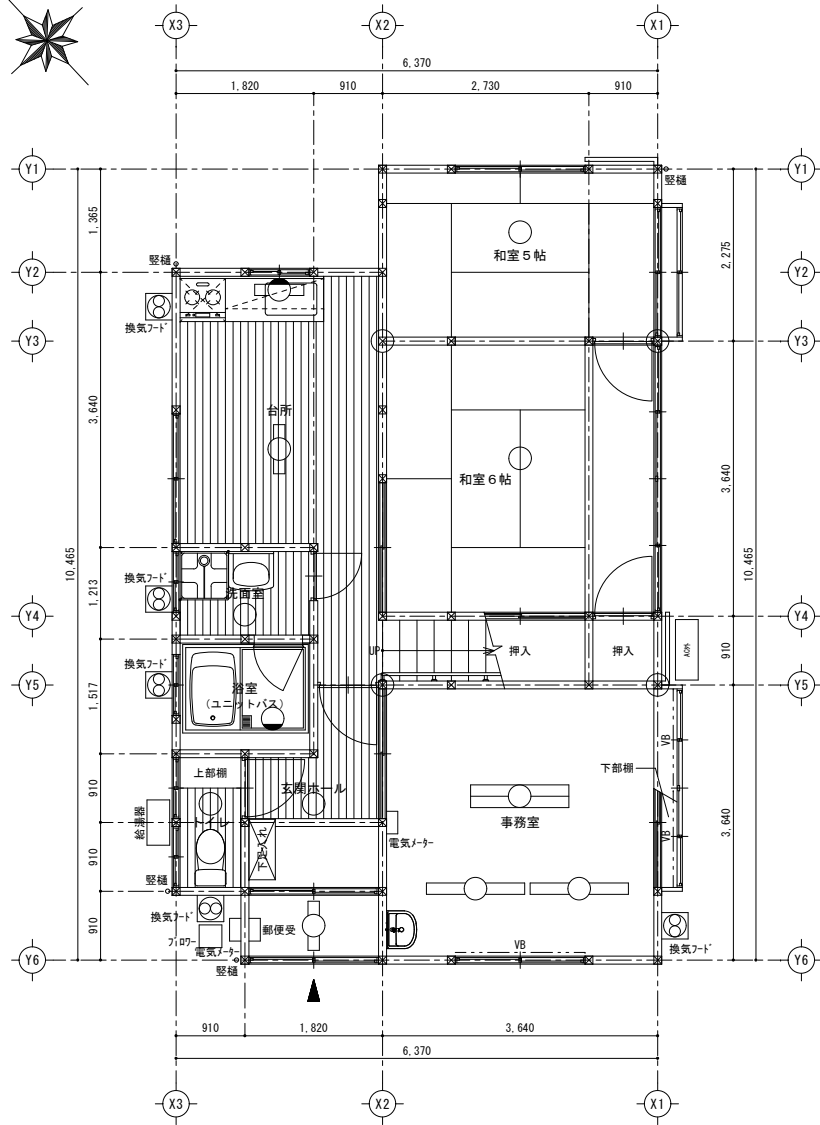
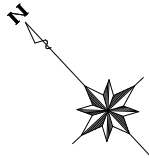
2階平面図 S=1/100

事務所（木造）各階面積表	
1階床面積	: 62.11m ²
2階床面積	: 19.05m ²
延床面積	: 81.16m ²

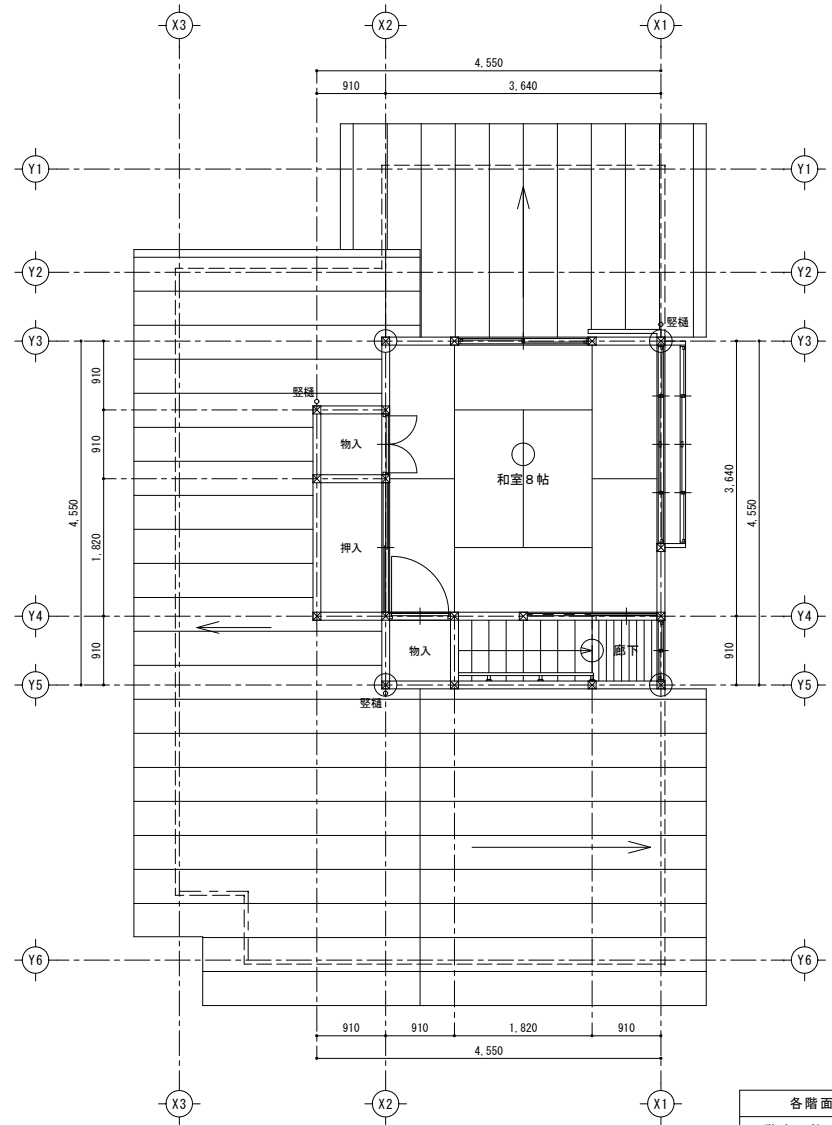
車庫部分（軽量鉄骨造）床面積 : 47.615m²



森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A－24	既存配置図・平面図	A2: 1/100	第1回変更	
		A4: 1/200	第2回変更	
株 式 会 社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所		第3回変更	
			第4回変更	



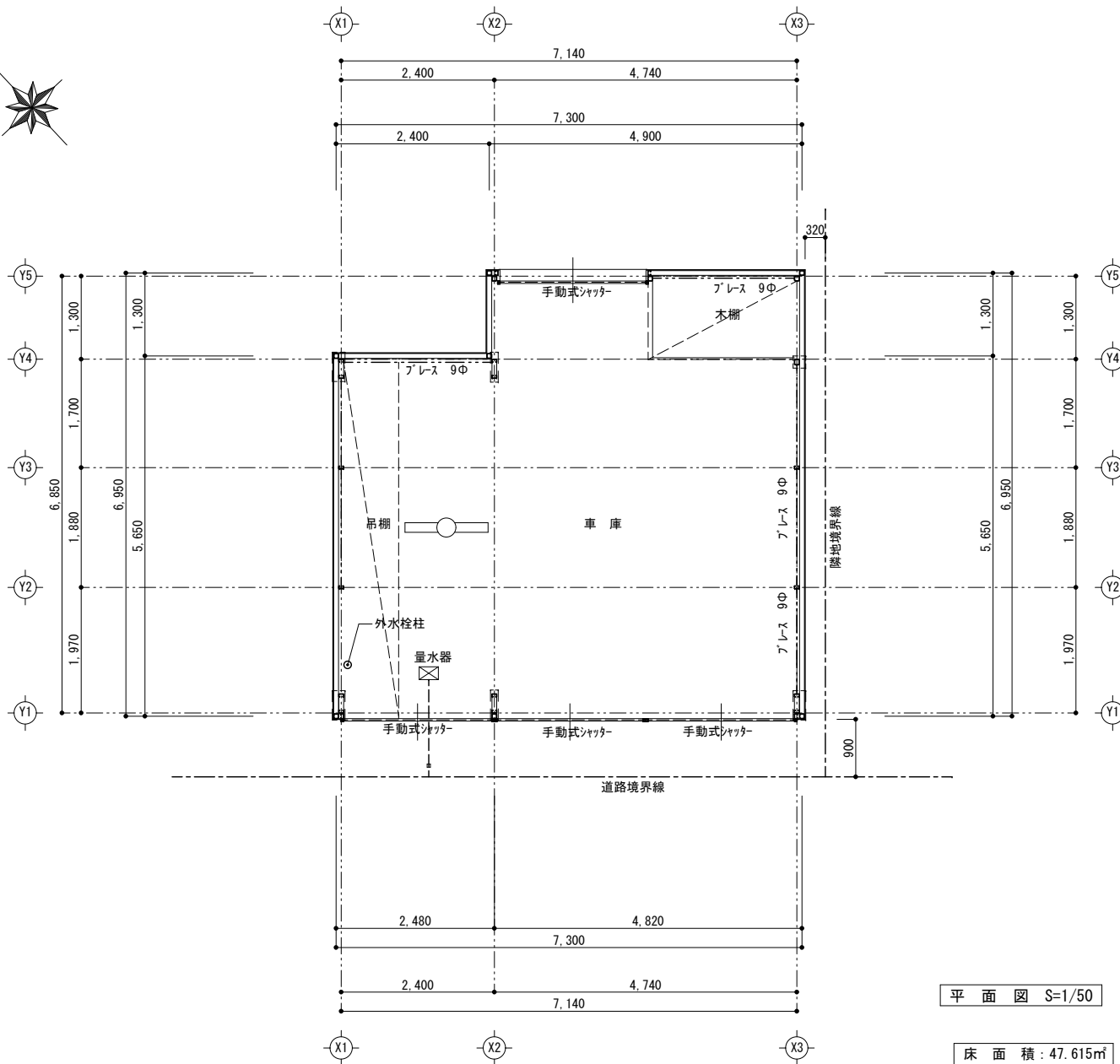
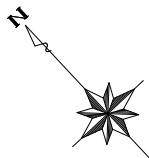
1 階平面図 S=1/50



2 階平面図 S=1/50

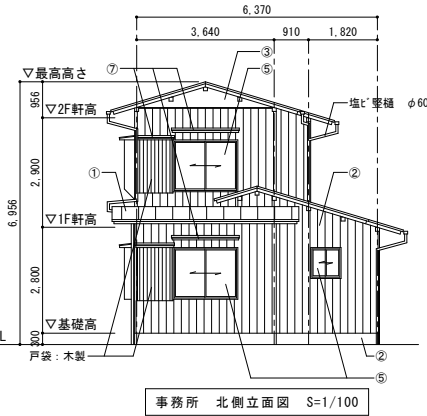
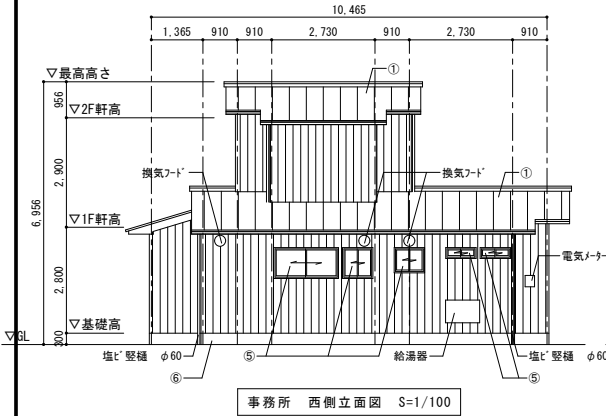
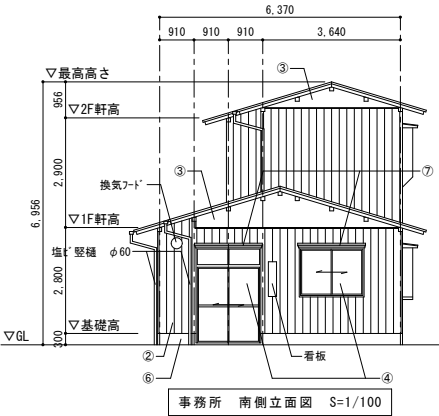
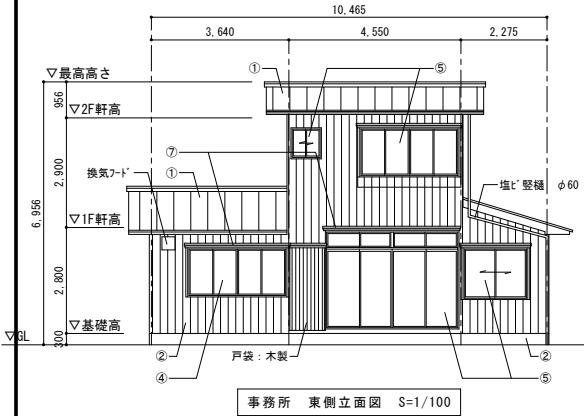
各階面積表	
1 階床面積	: 62.11m ²
2 階床面積	: 19.05m ²
延床面積	: 81.16m ²

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A-25	既存平面図 (1)	A2: 1/100	第1回変更	
		A4: 1/200	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所			

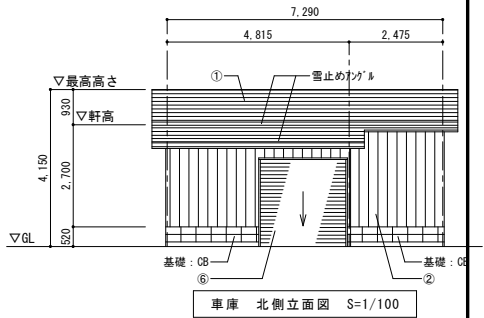
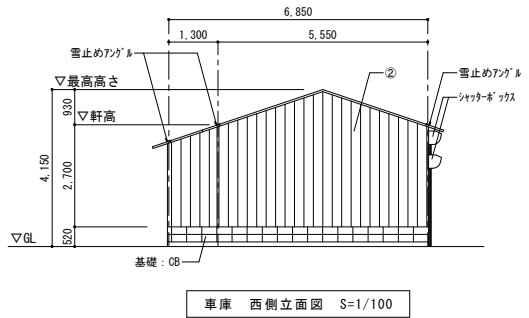
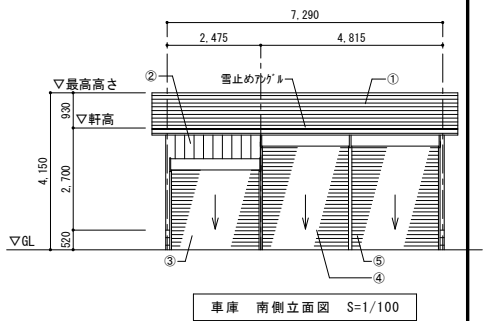
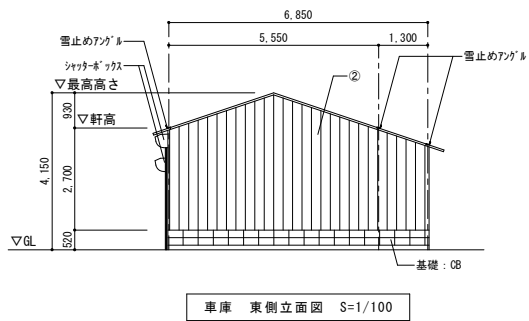


森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A-26	既存建物平面図(2)	A2: 1/100	第1回変更	
		A4: 1/200	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所			

事務所



車庫



事務所	外部仕上表			内部仕上表							車庫	外部仕上表				
	番号	部位	内容	主な仕上		床	巾木	壁		廻縁		天井		番号	部位	内容
	①	屋根	瓦葺き	1階	事務室	フローリング	木製 60×10	プラスチック塗り		木製 30×30		GB-Rの上EP塗り		①	屋根	金属板平葺
	②	外壁	木板張り		和室 6帖	畳	畳寄せ	GB-Rの上ビニルクロス、一部塩ビシート		木製 30×30		GB-Rの上ビニルクロス		②	外壁	金属サイディング
	③	外壁	しっくい塗り		和室 5帖	畳	畳寄せ	GB-Rの上ビニルクロス		木製 35×50		木板				
	④	建具	アルミ製		台所	フローリング	木製 60×10	GB-Rの上ビニルクロス		塩ビ製		GB-Rの上ビニルクロス				
	⑤	建具	アルミ製 (二重サッシ)		洗面所	フローリング	木製 60×10	GB-Rの上ビニルクロス		塩ビ製		GB-Rの上ビニルクロス				
	⑥	基礎	R C造		浴室 (ユニットバス)											
	⑦	庇	金属葺き		トイレ	フローリング	木製 60×10	腰部: 木板H=970 上部: GB-Rの上ビニルクロス		木製 30×30		GB-Rの上ビニルクロス		④	建具	軽量鋼製シャッター (有効: W=2, 280×H=2, 630)
	備考		混合廃棄物 10m ³ 設備 (照明、給排水衛生共撤去)	ホール	フローリング	木製 60×10	GB-Rの上ビニルクロス		塩ビ製	GB-Rの上ビニルクロス		⑤	建具	軽量鋼製シャッター (有効: W=2, 290×H=2, 630)		
				玄関	土間コンクリート	木製 60×10	GB-Rの上ビニルクロス		木製 30×30	GB-Rの上ビニルクロス						
和室 8帖				畳	畳寄せ	GB-Rの上ビニルクロス	木製 30×30	GB-Rの上ビニルクロス								
廊下・階段				木板	木製 60×10	プラスチック塗り		木製 30×30	GB-D							

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
A-27	既存建物 立面図	A2: 1/100	第1回変更	
		A4: 1/200	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所				

特記仕様書

(木工事)

軸組工法

※樹種についてはS-10の凡例による

一般事項

本工事における構造の骨組（架構体）、下地骨組、造作、仕上げの木工事に適用する。

特記事項は ■ 印の付いたものを適用する。

木材の品質

1. 素材及び製材の品質は、日本農林規格（JAS）の規定がある場合は、すべてこの規格に適合したものとする。

2. 構造材に用いる製材の品質は、構造用製材のJASに適合したものまたは製材のJASで定める1等以上とする。

3. 見掛かりの造作用柱、板用製材の品質は、製材のJASで定める上小節以上のものとし、心持材の場合は背割りを行ったものとする。

4. 目視等級区分の針葉樹構造用製材規格については以下の通りJASによる。

甲種構造材（構造用Ⅰ）

甲種構造材（構造用Ⅱ）

乙種構造材

（短辺が9cm未満の横物）

（短辺が9cm以上の横物）

（柱材など）

□ 一級 □ 二級 □ 三級

□ 一級 □ 二級 □ 三級

□ 一級 □ 二級 □ 三級

5. 仕口を固める楔、栓は堅木とする。又雇い材は骨組材と同材以上または堅木とする。

6. 構造用に用いる集成材は、構造用集成材のJASに適合若しくは化粧ばり集成材のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

7. 各種ボード類

（1）合板の品質は、構造用合板若しくは普通合板等のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

（2）構造用パネルの品質は、構造用パネルのJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

（3）ハードボード、硬質木片セメント板、シージングボード、石膏ボード、及びラスシートの品質は

それぞれの日本工業規格（JIS）に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

（4）パーティクルボード、MDF（ミディアム・デンシティ・ファイバーボード）の品質は

それぞれの日本工業規格（JIS）に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

乾燥

1. 木材の工事現場搬入時の含水率は下記による。

2. 針葉樹材についてはJAS区分に準じ、以下の通りとする。

□ 乾燥材 D25

□ 乾燥材 D20

□ 乾燥材 D15

※ 特記なき場合は乾燥材D25（含水率25%以下）とする。

3. 天然乾燥材については、乾燥材D25（含水率25%）を目標とし、係員の承諾を得る。

指定寸法

1. 木材の寸法については、JASに準じて、材長の不足は認めない。断面寸法については下記による。

	JASによる乾燥材		未乾燥材		
材の短辺及び長辺	90mm以上	90mm未満	90mm以上	36mm以上90mm未満	36mm未満
表示寸法と許容誤差	±1.5mm	±1.0mm	+3.0～0mm	+2.0～0mm	+1.0～0mm

材料検査

1. 構造材については、係員の検査を受けた後施工するものとする。

2. その他の材についてはその都度係員の承諾を得るものとする。

諸金物

土台と基礎や軸組相互の端部などの構造耐力上主要な部分である継手・仕口などは接合金物等を使用し効率よく緊結する。

接合金物は品質及び耐力等の性能が明らかで良質なものを選択する。（Zマーク表示金物）及びZマーク表示金物同等認定品以上とする。

防腐、防虫処理

1. 防腐剤は、JISK2439（クレオソート油、加工タール・タールピッチ）によるクレオソート油とする。

2. 外部モルタル塗となる下地板等の面は地盤面より高さ1.0mまでと、台所、浴室等、湿気のある場所の軸組及び下地材が木質の場合も防腐剤塗とする。

防蟻処理

□ 行わない

□ 行なう（）

部 位

土 台

材 種

□ ひのき

□ べいひのき

□ たいわんひのき

□ ひば

□ べいひば

□ こうやまき

□ くり

□ けやき

□ からまつ

□ 保存処理製材

□ 土台用加圧式防腐処理木材

□ その他（）

工 法

1. 断面寸法は柱と同じ寸法以上とし105mm×105mmを標準とする。

ただし、多雪区域内（「建築基準法施行令第86条第2項ただし書の規定より特定行政庁が指定する区域」以下同じ）においては105mm×105mm以上とする。

2. 継手は、柱及び床下換気孔の位置は避ける。

仕 口

□

□

□

□

□ その他（）

縦輪小根柄差し

片蟻掛け

大入れ蟻掛け

大入れ柄差し

割楔

土台

土台

土台

土台

柱の柄穴

割楔

土台

土台

継 手

□

□

□

□

金輪継ぎ

腰掛鎌継ぎ

腰掛あり継ぎ

その他（）

込栓

土台

土台

土台

土台

火打土台

材 種

□ ひのき

□ べいひのき

□ たいわんひのき

□ ひば

□ べいひば

□ からまつ

□ べいまつ

□ 火打金物

工 法

火打土台は次のいずれかによる。

1. 木材の火打土台とする場合は、次による。

イ. 断面寸法は45mm×90mm以上とする。

2. 鋼製火打とする場合は、特記による。

3. 火打土台を省略する場合は、下記による。

イ. 床下地板の品質は、構造用合板のJASに適合するもので種類は1類とし厚さ12mm以上、パーティクルボードのJISに適合するもので種類は13Pまたは13M以上とし厚さ15mm以上、又は構造用パネルのJASに適合するものとする。

ロ. 床下地板の張り方は、床下地板の長手方向を根太と直交させ、且つ千鳥張りとし土台及び大引に20mm以上のせて釘打ちとする。

床下地板は根太等の受け材上で突付継ぎとする。

ハ. 床下地材の釘打ちは床下地材の4周辺をN50釘を用い釘打ち間隔150mm以下で、根太、大引、土台及び受け材に平打ちして固定する。

仕 口

□

□

□

傾ぎ大入れほぞ差し

傾ぎ胴付きホルト締め

傾ぎ入れ

土台

土台

土台

火打土台

火打土台

火打土台

土台

土台

土台

（90mm×90mm以上）

（90mm×90mm以上）

（90mm×45mm以上）

森町森林事務所新築工事

設 計

2023年10月17日

S-O1

木造（軸組工法）
特記仕様書（I）

A2：－
A4：－

第1回変更

第2回変更

第3回変更

第4回変更

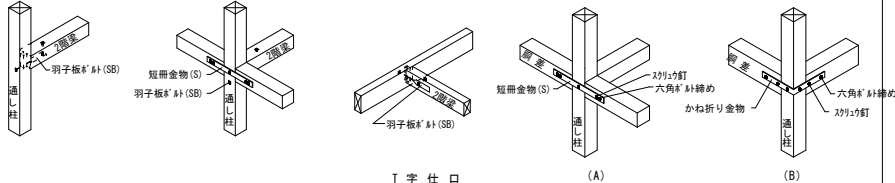
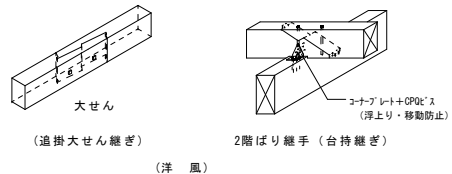
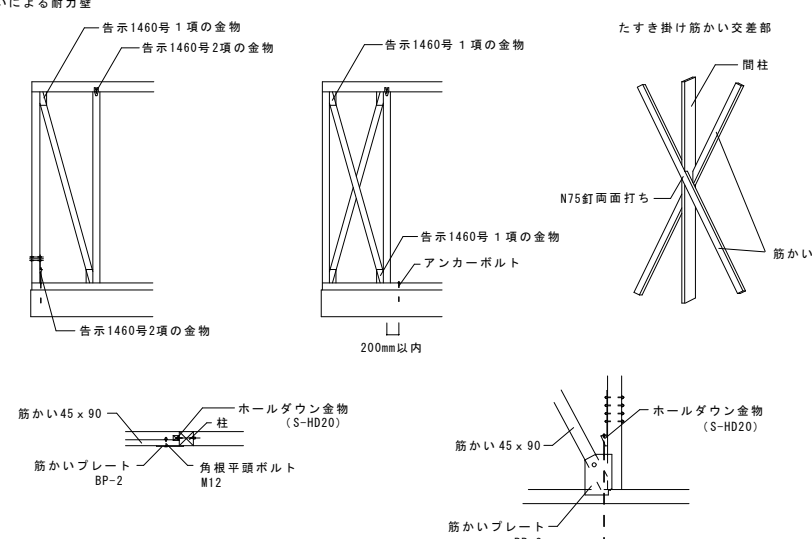
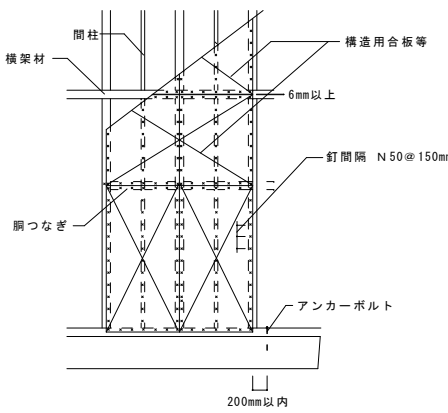
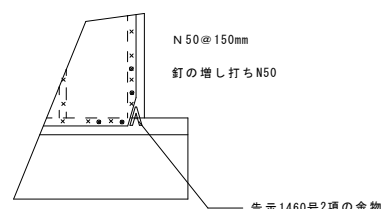
株式会社

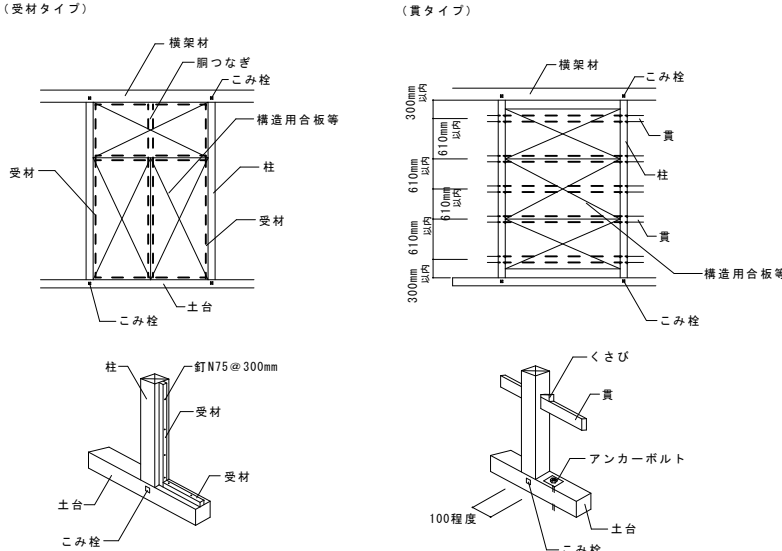
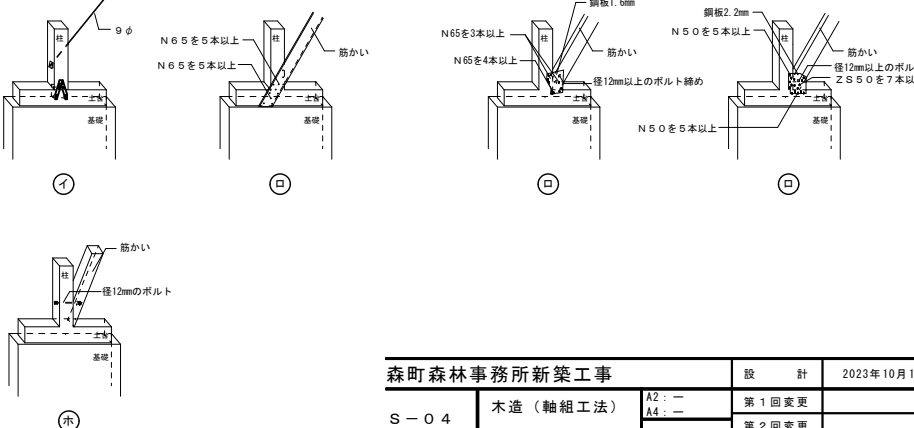
梶建築設計事務所

前橋建築事務所

群馬県前橋市荒牧町4-1-21（群馬）登録3820号 TEL027（234）9820 一級建築士 登録第224895号 荒木 真美

特記仕様書（木工事） 軸組工法																			
部 位										部 位									
床 組 大 引	材 種	☐ ひのき ☐ べいひのき ☐ たいわんひのき ☐ すぎ ☐ べいまつ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ ）								根太掛け	材 種	☐ すぎ ☐ べいまつ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ ）							
		工 法										工 法							
		1. 断面寸法は90mm×90mmを標準とする。										1. 断面寸法は30mm×90mmを標準とする。							
		2. 継手は、床束芯から150mm内外持ち出し、N75釘2本打ちとする。										2. 継手は、柱芯で突付け継ぎとし、N75釘2本を平打ちとする。							
床 束	材 種	☐ ひのき ☐ べいひのき ☐ たいわんひのき ☐ すぎ ☐ べいまつ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ 鋼製束 ☐ 合成樹脂製束								間 柱	材 種	☐ すぎ ☐ ひのき ☐ べいつが ☐ 化粧貼構造用集成材 ☐ ☐ （見え隠れ） ☐ ひのき ☐ べいつが ☐ ☐ ☐ ☐							
		工 法										工 法							
		1. 断面寸法は90mm×90mmを標準とする。										1. 柱の断面寸法は105mm×105mmを標準とする。							
		2. 継手は、上部仕口は、補強金物にて緊結する。										2. 通し柱の断面寸法は、120mm×120mmを標準とする。							
根 太	材 種	☐ すぎ ☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ ）								仕 口	材 種	☐ すぎ ☐ ひのき ☐ べいまつ ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ べいつが ☐ その他（ ）							
		工 法										工 法							
		1. 断面寸法は45mm×45mmを標準とする。										1. 横架材との仕口は、上部ほぞ差し下部突付けとし、下部はN75釘2本を斜め打ちする。							
		ただし、2階床の床梁間隔が900mm内外の場合は45mm×60mm以上とし、また2階梁間隔又は1階大引間隔がそれぞれ1.800mm内外の場合は45mm×105mm間隔を標準とする。										2. 筋かい当たりは、間柱を欠き、N75釘2本を平打ちする。							
										3. 通し貫当たりは、添付てN65釘2本を平打ちする。									
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 大入れ蟻掛け 腰掛け蟻 乗せ掛け 柱 大引 添え束 その他 土台 土台 土台 土台 土台										☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 腰掛あり継ぎ 相欠き継ぎ その他 大引 大引 大引 大引 大引 床束 床束 床束 床束 床束							
		註 上記仕口はいずれもN75釘2本斜め打ちとする。										（見えがかり）							
												（見え隠れ）							

特記仕様書（木工事） 軸組工法				
部 位		部 位		
2階床梁 胴 差 け た	材 種	☐ ひのき ☐ べいひのき ☐ たいわんひのき ☐ あかまつ ☐ くらまつ ☐ からまつ ☐ べいまつ ☐ べいつが		
	工 法	☐ ☐ 1. 断面寸法は、荷重の状態、スパン、梁間隔等を勘案して構造計算等により適切なもの特記する。 2. 継手は梁を受ける柱間を避け、柱より150mm内外持ち出した位置に設ける。 3. 横架材の中央部分付近の下側に耐力上支障のある欠込みをしてはならない。 4. 柱又は、横架材との仕口部分は補強金物にて緊結する。		
	仕 口	 T 字 仕 口 (A) (B) (かたぎ大入れ短ぼぞ差し)		
	継 手	 (追掛大せん継ぎ) (洋 風) 2階ばり継手 (台持継ぎ)		
火打梁	材 種	☐ ひのき ☐ べいひのき ☐ たいわんひのき ☐ ひば ☐ べいひば ☐ からまつ ☐ べいまつ ☐ 火打金物		
	工 法	火打梁は次のいずれかによる。 1. 木材の火打梁とする場合は、次による。 イ. 断面寸法は90mm×90mm以上とする。 ロ. 梁・胴差・桁等との仕口は、傾ぎ大入れとし、六角ボルト閉めとする。 但し、梁・胴差・桁等の上端又は下端に取付ける場合は、渡りあご又はすべりあごとし いずれも六角ボルト締めとする。 2. 鋼製火打とする場合は、特記による。 3. 火打梁を省略する場合は、火打土台の項に準じる。		
	筋かい			
	耐力壁	材 種 ☐ すぎ ☐ べいつが ☐ 構造用合板7.5mm以上 ☐ 構造用パネル ☐ パーティクルボード12mm以上 ☐ ハードボード5mm以上 ☐ その他（ ）		
筋かいによる耐力壁		木造筋かい 1. 断面寸法は30mm×90mm以上とする。 2. 見付け平使いとし、上下端部の仕口は告示1460号に適合した方法とする。 3. 筋かいが間柱と取り合う部分は、間柱を筋かいの厚さだけ欠きとって筋かいを通す。		
大壁造の面材耐力壁		大壁造の面材耐力壁 1. 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。 2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。 3. 構造用面材は横張り又は縦張りとする場合で、やむをえず、梁、柱等以外で継ぐ場合は、断面は45mm×100mm以上とする。 4. 構造用合板については、屋外に面する壁、及び常時湿潤状態になる恐れのある壁には「特類」を使用し、「1類」は室内に使用する。 5. 1階及び2階部の上下同位置に構造用面材の耐力壁を設ける場合は、胴差部において、構造用面材相互間に、6mm以上のあきを設ける。 筋かいによる耐力壁  大壁造の面材耐力壁  大壁造の面材耐力壁において、面材の四隅を切り欠いて山形プレートを柱と横架材に直接釘打ちする場合は下図のように近傍に釘の増し打ちをする。 		
森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日	
S-O3	木造（軸組工法） 特記仕様書（3）	A2：－	第1回変更	
		A4：－	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所				

特記仕様書（木工事） 軸組工法																					
部 位		部 位																			
耐力壁	真壁造の面材耐力壁 1. 面材による耐力壁は、面材の種類により釘の種類・間隔が異なるので、告示1100号に適合していることを確認する。 2. 柱と横架材の接合部は、特記なき限り 告示1460号による金物等により補強する。 (受材タイプ) 1. 受材は30mm×40mm以上とする。 2. 受材は、柱及び梁、桁、土台、その他の横架材にN75以上の釘を30cm以下の間隔で平打ちとする。 3. 構造用面材は、受け材並びに間柱及び胴つなぎ等に留めつける。 4. 構造用面材を受材以外で継ぐ場合は、間柱又は胴つなぎ等の断面は45mm×65mm以上とする。 (貫タイプ) 1. 貫は15mm×90mm以上とする。 2. 貫は5本以上設ける。 3. 最上段の貫とその直上の横架材との間隔及び最下段の貫とその直下の横架材との間隔は、おおむね30cm以下とし、 その他の貫の間隔は61cm以下とする。 4. 貫を柱に差し通す場合は、両面からくさび締め又は釘打ちとする。 5. 貫の継手は、おおむね柱心で突付けとする。 6. 柱との仕口は、柱の径の1/2程度差し込みくさび締め又は釘打ちとする。 7. 構造用面材は、貫に確実に留めつける。 8. 構造用面材を継ぐ場合は、貫上で行なう。																				
	接合金物 筋かい端部の接合(告示 1460号1項) イ. 径9mmの鉄筋 柱又は、横架材（柱や土台）貫通し、三角座金を介してナット締め、鋼板添え板を用い 柱又は横架材にJIS規定鉄丸釘CN90を8本以上打ち付けたもの。 ロ. 1.5cm×9cmの木材の筋かい 柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材の双方にJIS規定鉄丸釘N65を5本以上 平打ちしたもの。 ハ. 3cm×9cmの木材の筋かい 厚さ1.6mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径12mm以上のボルト及び 釘3本平打ち、柱に対して釘3本平打ち、横架材に対して釘4本平打ちしたもの。 ニ. 4.5cm×9cmの木材の筋かい 厚さ2.2mm以上の鋼板添え板を用い、筋かいに対して径12mm以上のボルト及び 長さ50mm以上のスクリー釘7本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm以上の スクリー釘5本平打ちしたもの。 ホ. 9cm×9cmの木材の筋かい 柱又は横架材に、JIS強度区分4.6の径12mmのボルトを用いて一面せん断接合とすること。																				
																					
		<table><tr><td colspan="2">森町森林事務所新築工事</td><td>設 計</td><td>2023年10月17日</td></tr><tr><td rowspan="4">S - 0 4</td><td rowspan="5">木造（軸組工法） 特記仕様書（4）</td><td>A2：－ A4：－</td><td>第1回変更</td></tr><tr><td></td><td>第2回変更</td></tr><tr><td></td><td>第3回変更</td></tr><tr><td></td><td>第4回変更</td></tr><tr><td colspan="2">株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所</td><td colspan="2"></td></tr></table>		森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日	S - 0 4	木造（軸組工法） 特記仕様書（4）	A2：－ A4：－	第1回変更		第2回変更		第3回変更		第4回変更	株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所			
森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日																		
S - 0 4	木造（軸組工法） 特記仕様書（4）	A2：－ A4：－	第1回変更																		
			第2回変更																		
			第3回変更																		
			第4回変更																		
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所																					

特記仕様書（木工事） 軸組工法			
部 位		部 位	
接合金物	接合金物使用条件 接合金物の取付・施工は、平成12年建設省告示第1460号を順守し施工する。 接合金物は、Zマーク表示金物、又はZマーク表示金物同等認定品とする。 筋かい接合金物は、建設省告示第1460号対応金物の内より筋かい寸法に合わせ、納まりを考慮し最良のものを使用する。	柱の両端部と横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱）	イ. 柱短ぼぞをし、山形プレート 〇. 短柱ぼぞ差しかど金物当て釘打ち (VP) 当て釘打ち ハ. 長ぼぞ差し込みせん打ち ニ. 短柱ぼぞ差しひら金物当て釘打ち イ. 柱短ぼぞをし、山形プレート 〇. 短柱ぼぞ差しかど金物当て釘打ち (VP) 当て釘打ち ハ. 長ぼぞ差し込みせん打ち ニ. 短柱ぼぞ差しひら金物当て釘打ち
柱と横架材	仕口の分類（筋かいが取り付かない柱の場合） ○：筋かいの取り付かない柱と横架材の仕口位置 ◇：筋かいの取り付かない隅柱と横架材の仕口位置 柱の端部と横架材の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く） イ. 柱短ぼぞをし、山形プレート 〇. 短柱ぼぞ差しかど金物当て釘打ち (VP) 当て釘打ち ハ. 長ぼぞ差し込みせん打ち ニ. 短柱ぼぞ差しひら金物当て釘打ち 隅柱と土台の仕口の施工例（筋かいの取り付く柱は除く） イ. 短ぼぞ差しかど金物2枚当て釘打ち ロ. 長ぼぞ差し込みせん打ち ハ. ホールドダウン金物による緊結 ニ. 落としありかど金物2枚当て釘打ち 仕口の分類（筋かいが取り付く柱の場合） ○：筋かいの上端部が取り付く柱と横架材の仕口位置 △：筋かいの下端部が取り付く柱と横架材の仕口位置 ◇：筋かいの取り付く隅柱と土台の仕口位置 1階管柱と2階の柱の緊結 外周部の主要な隅角部の柱及び構造計算による引き抜き応力が大きい2階の柱は、1階の管柱と接合金物（ホールドダウン金物）で緊結する。	接合金物	柱頭・柱脚の仕口の接合（告示1460号2項）

特記仕様書 (木工工) 軸組工法

部 位
金 物

かすがい
かすがい

かど金物 CP・L
太め釘 Z N65 10本

山型 プレート VP
太め釘 Z N90 8本

羽子板ボルト SB-F2, SB-E2
柱・・・六角ボルト M12
六角ナット M12
角座金 W 4.5×40
梁・・・角座付ボルト M12
六角ナット M12
角座金 W 4.5×40

羽子板ボルト SB-F2, SB-E2
柱・・・六角ボルト M12
六角ナット M12
角座金 W 4.5×40
スクリュー釘 Z S50
梁・・・角座付ボルト M12
六角ナット M12
角座金 W 4.5×40

2階箇所金物施工箇所標準図

六角ボルト M12
羽子板ボルト M12

六角ボルト M12
引寄せボルト M16

羽子板ボルト SB-F2
柱・・・六角ボルト M12
六角ナット M12
角座金 W 4.5×40
梁・・・六角ナット M12
角座金 W 4.5×40

ホールダウン金物 S-HD10
角座金付ボルト M16
六角ナット M16×2個
フラット角根ボルト M12×2本
六角ナット M12×2個
バネ付丸座金 W 4.5×2枚

2階隔柱緊結金物施工箇所標準図

かど金物 CP・L
太め釘 Z N65 10本

山型 プレート VP
太め釘 Z N90 8本

短ざく金物 S 短ざく金物 FS-360/82220
山型 プレート VP 柱・・・六角ボルト M12×2
太め釘 Z N90 8本
六角ナット M12×23本
角座金 W 4.5×40×2
梁・・・リングネイル FR N55×2
梁・・・スクリュー釘 Z S50

短ざく金物 S 短ざく金物 FS-360/82220
柱・・・六角ボルト M12×2
六角ナット M12×23本
角座金 W 4.5×40×2
梁・・・リングネイル FR N55×2
梁・・・スクリュー釘 Z S50

フラットボルト M12
ホールダウン金物 耐力10Kn
引寄せボルト M16

ホールダウン金物 S-HD10×2
面引きボルト M16
六角ナット M16×2個
フラット角根ボルト M12×3本×2
六角ナット M12×3個×2
バネ付丸座金 W4.5×3枚×2

中間箇所金物施工箇所標準図

かすがい
かすがい

かど金物 CP・L
太め釘 Z N65 10本

山型 プレート VP
太め釘 Z N90 8本

両引き羽子板金物 (L型 羽子板金物)
柱・・・六角ボルト M12
六角ナット M12
バネ付丸座金 W4.5
土台・・・丸座金付ボルト M12
六角ナット M12
バネ付丸座金 W4.5

ホールダウン金物 S-HD10
柱・・・フラット角根ボルト M12×2本
六角ナット M12×2個
フラット丸座金 ×2枚
土台・・・角座付ボルト M16
六角ナット M16

基礎・土台部分金物施工箇所標準図

部 位
金 物

隔通し柱
横架材
スクリュー釘 Z S50
六角ボルト M12

かど折り金物 SA
六角ボルト M12×2本
六角ナット M12×2個
角座金 W4.5×40×2枚
スクリュー釘 Z S50×2本

2階隔通し柱・胴差緊結金物施工箇所標準図

通し柱
横架材
スクリュー釘 Z S50
六角ボルト M12

短ざく金物 S
六角ボルト M12×2本
六角ナット M12×2個
角座金 W4.5×40×2枚
スクリュー釘 Z S50×3本

通し柱・胴差緊結金物施工箇所標準図

フラットボルト M12
ホールダウン金物 耐力15Kn
引寄せボルト M16

ホールダウン金物 S-HD15×2
面引きボルト M16
六角ナット M16×2個
フラット角根ボルト M12×3本×2
六角ナット M12×3個×2
バネ付丸座金 W4.5×3枚×2

フラットボルト M12
ホールダウン金物 耐力20Kn
引寄せボルト M16

ホールダウン金物 S-HD20×2
面引きボルト M16
六角ナット M16×2個
フラット角根ボルト M12×4本×2
六角ナット M12×4個×2
バネ付丸座金 W4.5×4枚×2

フラットボルト M12
ホールダウン金物 耐力25Kn
引寄せボルト M16

ホールダウン金物 S-HD25×2
面引きボルト M16
六角ナット M16×2個
フラット角根ボルト M12×5本×2
六角ナット M12×5個×2
バネ付丸座金 W4.5×5枚×2

フラットボルト M12
ホールダウン金物 耐力15Kn
ユニアンカーボルト M16

ホールダウン金物 S-HD15
柱・・・フラット角根ボルト M12×3本
六角ナット M12×3個
フラット丸座金×3枚
土台・・・ユニアンカーボルト M16
六角ナット M16

フラットボルト M12
ホールダウン金物 耐力20Kn
ユニアンカーボルト M16

ホールダウン金物 S-HD20
柱・・・フラット角根ボルト M12×4本
六角ナット M12×4個
フラット丸座金 ×4枚
土台・・・ユニアンカーボルト M16
六角ナット M16

フラットボルト M12
ホールダウン金物 耐力25Kn
ユニアンカーボルト M16

ホールダウン金物 S-HD25
柱・・・フラット角根ボルト M12×5本
六角ナット M12×5個
フラット丸座金 ×5枚
土台・・・ユニアンカーボルト M16
六角ナット M16

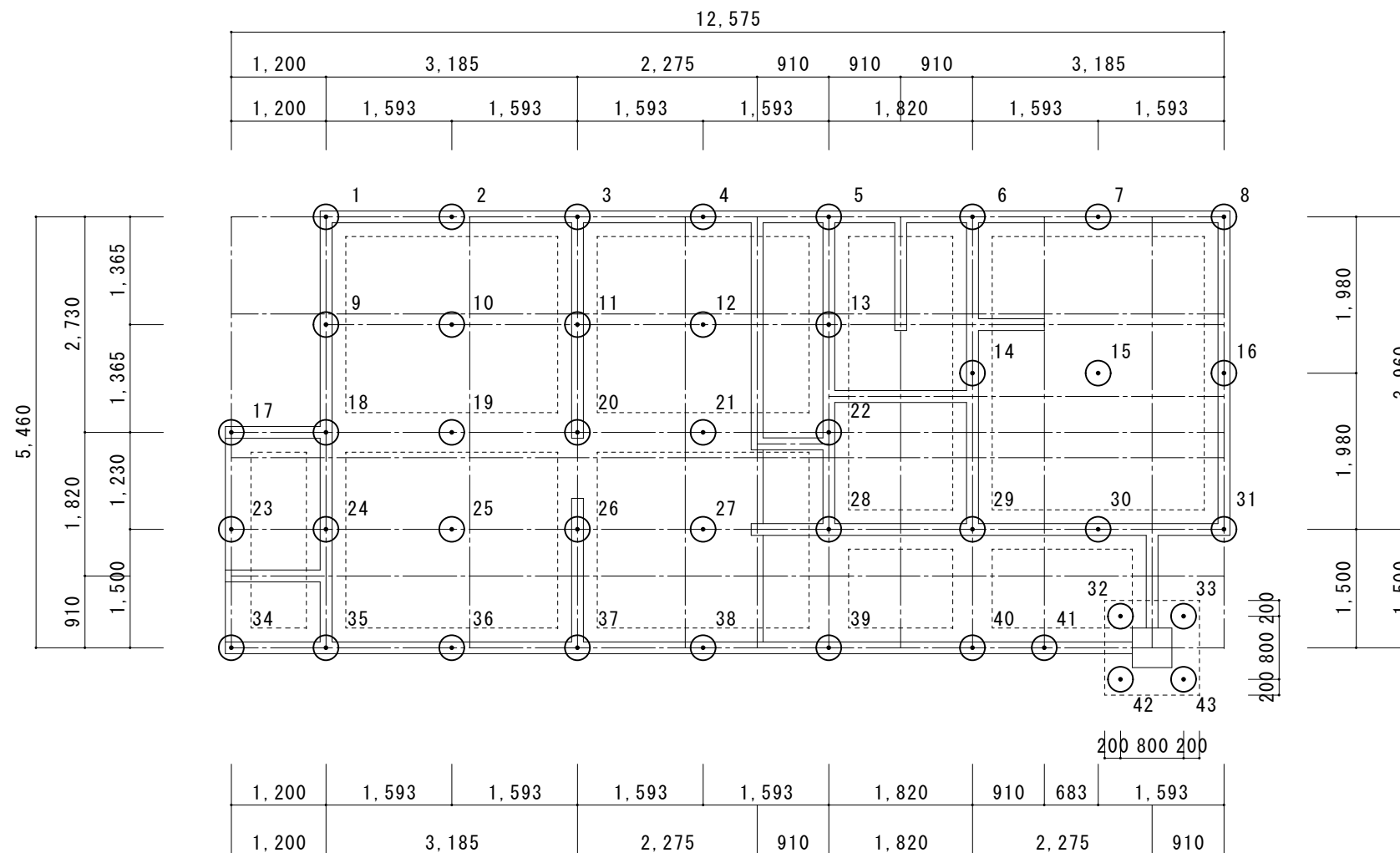
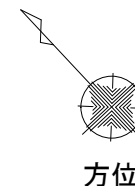
森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
S - 0 6	木造（軸組工法）	A2：－	第 1 回変更	
	特記仕様書（6）	A4：－	第 2 回変更	
株式会社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所		第 3 回変更	
			第 4 回変更	

特記仕様書（木工事） 軸組工法							
部 位		接 合 金 物		部 位		接 合 金 物	
金 物				金 物			
種類・記号	形状・寸法（単位mm） 使用接合具	用途・使い方		種類・記号	形状・寸法（単位mm） 使用接合具	用途・使い方	
火打金物 H B	【寸法・形状】 ◎使用接合具 平くぎZF55 小型角座金W2.3×30 六角ボルトM12 六角ナットM12 角座金W4.5×40	◎用途 床組及び小屋組の隅角部の補強		ひねり金物 S T （右ひねりのみ）	【寸法・形状】 S T - 9, S T - 1 2 ◎使用接合部 太めくぎ Z N 4 0	【用途】たるきと軒げた、または、もやとの接合 【使い方】	
ひら金物 S M - 12	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途 かすがいと同様の用途		折曲げ金物 S F （右ひねり及び左ひねり）	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ Z N 4 0	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】	
ひら金物 S M - 40	【寸法・形状】 ◎使用接合具 太めくぎZN65	◎用途 管柱の連結等		くら金物 S S	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ Z N 4 0	【用途】ひねり金物と同様の用途 【使い方】	
筋かいプレート B P	【寸法・形状】 ◎使用接合具 角根平頭ボルトM12 小型角座金W2.3×30 六角ナットM12 太めくぎZN65	◎用途 筋かいを柱と横架材に 同時に接合角根平頭ボルトM12		かど金物 C P・L C P・T	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ Z N 6 5	【用途】引張りを用いる柱と土台・横架材の接合 【使い方】	
羽子板ボルト S B・E	【寸法・形状】 ◎使用接合具 六角ボルトM12 六角ナットM12 角座金W4.5×40 スクリーくぎZS50	◎用途 小屋ばりと軒桁 軒桁と柱、胴差と 通し柱の連結		かど金物 C P・L C P・T	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ Z N 6 5	【用途】引張りを用いる柱と土台・横架材の接合 【使い方】	
かね折り金物 S A	【寸法・形状】 ◎使用接合具 L=210・240・270 六角ボルトM12 六角ナットM12 角座金W4.5×40 スクリーくぎZS50	◎用途 通し柱と胴差の取合		かど金物 C P・L C P・T	【寸法・形状】 ◎使用接合部 太めくぎ Z N 6 5	【用途】引張りを用いる柱と土台・横架材の接合 【使い方】	

森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
S - 0 7	木造（軸組工法）	A2：－	第1回変更
	特記仕様書（7）	A4：－	第2回変更
			第3回変更
株式会社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所	第4回変更	

特記仕様書（木工） 軸組工法			
部 位		部 位	
小屋梁	材 種	継手及び仕口の参考例 小屋ばりの継手 （台持継ぎ） 小屋ばりと軒げたとの仕口 （かぶとあり） 小屋ばりと軒げたとの仕口 （渡りあご）	
	はり（丸太） ☐ あかまつ ☐ くろまつ ☐ べいまつ ☐ その他（ ☐ ）		
	はり（その他） ☐ あかまつ ☐ くろまつ ☐ べいまつ ☐ からまつ ☐ その他（ ☐ ）		
小屋束	工 法	（注）羽子板ボルトについては、施工性を考えて、軒げたとはり、軒げたと柱を一定間隔ごとに交互に緊結する。 たる木とひねり金物の施工例	
	材 種		
	工 法		
棟木・母屋	材 種	垂 木	
	工 法		
	材 種		
桁行すじかい・振れ止め	材 種	棟木・母屋	
	工 法		
	材 種		
垂 木	材 種	振れ止めの断面寸法は貴程度とする。	
	工 法		
	材 種		

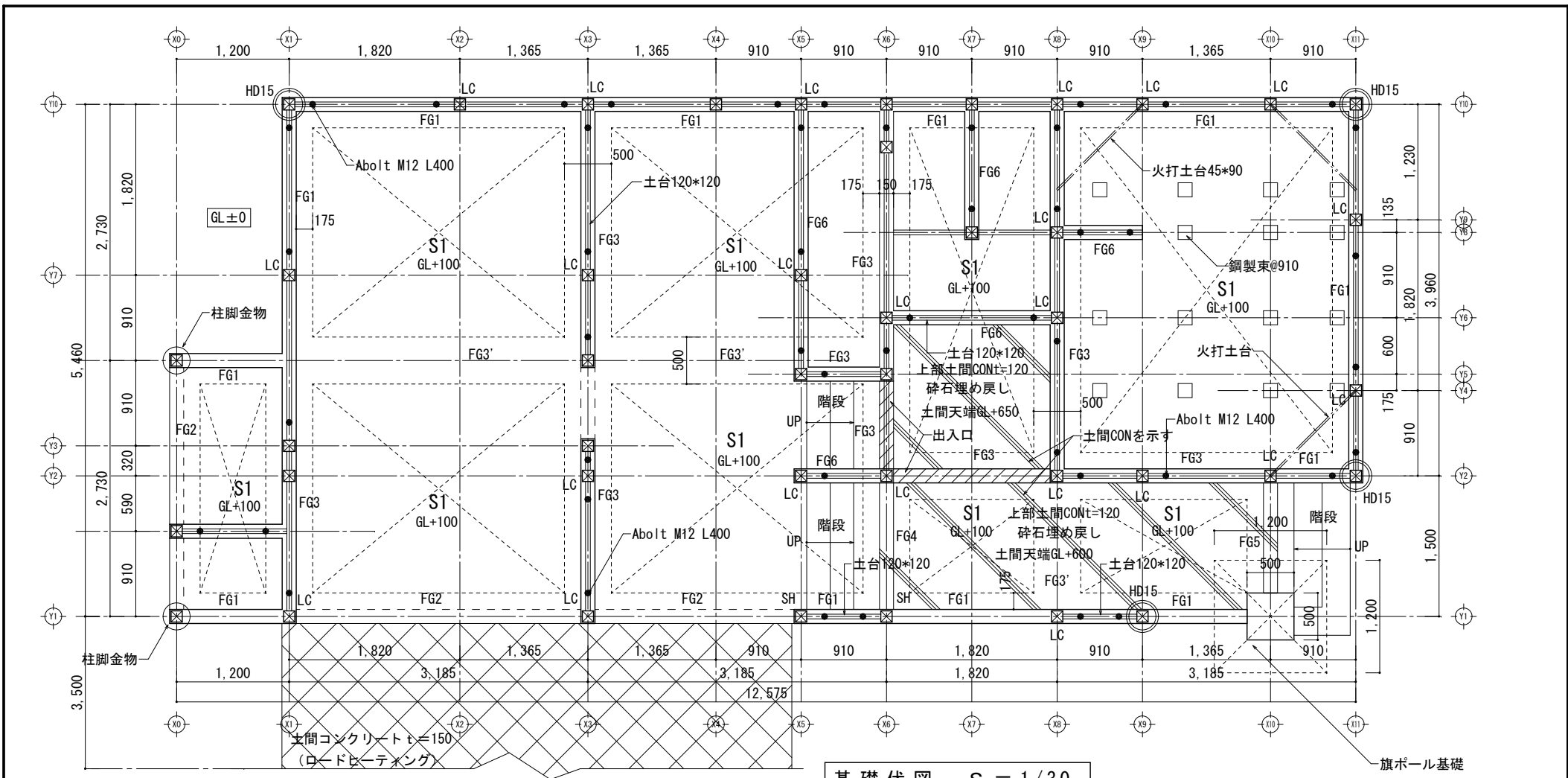
森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
S - O 8	木造（軸組工法）	A2：－	第 1 回変更
	特記仕様書（8）	A4：－	第 2 回変更
株式会社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所		第 3 回変更
			第 4 回変更



※地表面までの施工となります。基礎着工前の砕石地業にて杭頭レベルの調整をお願いします。

補強体直径	φ 320 mm	砕石量	7.0 m ³		
補強深度	GL- 1.5 m				
本 数	43 本				
総補強長	64.5 m				
外周入れ	100 mm入れ				

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月31日
S - 0 9	エコジオ工法 補強体配置図	A2: 1/40 A4: 1/80	第 1 回変更	
			第 2 回変更	
			第 3 回変更	
			第 4 回変更	
株式会社 堀建築設計事務所 前橋建築事務所				



基礎伏図 S = 1/30

コンクリート・型枠・鉄筋工事

- 建築基準法 同施行令 告示等
- JASS5
- 鉄筋コンクリート造配筋指針 同解説 (日本建築学会)
- 公共建築工事標準仕様書 (平成28年度版)
- ※ 上記の規準により施工を行う。

凡 例

- アンカーボルトM12 L=400
- 鋼製束@910
- 土台120×120 (桷特1等 防腐・防蟻処理)
- 火打土台45×90 KD (桷特1等)
- ※ 床下換気口: 120×20 (床下換気システム土台バックキン工法)

- 柱頭・柱脚金物 BXカネシン糊同等品
- HD15 ビス止めホールダウン15
- SH スリムペビー10
- LC ライトコーナー

床下換気口120×120
床下換気システム土台バックキン工法

ベタ基礎配筋基準は以下による
令和元年12月1日 国土交通省
住宅瑕疵担保責任保険 設計施工基準

多雪区域 (積雪100cm) 軽い住宅
100cm以上の積雪は雪降し実施、表示板設置
の事

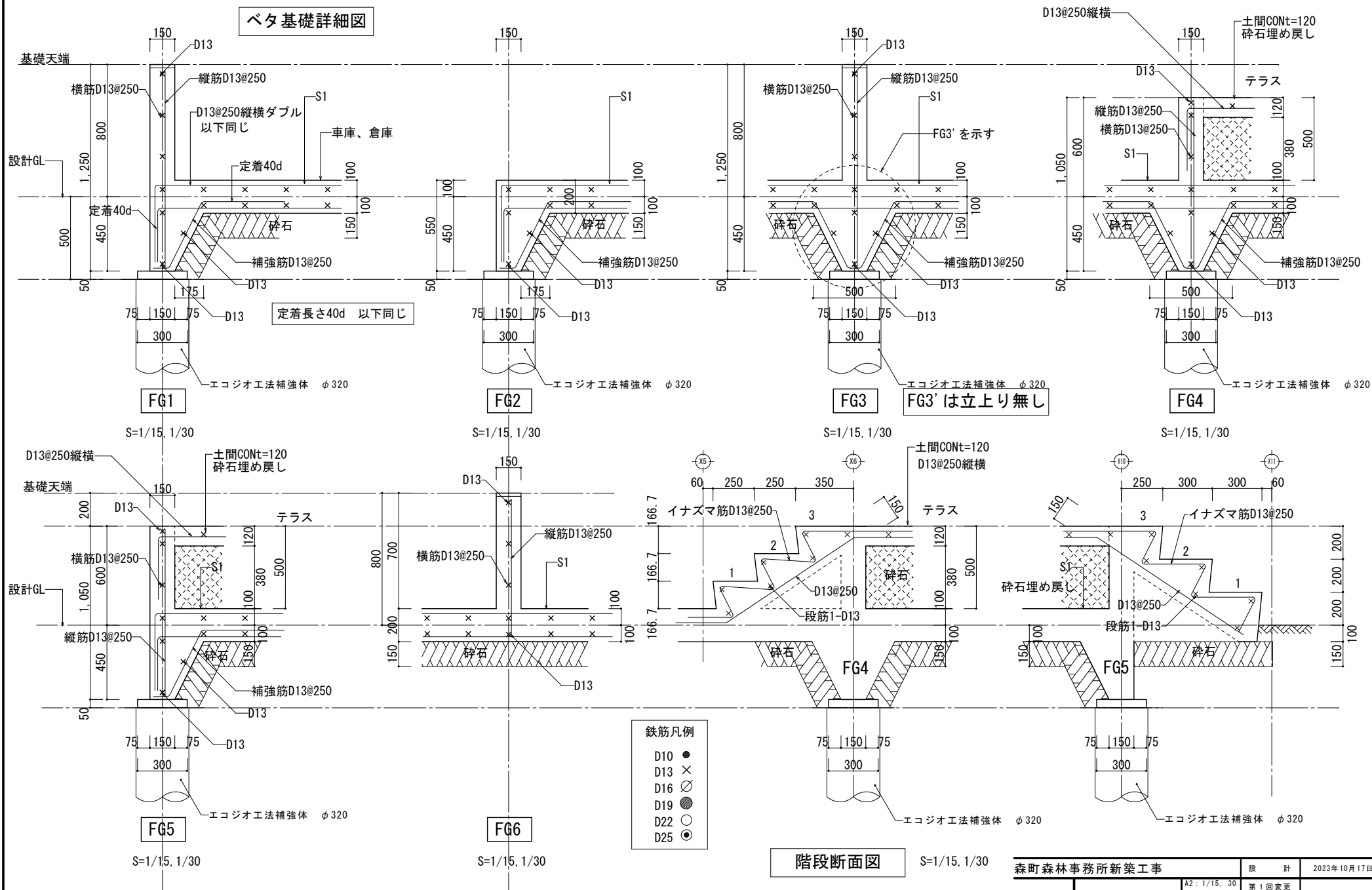
短辺方向スラブスパン
3.0mを超え4.0m以下
スラブt=200、配筋d13@250ダブル S1とする

鉄筋仕様	D10~D16	SD295A
	D19~D25	SD345

特記 短辺: 長辺比率は1.0:1.5以下だがこれを超える場合は長辺スパンを短辺スパンと読み替える

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
S - 1 0	基礎伏図	A2 : 1/30	第 1 回変更	
		A4 : 1/60	第 2 回変更	
			第 3 回変更	
			第 4 回変更	
株 式 会 社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所			

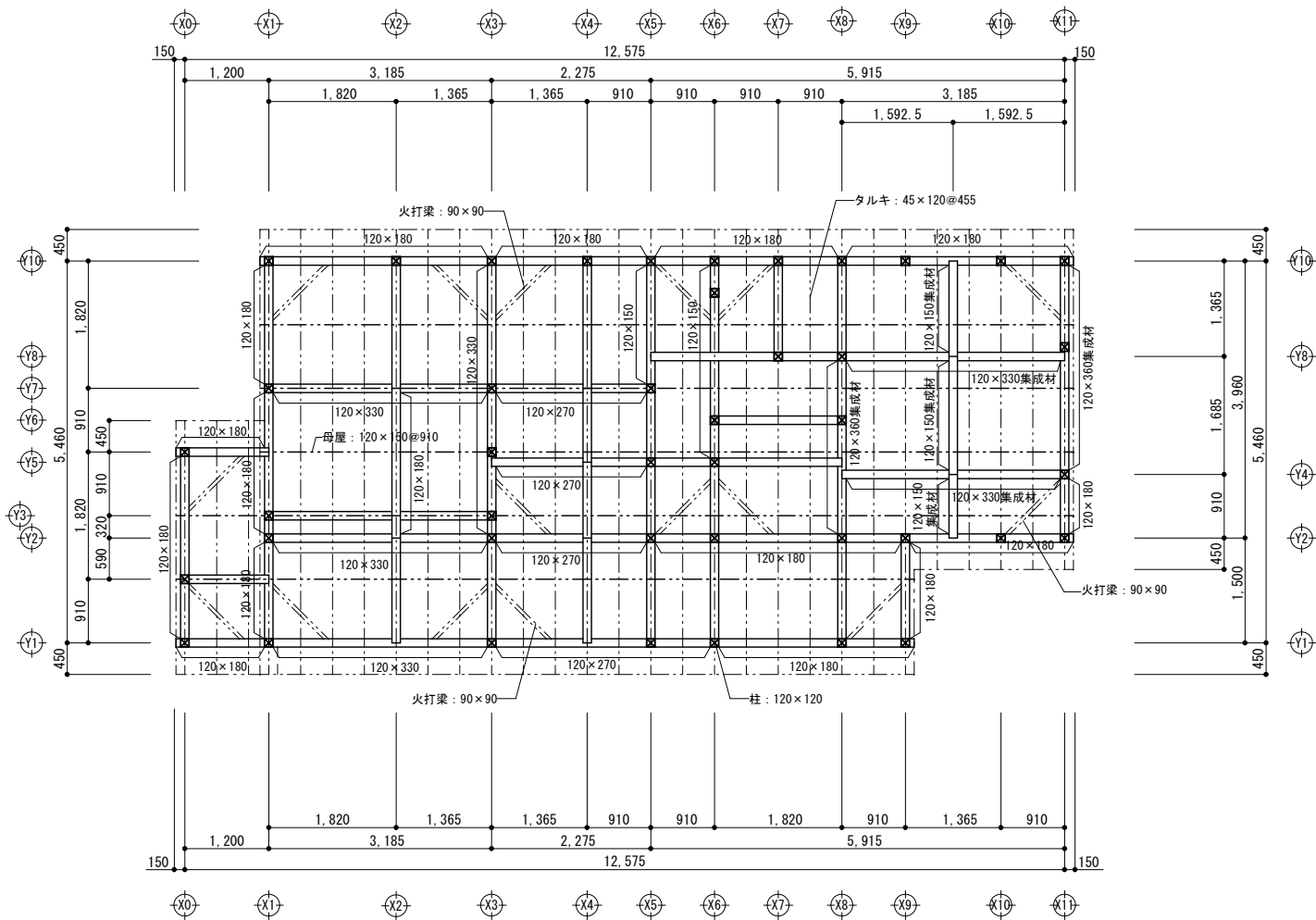
ベタ基礎詳細図



階段断面図

 $S=1/15, 1/30$

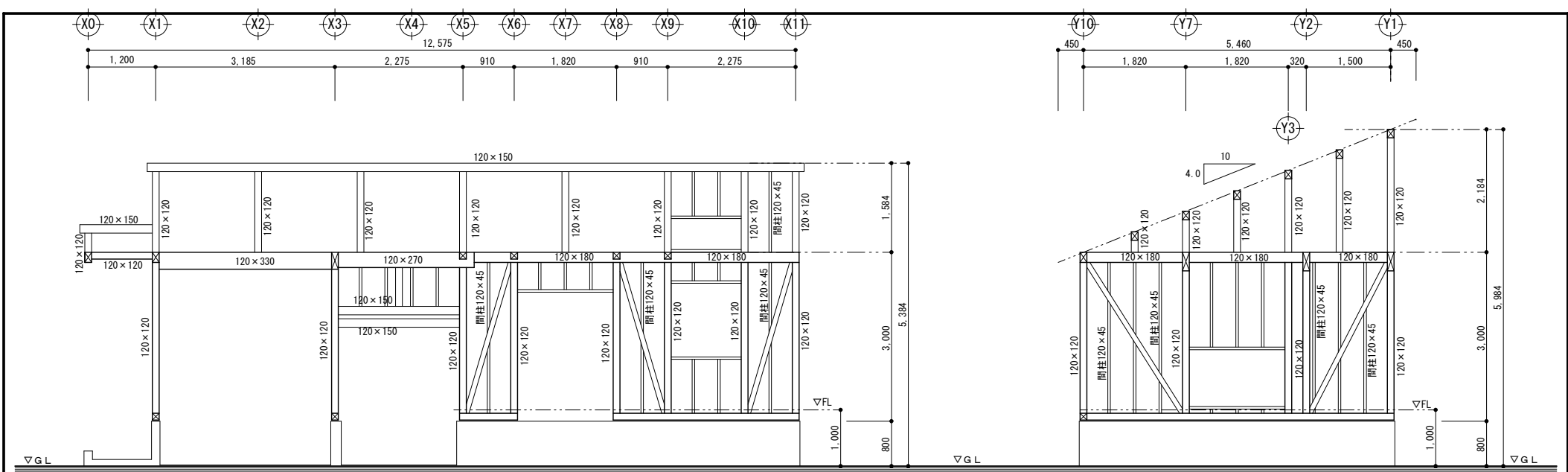
森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
S - 1 1	基礎詳細図	A2: 1/15, 30	第 1 回変更	
		A4: 1/30, 60	第 2 回変更	
株 式 会 社	堀建築設計事務所 前橋建築事務所		第 3 回変更	
			第 4 回変更	



小屋伏図 S = 1/50

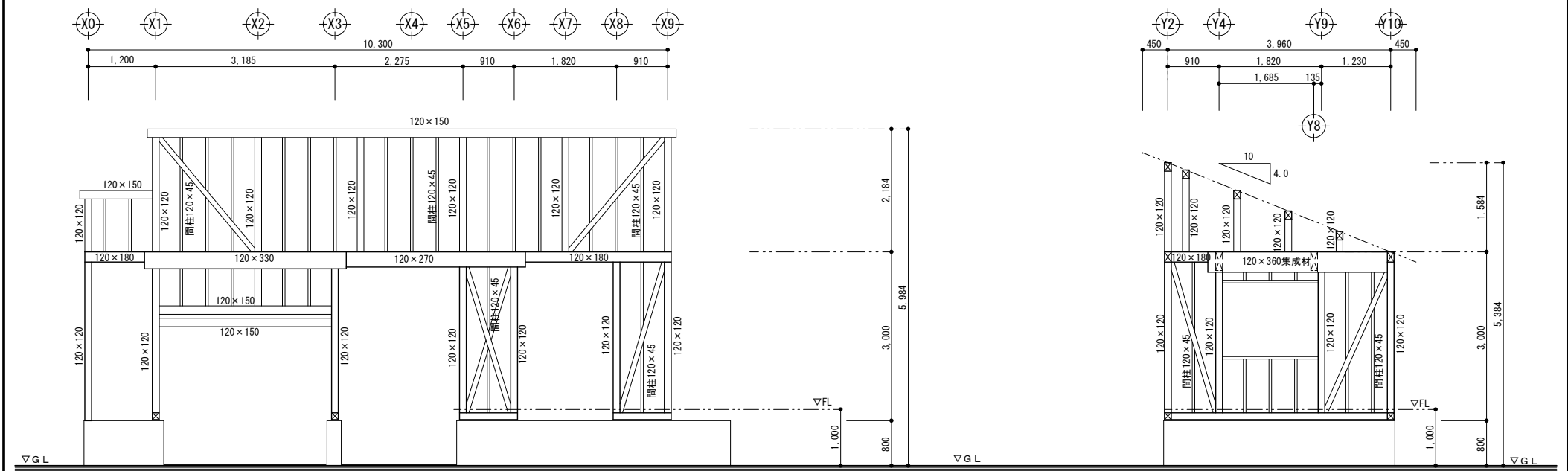
- 凡 例 -		
※ 特記なきものは120×120とする。		
部 位	材 種 等級	寸 法
土台	桧OPX特	120×120
大引	桧特 1 等	90×90
根太	唐松特 1 等	45×90
柱	杉特 1 等	120×120
間柱	杉特 1 等	45×120
筋交	唐松特 1 等	45×90
頭押え	唐松集成材特 1 等	120×120
火打梁	杉特 1 等	90×90
梁・桁	唐松集成材特 1 等	120×150~120×360
小屋束	杉特 1 等	120×120
小屋筋交	杉特 1 等	105×30
母屋	唐松集成材特 1 等	120×150@910
垂木	唐松特 1 等	45×120@455
破風板	杉特 1 等	24×270

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
S - 1 2	小屋伏図	A2 : 1/50	第 1 回 変更	
		A4 : 1/100	第 2 回 変更	
			第 3 回 変更	
			第 4 回 変更	
株 式 会 社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所			



Y 2 通り軸組図 S = 1/50

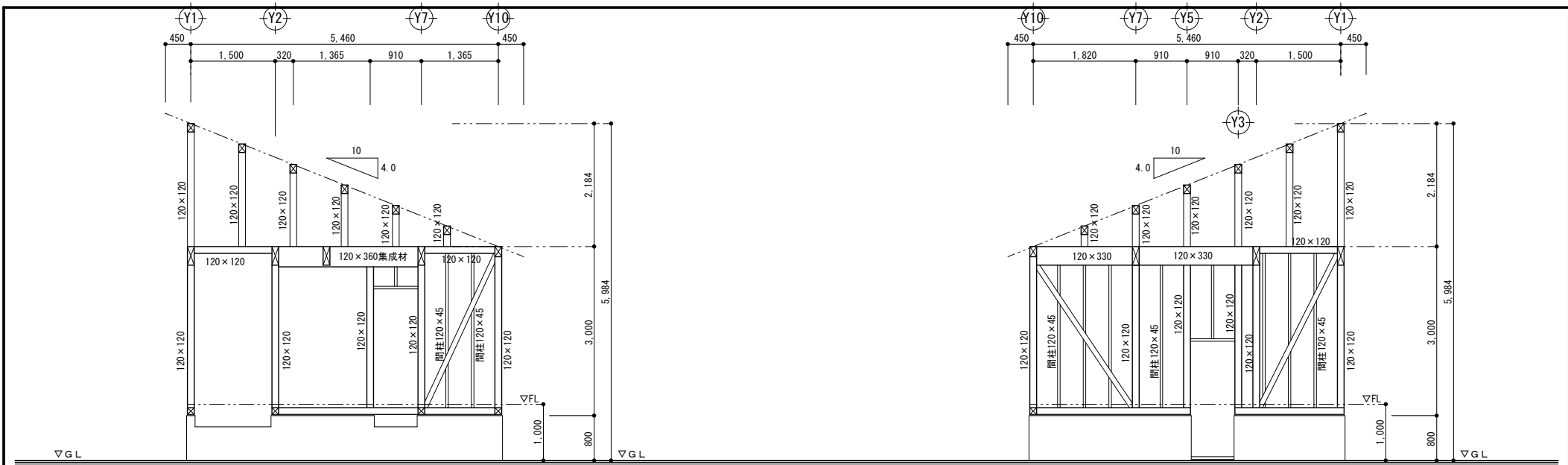
X 1 通り軸組図 S = 1/50



Y 1 通り軸組図 S = 1/50

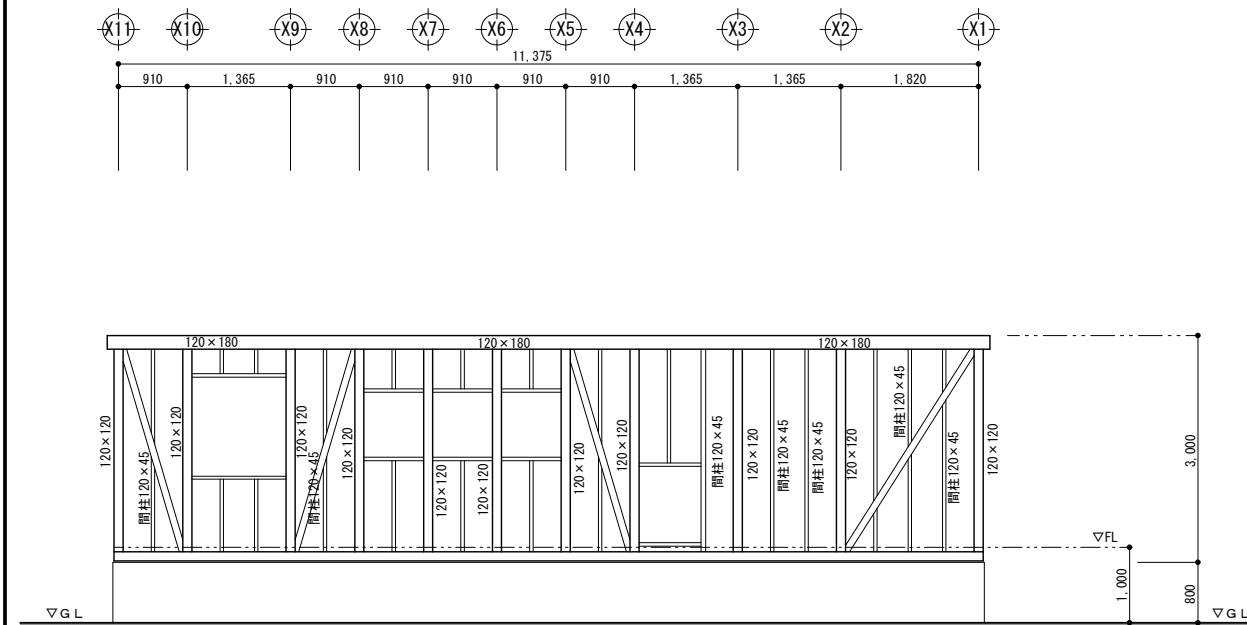
X 1 1 通り軸組図 S = 1/50

森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
S - 1 3	軸組図 (2)	A2 : 1/50	第 1 回変更
		A4 : 1/100	第 2 回変更
			第 3 回変更
			第 4 回変更
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所			



X 8 通り軸組図 S = 1/50

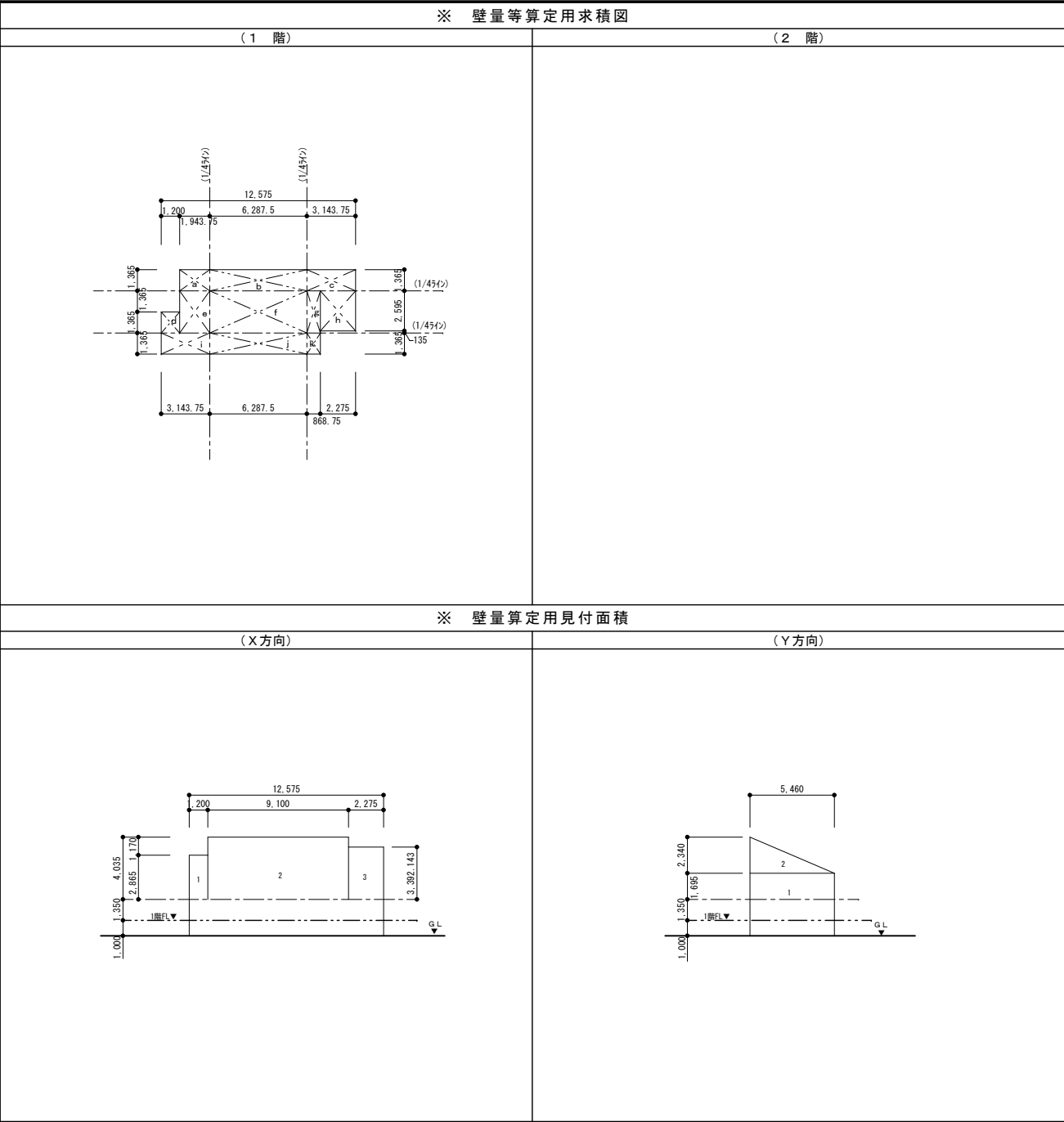
X 3 通り軸組図 S = 1/50



Y 1 0 通り軸組図 S = 1/50

X 5 通り軸組図 S = 1/50

森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
S - 1 4	軸組図 (2)	A2 : 1/50	第 1 回 変更
	特記仕様書 (1)	A4 : 1/100	第 2 回 変更
			第 3 回 変更
			第 4 回 変更
株式会社 堀建築設計事務所 前橋建築事務所			



※ 壁量等計算用面積表

階別	記号	縦	横	面積
1 階	a	1.365	1.94375	2.6532 m ²
	b	1.365	6.2875	8.5824 m ²
	c	1.365	3.14375	4.2912 m ²
	d	1.365	1.200	1.6380 m ²
	e	2.730	1.94375	5.3064 m ²
	f	2.730	6.2875	17.1649 m ²
	g	2.730	0.8675	2.3683 m ²
	h	2.595	2.275	5.9036 m ²
	i	1.365	3.14375	4.2912 m ²
	j	1.365	6.2875	8.5824 m ²
	k	1.365	0.86875	1.1858 m ²
2 階	合計			61.9710 m ²

1 階壁量計算用床面積		6 1.97	m ²
2 階壁量計算用床面積			
1 階北側1/4側端部	a + b + c	15.5269	m ²
1 階南北中央部	d + e + f + g + h	32.3846	m ²
1 階南側1/4側端部	i + j + k	14.0595	m ²
	計	61.9710	m ²
1 階東側1/4側端部	c + g + h	13.7524	m ²
1 階東西中央部	b + f + j	34.3576	m ²
1 階西側1/4側端部	a + d + e + i	13.8610	m ²
	計	61.9710	m ²
2 階北側1/4側端部			m ²
2 階南北中央部			m ²
2 階南側1/4側端部			m ²
	計		m ²
2 階東側1/4側端部			m ²
2 階東西中央部			m ²
2 階西側1/4側端部			m ²
	計		m ²

※ X 方向用見付面積

階別	記号	計算式		面積
		縦	横	
1 階	1	1.695	5.460	9.2547 m ²
	2	2.340	5.460 1/2	6.3882 m ²
		合計		15.6429 m ²
2 階				

※ Y 方向用見付面積

階別	記号	計算式		面積
		縦	横	
1 階	1	2.865	1.200	3.4380 m ²
	2	4.035	9.100	36.7185 m ²
	3	3.392143	2.275	7.7171 m ²
2 階		合計		47.8736 m ²

森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
S - 1 5	壁量算定用面積表	A2 : 1/100	第1回変更
		A4 : 1/200	第2回変更
株式会社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所		第3回変更
			第4回変更

別表Ⅰ（施行令第43条別表）抄1：構築材間距離

a：下表の数値

l/a：柱小径の算定

建 築 物	柱		左 記 欄 以 外 の 柱	
	スパン10m以上の柱又は学校・保育園 物品販売場を含む店舗（床面積の合計 が10㎡以内を除く）その他		平 家 建	2階建（1階部分）
	2階建（2階部分）	2階建（1階部分）	2階建（2階部分）	2階建（1階部分）
(一)土建造の建築物、その他これらに類する壁の 重量が特に大きい建築物。	2.2	2.0	2.5	2.2
(二)（一）以外で、層間や金属板、石綿スレート、 木版、その他これらに類する軽い材料でふい たもの。	3.0	2.5	3.3	3.0
(三)（一）・（二）以外の建築物	2.5	2.2	3.0	2.8

別表Ⅱ（施行令第46条別表一）抄

軸 組 の 理 由		倍 率
(1)土壁造、又は木張り、その他を片面うちつけた軸組		0.5
(2)木張りその他を両面にうちつけた軸組、厚1.5×9.0cmの木材、若しくは径9φの鉄筋筋かい		1.0
(3)厚3.0×9.0cmの木材、又は同等以上の筋かい		1.5
(4)厚4.5×9.0cmの木材、	or	2.0
(5)9.0×9.0cm角の木材、	or	3.0
(6)（2）から（4）までの筋かいをたすき掛けに入れた軸組		(2)から(4)までの 数値の2倍
(7)（5）に掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組		5.0

別表Ⅲ（施行令第46条別表二）抄

階の床面積に乘ずる数値（cm/㎡）						
地 上 階 数	2 階 建		3 階 建			
	平 家 建	1 階	2 階	1 階	2 階	3 階
屋根などの構造 土蔵造又は瓦葺などの重い屋根 （屋根の軽量については、建令84条参照）	1.5	3.3	2.1	5.0	3.9	2.4
金属板、石綿スレート葺などの軽い屋根	1.1	2.9	1.5	4.6	3.4	1.8

別表Ⅳ（施行令第46条別表三）抄

見付面積に乘ずる数値（cm/㎡）	
区 域	軸組の長さ
一般の区域	5.0
特定行政庁の指定する区域	50を越え、75以下の範囲内で特定行政庁の定める数値

※ 令46条の壁量計算と壁のつりあい良い配置のチェック

			耐力壁の存在壁量の計算				令46条の耐震壁量とつりあい良い配置の計算						令46条耐風壁量計算					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦=⑤×⑥	⑧	⑨	⑩=⑧×⑨	⑪=⑦／⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯=⑭×⑮	⑰=⑦／⑰	⑱	
方 向 ・ 階	ゾ ー ン	通 り	種 類	壁倍率	壁の長さ (cm)	存在壁量 (cm)	床面積 (㎡)	床面積に 乗ずる数値 (cm/㎡)	耐震必要壁量 (cm)	壁量充足率	充足率の比	判定	見付面積 (㎡)	見付面積に 乗ずる数値 (cm/㎡)	耐風必要壁量 (cm)	壁量充足率	判定	
X軸方向2階	北側	Y () ～ Y ()	筋かい方向 木張り	2.0			A N2		E N2	B N2 = L N2 / E N2	B N2 と B S2 のうち	壁の つりあい		5.0	W X2	L X2 / W X2		
	中央	Y () ～ Y ()	筋かい方向 木張り	2.0			A C2				〔 小さい方 大きい方 〕							
	南側	Y () ～ Y ()	筋かい方向 木張り	2.0			A S2		E S2	B S2 = L S2 / E S2								
合 計						L X2 = L N2 + L C2 + L S2	A 2 = A N2 + A C2 + A S2	E 2	B 2 = L X2 / E 2		壁量							
X軸方向1階	北側	Y () ～ Y ()	筋かい方向 木張り	2.0	500.5	1001	A N1	15.5269	E N1	B N1 = L N1 / E N1	B N1 と B S1 のうち	壁の つりあい	15.64	5.0	W X1	L X1 / W X1		
	中央	Y () ～ Y ()	筋かい方向 木張り	2.0	455	910	A C1	32.3846			〔 小さい方 大きい方 〕							
	南側	Y () ～ Y ()	筋かい方向 木張り	2.0	273	546	A S1	14.0595	E S1	B S1 = L S1 / E S1	0.60	適						
合 計						L S1 546	A 1 = A N1 + A C1 + A S1 61.9710	E 1	B 1 = L X1 / E 1 3.60		壁量 適							
Y軸方向2階	東側	X () ～ X ()	筋かい方向 木張り	2.0			A W2		E W2	B W2 = L W2 / E W2	B W2 と B W2 のうち	壁の つりあい		5.0	W Y2	L Y2 / W Y2		
	中央	X () ～ X ()	筋かい方向 木張り	2.0			A C2				〔 小さい方 大きい方 〕							
	西側	X () ～ X ()	筋かい方向 木張り	2.0			A E2		E E2	B E2 = L E2 / E E2								
合 計						L Y2 = L W2 + L C2 + L E2	A 2 = A W2 + A C2 + A E2	E 2	B 2 = L Y2 / E 2		壁量							
Y軸方向1階	東側	X () ～ X ()	筋かい方向 木張り	2.0	214	428	A W1	13.7524	E W1	B W1 = L W1 / E W1	B W1 と B W1 のうち	壁の つりあい	47.87	5.0	W Y1	L Y1 / W Y1		
	中央	X () ～ X ()	筋かい方向 木張り	2.0	650.5	1301	A C1	34.3576			〔 小さい方 大きい方 〕							
	西側	X () ～ X ()	筋かい方向 木張り	2.0	332	664	A E1	13.8610	E E1	B E1 = L E1 / E E1	0.64	適						
合 計						L Y1 = L W1 + L C1 + L E2 2393	A 1 = A W1 + A C1 + A E1 61.9710	E 1	B 1 = L Y1 / E 1 3.51		壁量 適							

(註) 壁量の計算は、地震と風のうち大きい方の値との比較により行う。

森町森林事務所新築工事

設 計

2023年10月17日

S - 1 6

壁量計算

A2：－
A4：－

第1回変更

第2回変更

第3回変更

株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所

第4回変更

群馬県前橋市荒牧町4-1-21 (群馬)登録3820号 TEL027(234)9820 一級建築士 登録第224895号 荒木 英実

テレピリアホンセット

KDS-1AR (KDS-1AR, KQ-DAR)

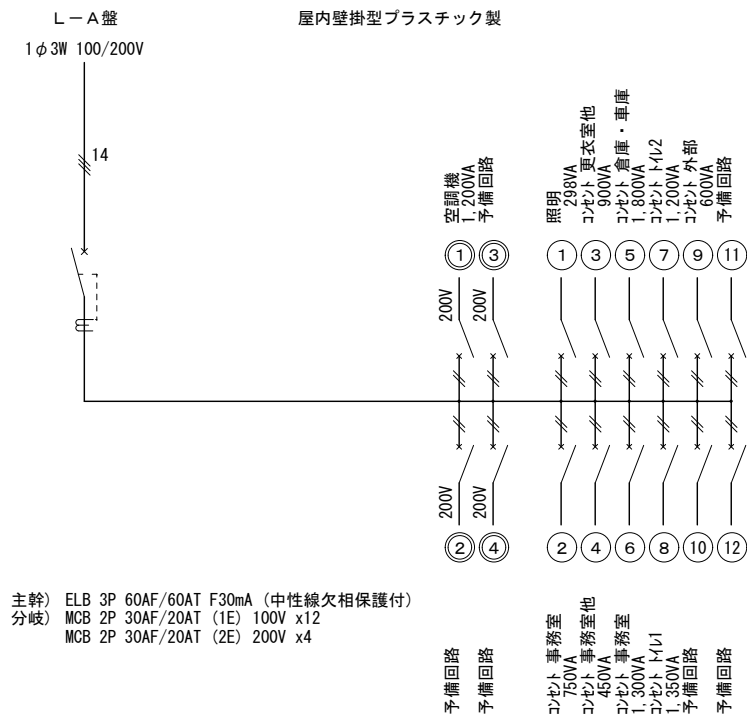
モニター付機種

カメラ付玄関子機

電源電圧	AC100V 50/60Hz
形 状	壁取付型 (JIS1倍用スイッチボックスセパレーター付)
材 質	自己消火性樹脂
通話方式	電話型同時通話
モニター	4型TFTカラー液晶モニター

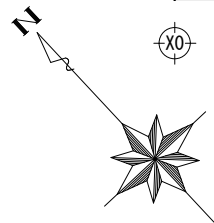
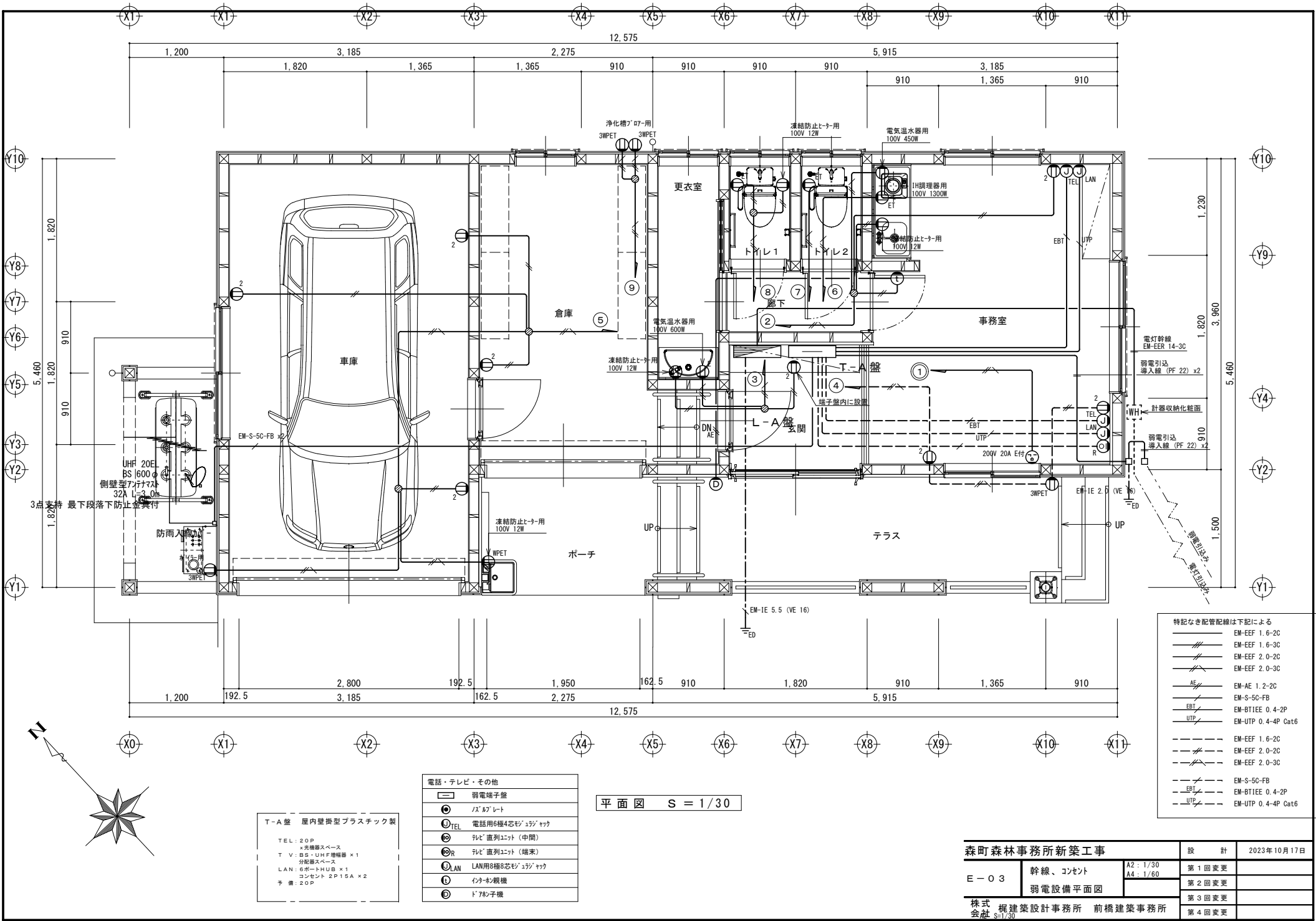
電源電圧	DC22V (モニター付機種から供給)
形 状	壁取付型 (JIS1倍用スイッチボックス)
材 質	自己消火性樹脂
通話方式	拡声同時通話
カメラ	1/4型カラーCCD
備 考	カメラ部より可動

A	LED 43. 1W	B	LED 20. 6W
LSS9-4-65		LSS9-4-30	
C	LED 20. 6W	D	LED 7. 6W
LSS9MP/RP-4-30		LRS1-08	
E	LED 7. 6W	F	LED 12. 0W
LRS1RP-08		LGB85037LE1	
G	LED 12. 0W		
LGB85032LE1			



主幹) ELB 3P 60AF/60AT F30mA (中性線欠相保護付)
分岐) MCB 2P 30AF/20AT (1E) 100V x12
MCB 2P 30AF/20AT (2E) 200V x4

森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
E-O2	盤 結 線 図	A2: ー	第 1 回変更
	照明器具姿図	A4: ー	第 2 回変更
	インターフォン機器姿図		第 3 回変更
			第 4 回変更
株 式 会 社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所		



T-A 壁 屋内壁掛型プラスチック製
TEL: 20P
x 光機器スペース
T V: BS・UHF増幅器 x1
分配器スペース
LAN: 6ポートHUB x1
コンセント 2P15A x2
予 備: 20P

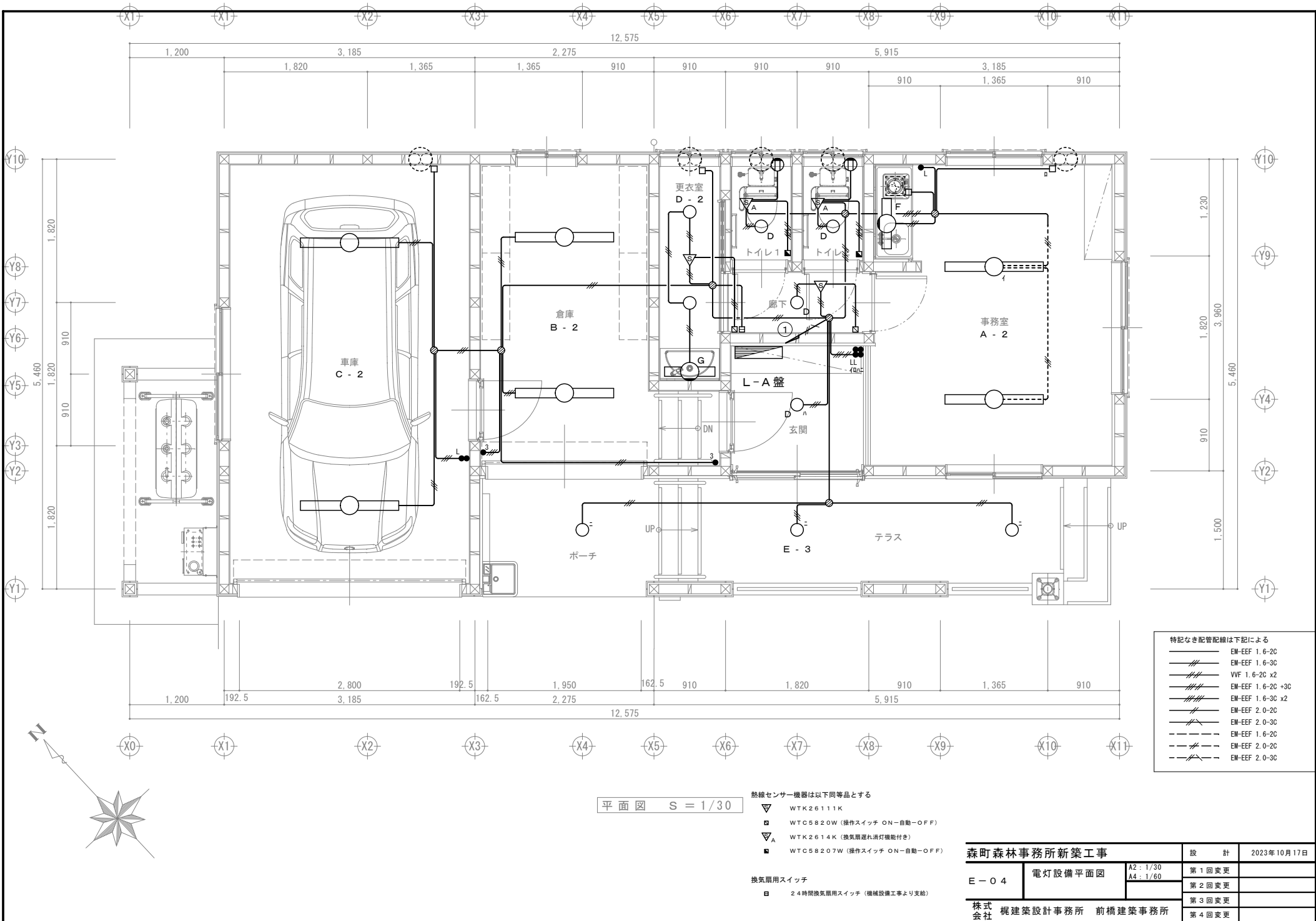
電話・テレビ・その他	
	弱電端子盤
	1/2" プレート
	電話用6芯シールドケーブル
	1/2" 直列コネクタ (中間)
	1/2" 直列コネクタ (端末)
	LAN用8芯シールドケーブル
	インターネット観機
	1/2" 端子盤

平面図 S = 1/30

特記なき配管配線は下記による	
	EM-EFF 1.6-2C
	EM-EFF 1.6-3C
	EM-EFF 2.0-2C
	EM-EFF 2.0-3C
	EM-AE 1.2-2C
	EM-S-50-FB
	EM-BTIEE 0.4-2P
	EM-UTP 0.4-4P Cat6
	EM-EFF 1.6-2C
	EM-EFF 2.0-2C
	EM-EFF 2.0-3C
	EM-S-50-FB
	EM-BTIEE 0.4-2P
	EM-UTP 0.4-4P Cat6

森町森林事務所新築工事		設 計	2023年10月17日
E - O 3	幹線、コンセント 弱電設備平面図	A2: 1/30 A4: 1/60	第1回変更
			第2回変更
			第3回変更
			第4回変更

株式会社 堀建築設計事務所 前橋建築事務所
S=1/30



- 特記なき配管配線は下記による
- EM-EFF 1.6-2C
 - EM-EFF 1.6-3C
 - VVF 1.6-2C x2
 - EM-EFF 1.6-2C x3C
 - EM-EFF 1.6-3C x2
 - EM-EFF 2.0-2C
 - EM-EFF 2.0-3C
 - EM-EFF 1.6-2C
 - EM-EFF 2.0-2C
 - EM-EFF 2.0-3C

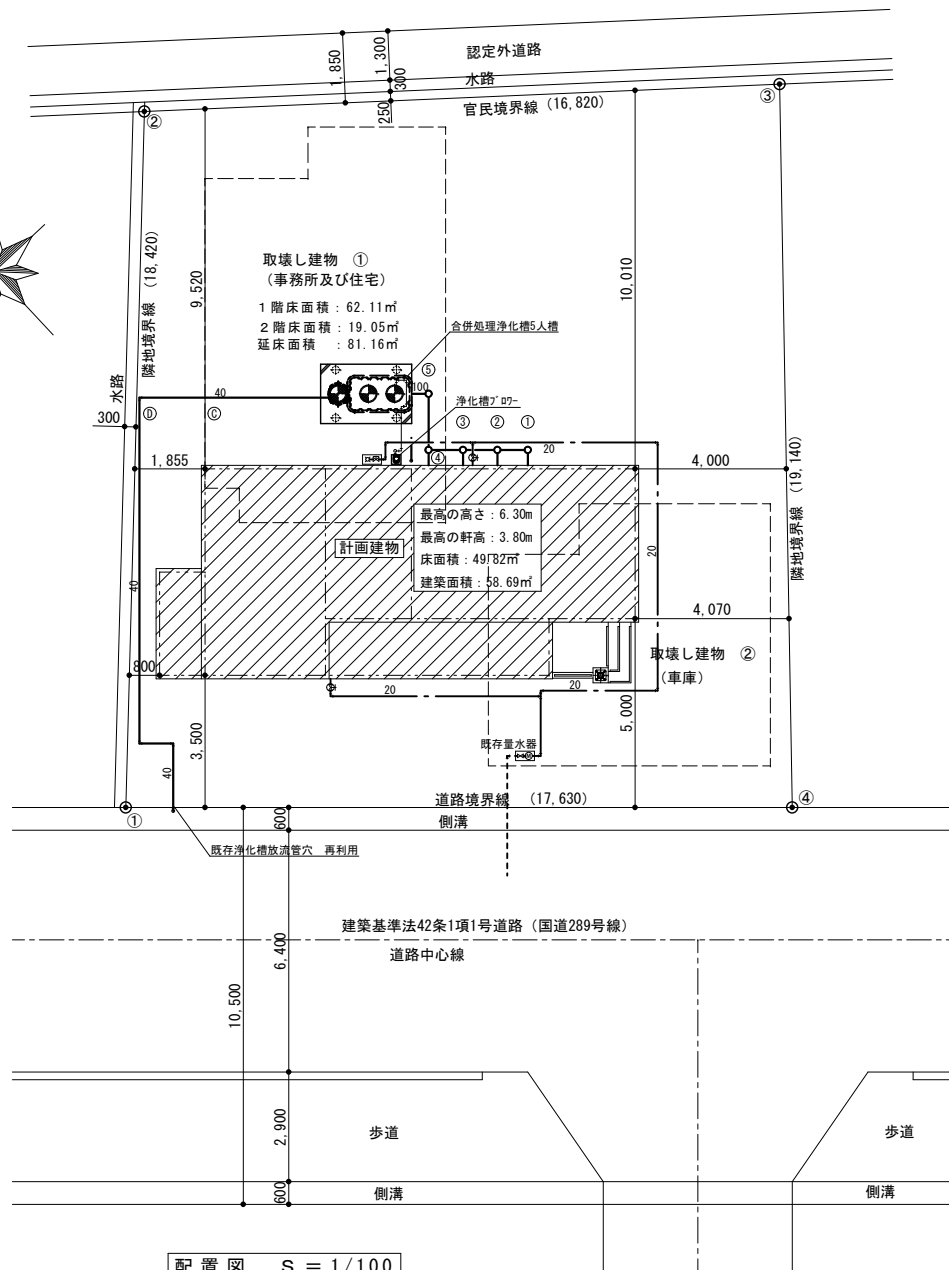
平面図 S = 1/30

- 熱線センサー機器は以下同等品とする
- WTK26111K
 - WTC5820W (操作スイッチ ON-自動-OFF)
 - WTK2614K (換気扇遅れ消灯機能付き)
 - WTC58207W (操作スイッチ ON-自動-OFF)

- 換気扇用スイッチ
- 24時間換気扇用スイッチ (機械設備工事より支給)

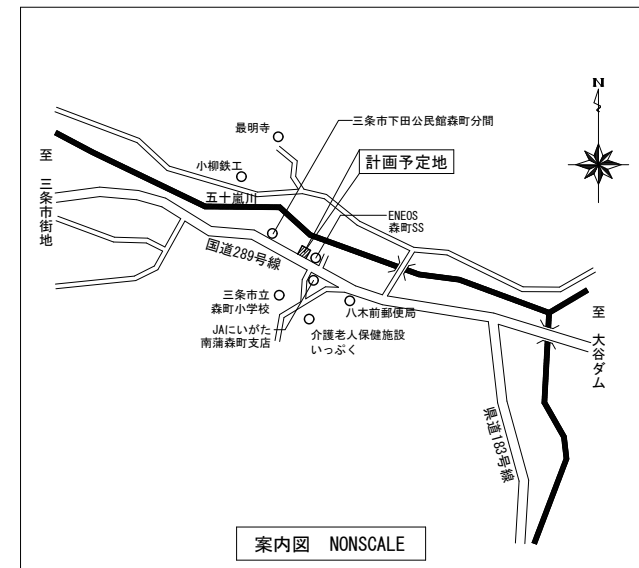
森町森林事務所新築工事		設計	2023年10月17日
E-04	電灯設備平面図	A2: 1/30	第1回変更
		A4: 1/60	第2回変更
			第3回変更
			第4回変更

株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所

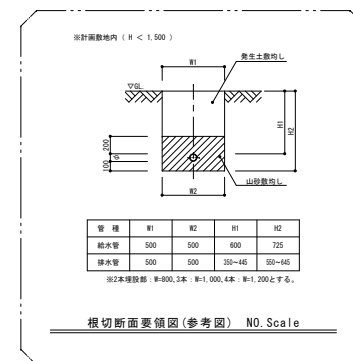


配置図 S = 1/100

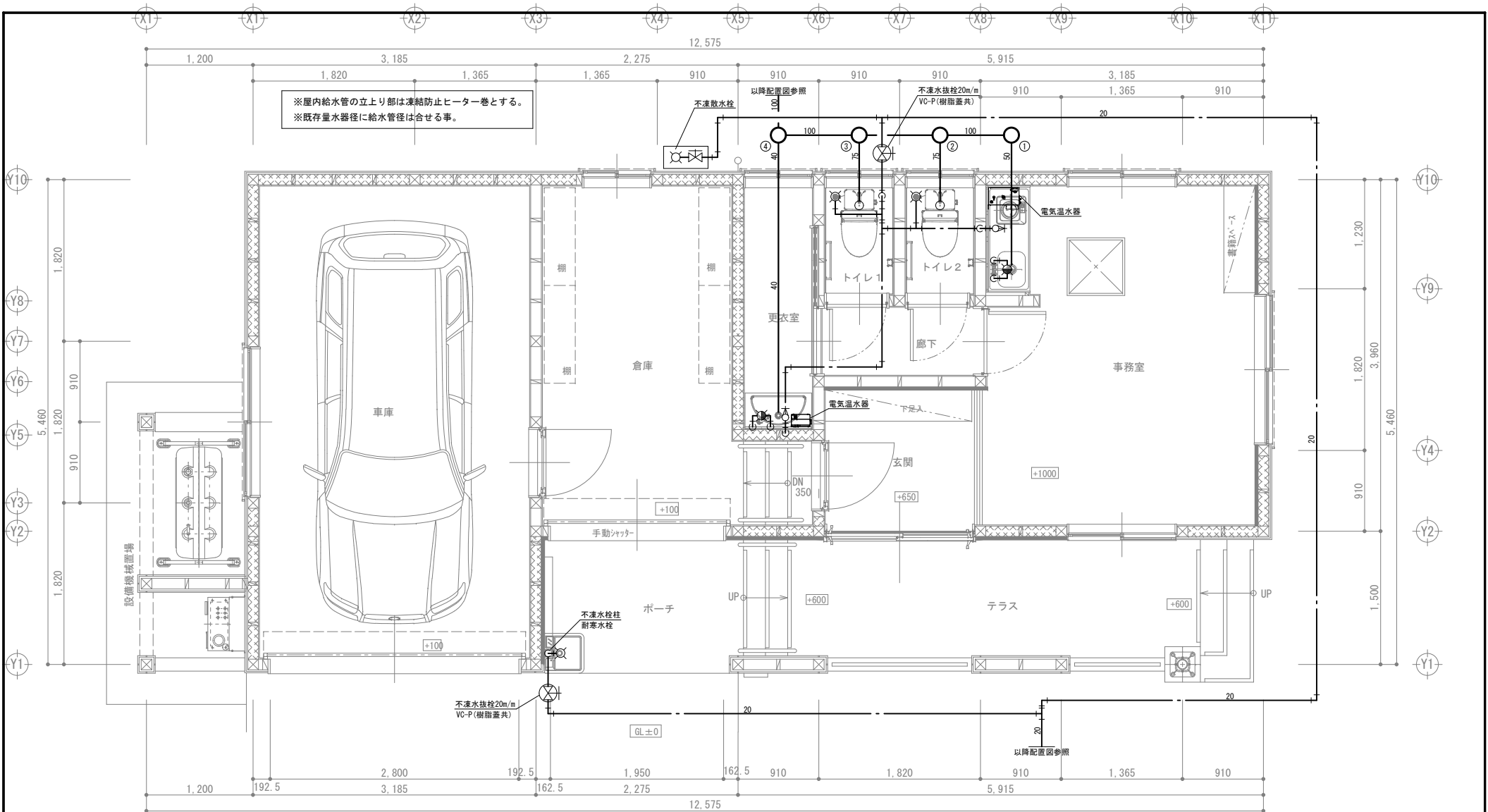
敷地面積：323.06㎡



案内図 NONSCALE



森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
M－O 2	配置図・案内図	A2: 1/100	第 1 回変更	
		A4: 1/200	第 2 回変更	
			第 3 回変更	
			第 4 回変更	
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所				



※屋内給水管の立上り部は凍結防止ヒーター巻とする。
※既存量水器径に給水管径は合せる事。

樹 リ ス ト

記号	樹 名 称	樹 仕 様	樹 蓋 仕 様	管 底
①	塩ビ製インバート樹	90L 100-150	防護蓋 (T-8) 150φ	-450
②	塩ビ製インバート樹	90Y 100-150	"	-465
③	塩ビ製インバート樹	90Y 100-150	"	-480
④	塩ビ製インバート樹	90Y 100-150	"	-495
⑤	塩ビ製インバート樹	90L 100-150	"	-515

※管底は参考とし、現場に合わせて施工の事

平面図 S = 1/30

■ 延べ床面積	
事務室部分床面積	23.4234 m ²
車庫部分床面積	17.3901 m ²
倉庫部分床面積	9.009 m ²
床面積合計	49.8225 m ²

■ 建築面積	
床面積合計	49.8225 m ²
テラス・ポーチ部分床面積	8.8725 m ²
温水・トイレ部分床面積	3.2760 m ²
建築面積面積合計	61.8235 m ²

森町森林事務所新築工事

M-O3

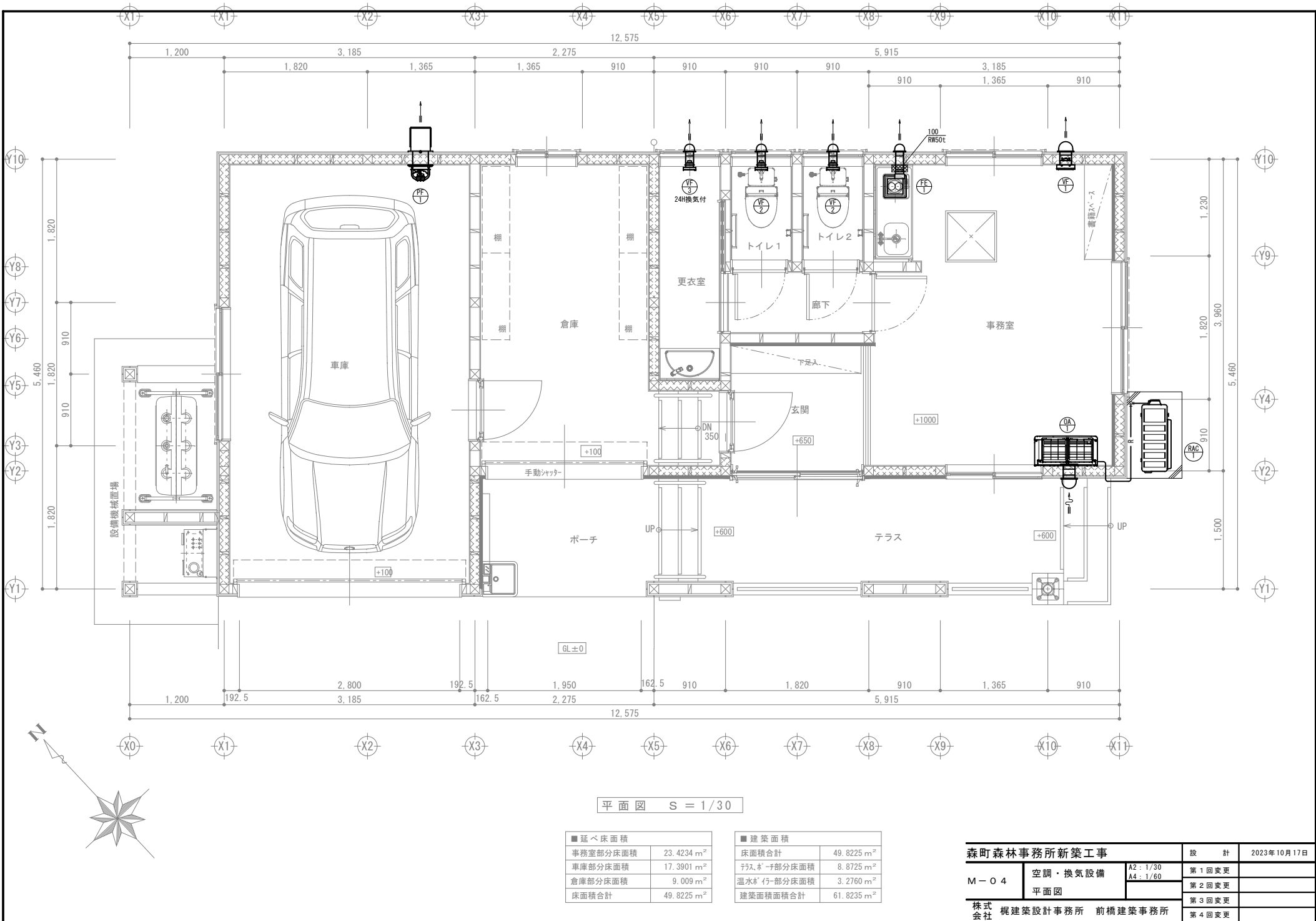
給排水設備平面図

A2: 1/30
A4: 1/60

株式会社

梶建築設計事務所 前橋建築事務所

設 計	2023年10月17日
第1回変更	
第2回変更	
第3回変更	
第4回変更	

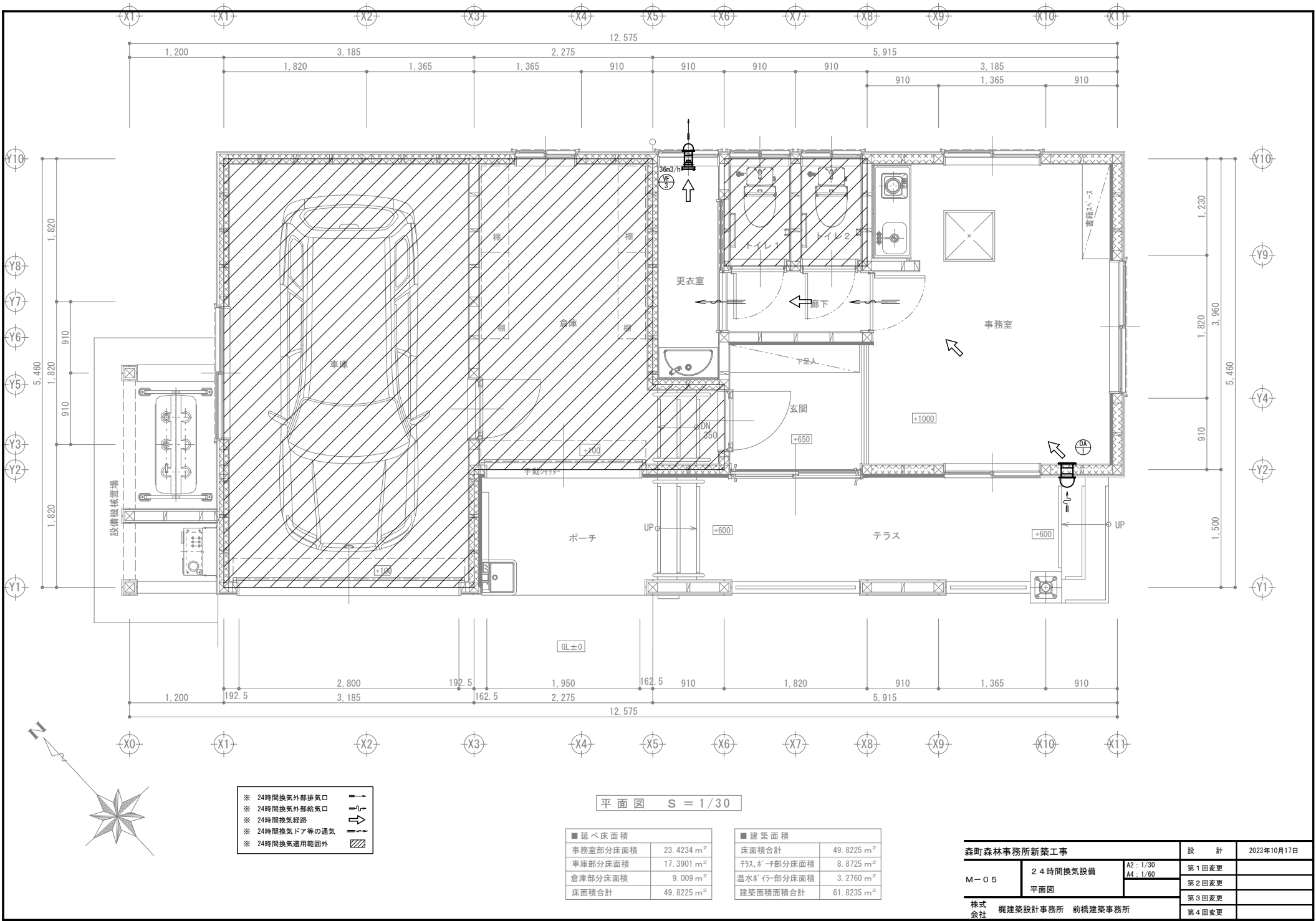


平面図 S = 1/30

■ 延べ床面積	
事務室部分床面積	23.4234 m ²
車庫部分床面積	17.3901 m ²
倉庫部分床面積	9.009 m ²
床面積合計	49.8225 m ²

■ 建築面積	
床面積合計	49.8225 m ²
テラス・ポーチ部分床面積	8.8725 m ²
温水・排水部分床面積	3.2760 m ²
建築面積面積合計	61.8235 m ²

森町森林事務所新築工事		設計	2023年10月17日
M-O 4 株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所	空調・換気設備 平面図	A2: 1/30 A4: 1/60	第1回変更
			第2回変更
			第3回変更
			第4回変更

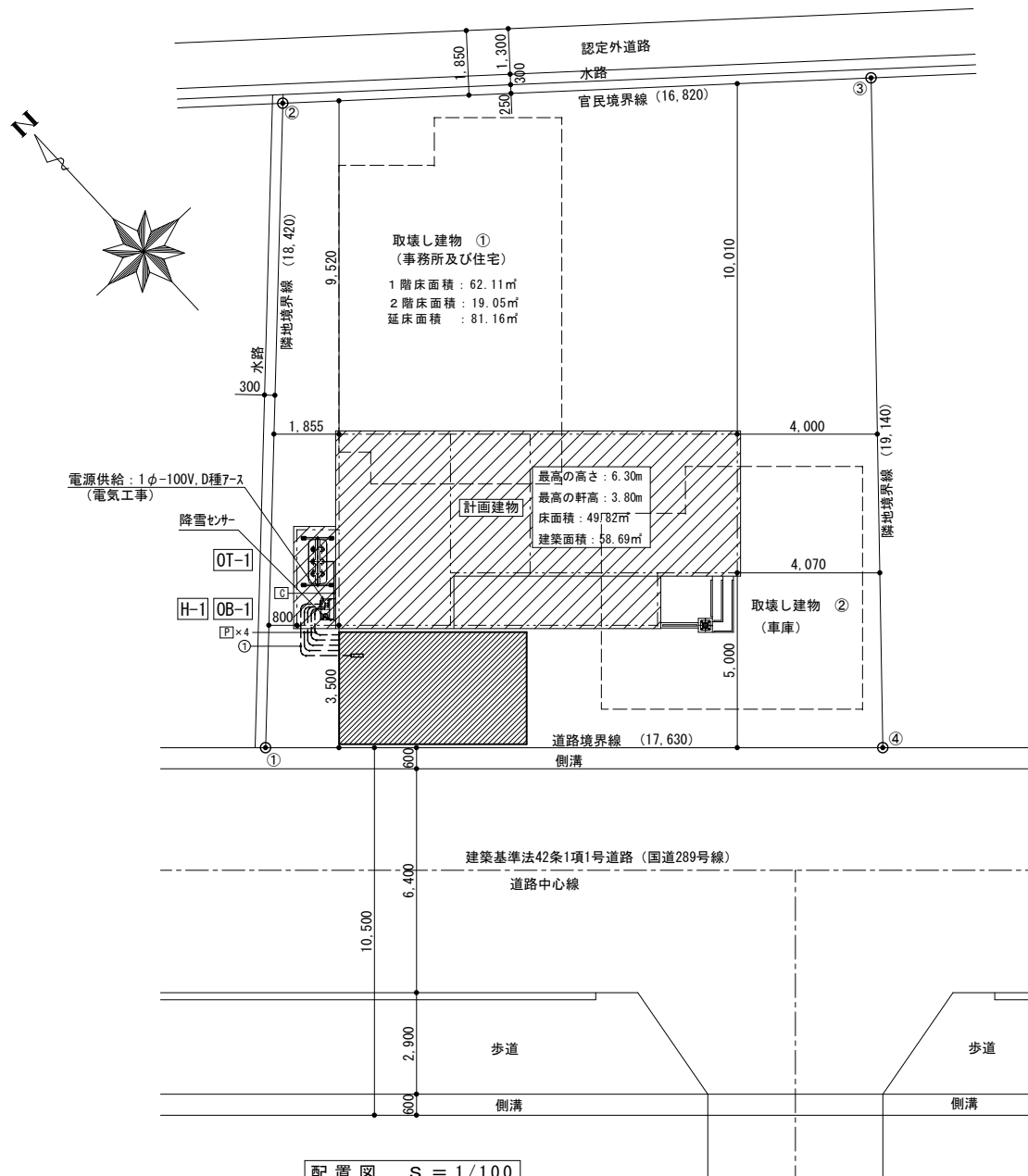


平面図 S = 1/30

■ 延べ床面積	
事務室部分床面積	23.4234 m ²
車庫部分床面積	17.3901 m ²
倉庫部分床面積	9.009 m ²
床面積合計	49.8225 m ²

■ 建築面積	
床面積合計	49.8225 m ²
行入、* - 部分床面積	8.8725 m ²
温水* 行部分床面積	3.2760 m ²
建築面積面積合計	61.8235 m ²

森町森林事務所新築工事			設 計	2023年10月17日
M-05	24時間換気設備 平面図	A2: 1/30	第1回変更	
		A4: 1/60	第2回変更	
			第3回変更	
			第4回変更	
株式会社 梶建築設計事務所 前橋建築事務所				



配置図 S = 1/100

敷地面積: 323.06㎡

凡 例	
	コンクリート埋設融雪設備 架橋*リフレ管(13φ) -150mmピッチ
	地中センサー
①	地中センサーリード線 (PF22)
P	内管-架橋*リフレ管(13φ) (さや管22)
C	銅管 8A

森町森林事務所新築工事

M-06 融雪設備配置図

株式会社 堀建築設計事務所 前橋建築事務所

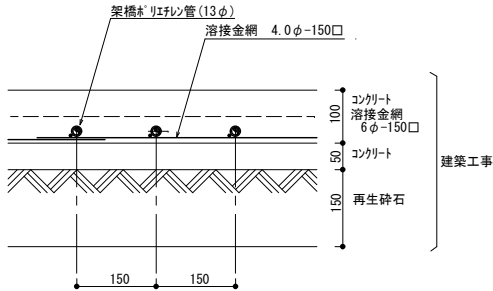
設 計 2023年10月17日

A2: 1/100 A4: 1/200	第1回変更
	第2回変更
	第3回変更
	第4回変更

融雪設備機器表

記号	品名	仕様	台数	電源			設置場所	参考型式
				相	電圧	電力		
OB-1	石油温水ボイラー	屋外用開放形	1	単相	100V	点火時 147W	屋外	SBH-116FUR
		能力 10.8kW				燃焼時 123W		
		使用燃料 灯油						
		燃料消費量 1.21L/h						
		外形寸法 W600×H1250×D240						
		循環ポンプ、膨張タンク内蔵						
		電源：1φ-100V, 147W						
		付属品：降雪センサー						
R-1		：ボイラーリモコン					ボイラー本体	
		別売品：地中センサー					路面内部	UGC-2
H-1	融雪ヘッダー	2回路ヘッダー	1				ボイラー下部	
		管径 20A、枝管 15A×3						
		流量 8L/min						
OT-1	オイルタンク	屋外設置型	1				屋外	KS2-500SJ
		溶融亜鉛メッキ鋼板						
		外形寸法 W1260×H830×D476						
		容量 450リットル						
		同上用防油堤	1				屋外	ABH-500G
		アルミ製						
		外形寸法 W1530×H335×D1246						
		容量 511リットル						

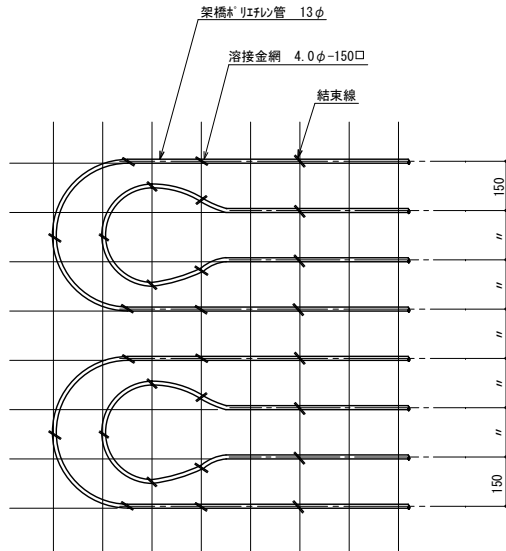
路面構造図 S=NON



温水融雪設備仕様表

融雪場所	融雪面積 ㎡	埋設配管	回路数	流量 (リットル/分)	融雪ヘッダー		ボイラー リモコン		石油温水 ボイラー		備 考
					記号	回路数	記号	台数	記号	台数	
玄関アプローチ	18	架橋用リフレイン管 (13φ)	2	8	H-1	2	R-1	1	OB-1	1	

曲がり部敷設詳細図 S=NON



森町森林事務所新築工事

設 計 2023年10月17日

M-07

融雪設備図

A2: NS

A4: NS

第1回変更

第2回変更

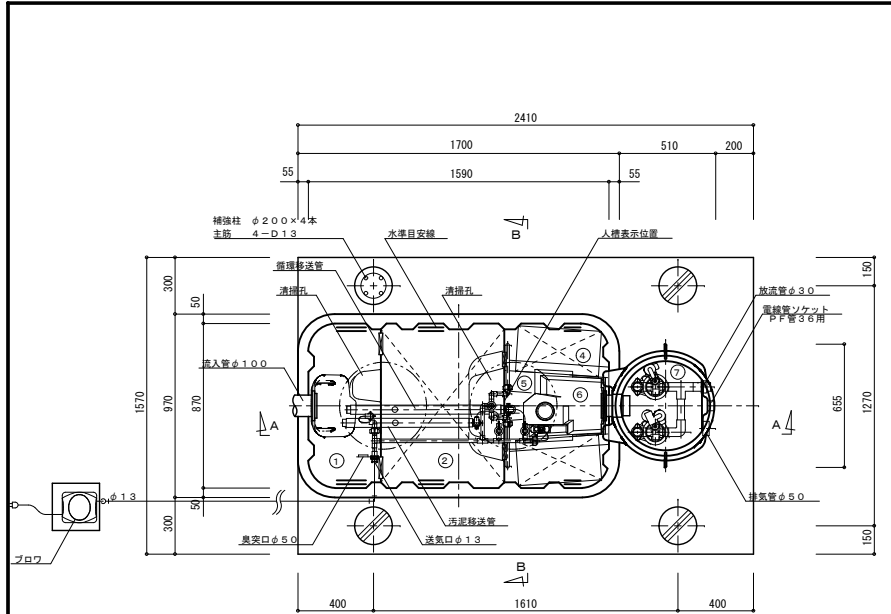
第3回変更

第4回変更

株式

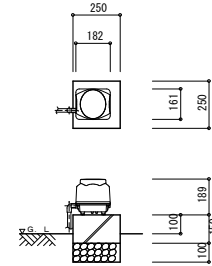
会社

梶建築設計事務所 前橋建築事務所



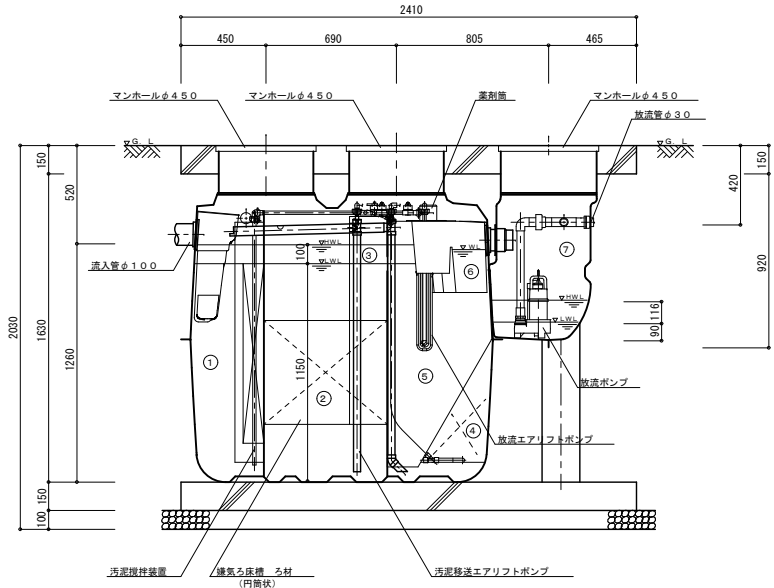
平面図 1/20

一般事項	
コンクリート	Fc=21N/mm ²
鉄筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
定着及継手	ベース 60
開口補強筋	D13シングル
地盤	砕石又はRC 40~0

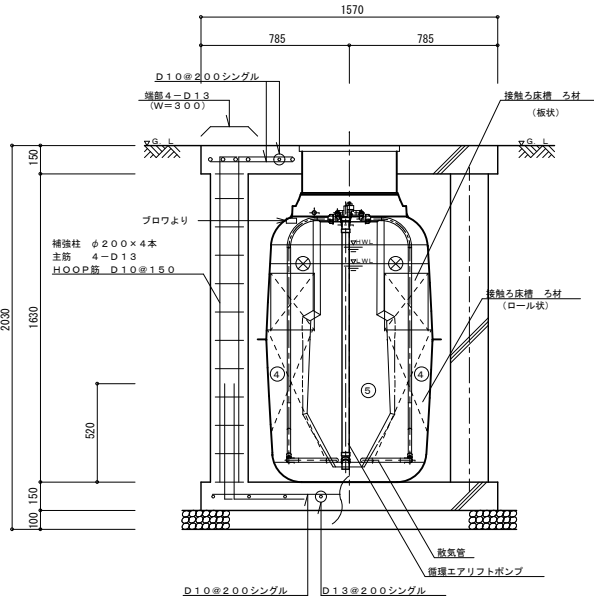


※基礎寸法は参考値とする

ブロウ 平・断面図 1/20



A-A断面図 1/20



B-B断面図 1/20

仕 様 表					
設計番号					
型式名称		CA-5 型			
処理対象人員		5 人			
汚水量		1. 00m ³ /d			
流入水質		BOD 200mg/L	COD 100mg/L	T-N 45mg/L	SS 160mg/L
放流水質		BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L	SS 15mg/L
①	沈殿分離槽		有効容量	0. 317	m ³
②	嫌気ろ床槽		有効容量	0. 600	m ³
③	ピークカット部		有効容量	0. 120	m ³
④	接触ろ床槽		有効容量	0. 296	m ³
⑤	処理水槽		有効容量	0. 165	m ³
⑥	消毒槽		有効容量	0. 015	m ³
⑦	放流ポンプ槽		有効容量	0. 029	m ³
総 容 量			有効容量	1. 513	m ³
機 器 装 置 仕 様					
嫌気ろ床槽ろ材 (円筒状)		PP または PE			充填率 43%
接触ろ床槽ろ材 (ロール状)		PP または PE			充填率 61%
接触ろ床槽ろ材 (板状)		PP または PE			充填率 21%
ブロウ		60L/min	φ 13	連続運転	1 台
放流ポンプ		80L/min	130W	φ 30	自動交互運転 2 台
槽本体		FRP			
パイプ類		PVC、PP または PE			
マンホール		PP または FRP			
消毒剤		固形塩素剤			

配管仕様	
露出配管 (ブロウ用)	VP
土中配管	φ40以下~VP・φ50以上~VU
槽内配管	メーカー仕様

- 注1) 上部は乗用車荷重とする。
注2) 機器電源は単相100Vとする。
注3) 図中の“G、L”は浄化槽位置での仕上りレベルを示す。
注4) 浄化槽からブロウまでの距離は5m以内とする。
注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注6) 臭気工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注7) ブロウ付近にアース付きコンセント×3を設置のこと。設置は浄化槽工事範囲外とする。
注8) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事は別途とする。

放流ポンプ槽配管仕様	
排気管	VU50
電線管	PFD36

- 注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続のこと。接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
注2) 排気管の放出部は、側溝の最大水位より100mm以上 (目安) 上部に設置のこと。
注3) 排気管は雨水配管や放流配管、他の汚水配管と絶対に合流接続しないこと。
注4) 排気管は途中で水漏りが起こるようなV字配管にしないこと。
注5) 電線管の両端はシリコンシーラントなどで必ずコーキング処理のこと。
注6) これらの処理を怠ると、浄化槽内で発生したガスが浄化槽内、および電線管の接続先付近に設置している設備・機器の金属類を腐食し、機器破損・障害の生ずるおそれがあります。

施工高さ範囲				
MH	項目	渠上げ高さ	流入管底	放流管底
機械ロック	最小寸法 (この図面)	220H	G. L-520	G. L-420
	最大寸法	300H	G. L-600	G. L-500
ボルトロック	最小寸法	100H	G. L-420	G. L-320
	最大寸法	300H	G. L-620	G. L-520

注) 製品全高は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。

流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

森町森林事務所新築工事		設	計	2023年10月17日
M－O 8	浄化槽参考図	A2：1/20	第1回変更	
		A4：1/40	第2回変更	
			第3回変更	
株式会社	梶建築設計事務所 前橋建築事務所		第4回変更	